



"Hi-Res Audio" ロゴと "Hi-Res Audio Wireless" ロゴは  
日本オーディオ協会のライセンスを受けて使用して  
います。



## 株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308  
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12  
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00  
土曜: 9:30～12:00, 13:00～17:30  
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>)  
またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

MDV-M906HDL/ MDV-M906HDW/ MDV-M906HD

AV Navigation System

# KENWOOD

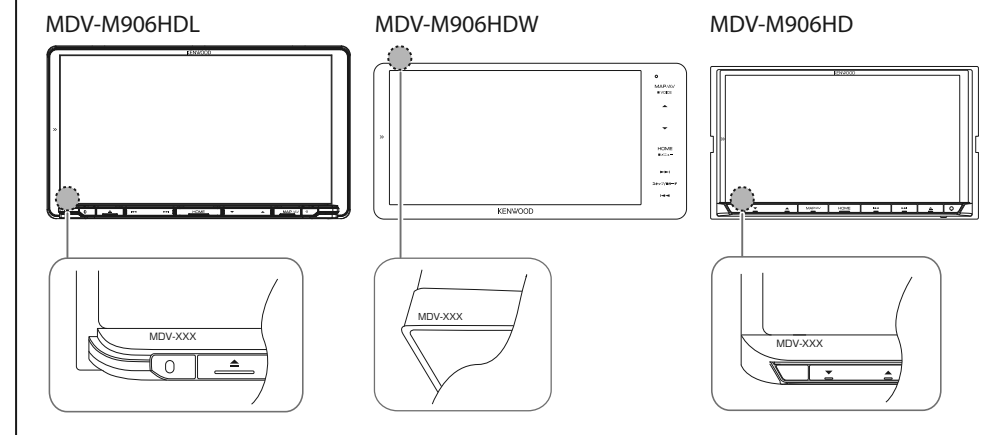
## MDV-M906HDL MDV-M906HDW MDV-M906HD

### AV Navigation System 取扱説明書

ご購入いただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

#### モデル名表示位置



#### My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

ご購入いただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。  
下記ウェブサイトにて会員登録をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。  
<https://jp.my-kenwood.com>

## 目次

## はじめに

安全上のご注意.....	7
使用上のご注意.....	10
簡単機能ガイド.....	12
ナビゲーション機能.....	12
ドライブに役立つ交通情報.....	12
音楽や映像を楽しむ.....	13
情報確認や各種設定の変更.....	13
本書の読みかた.....	14
本書の構成.....	14
本書の表記.....	15
はじめに.....	16
フロントパネルの角度調整.....	16
視野角を調整する.....	16
接続状態を確認する.....	16
車両の設定をする.....	18
車両ナンバーを設定する.....	18
ハンドルの位置を設定する.....	18
車両メンテナンスを設定する.....	19
オートアンテナの設定をする (オートアンテナ装着車のみ).....	20
アンテナの設定をする.....	20
アンテナを伸ばす / しまう.....	20
ステアリングリモコンを使う.....	21
ステアリングリモコンについて.....	21
車両設定をする.....	21
独自に機能を割り当てる (ユーザー学習).....	21
ステアリングリモコンキーの割り当てを 変更する.....	23
ステアリングリモコンキーの割り当てを 初期化する.....	23
セキュリティの設定をする.....	24
暗証番号を設定する.....	24
セキュリティインジケータの設定をする.....	25
自宅を登録する.....	26
Bluetooth 機器を登録する.....	27

## 基本操作

各部の名称とはたらき.....	28
本機のフロントパネルについて.....	29
基本操作.....	30
電源を入れる / 切る.....	30
電源オン.....	30
電源オフ.....	30
タッチパネルの操作.....	30
画面 / リストの操作.....	31
主な画面について.....	32
HOME 画面を表示する.....	32
MENU 画面の操作.....	33
INFO エリアの情報表示について.....	34
サブメニューを使う.....	37
サブメニューを表示する.....	37
ショートカットボタンを割り当てる.....	37
特別メモリ地点の編集をする.....	38
ユーザーを切り替える.....	38
音量を調整する.....	40
ナビゲーションの音量を調整する.....	40
AV またはハンズフリー電話の音量を 調整する.....	40
画面表示を消す.....	41
文字入力のかた.....	42
入力方法を切り替える.....	42
文字の種類を切り替える.....	42
キーボード形式で文字を入力する.....	42
テンキー形式で文字を入力する.....	43

## ナビゲーション

地図の見かたと操作.....	44
現在地図画面の見かた.....	44
地図の縮尺を変える.....	45
市街地図について.....	46
地図の向きと表示を切り替える.....	46
地図を 2 画面表示する.....	47
地図小または中画面を引き出す.....	47
地図をスクロールする.....	48
スクロールしたときの地図表示.....	48

ランドマークの情報を見る.....	49	経由地を追加する.....	72
マップクリップを利用する.....	49	目的地・経由地の順番を入れ替える.....	73
ショートカットボタンを使う.....	50	目的地・経由地を削除する.....	73
周辺検索と周辺情報を取得する.....	51	利用するインターチェンジを変更する.....	74
<b>ナビゲーションの流れ.....</b>	<b>52</b>	変更したインターチェンジを元に戻す.....	75
自宅に帰る / 自宅を変更する.....	53	走行中のルートを表示する.....	75
自宅へ帰る.....	53	ルート全体を表示する.....	75
自宅を変更する.....	53	目的地を表示する.....	76
<b>行き先を探す.....</b>	<b>54</b>	ルート案内を終了する.....	76
検索画面での営業時間外表示について.....	54	ルートから外れたときは.....	76
名称から探す.....	54	<b>地点を登録する.....</b>	<b>77</b>
エリアを指定して検索する.....	55	地点を登録する.....	77
ジャンルで絞り込む.....	56	登録した地点をリストで見る.....	77
ジャンルから探す.....	57	登録地点を編集する.....	78
登録地点から探す.....	58	グループを編集する.....	79
住所から探す.....	58	登録地点を削除する.....	79
履歴から探す.....	59		
履歴を削除する.....	59		
電話番号・郵便番号・マップコードで探す.....	60		
NaviCon で探す.....	61		
本機とスマートフォンを接続する.....	61		
NaviCon からナビの地図表示を操作する.....	61		
目的地を設定する.....	61		
NaviCon 友達マップ機能を使う.....	62		
提携駐車場を行き先に設定する.....	63		
<b>ルートの探索と案内.....</b>	<b>64</b>		
ルートの探索と案内を開始する.....	64		
目的地に設定してルートを探索する.....	64		
ルートの探索条件を選択して案内を開始する.....	64		
VICS によるルート探索.....	65		
複数の到着地点情報があったとき.....	65		
ルート案内画面について.....	66		
一般道路でのルート案内.....	66		
高速道路でのルート案内.....	67		
案内ポイントでの割り込み表示.....	68		
ここでは案内表示.....	68		
交差点案内図の表示.....	68		
高速道分岐イラストの表示.....	68		
ETC レーン表示.....	69		
案内先読みガイド表示.....	69		
音声案内について.....	70		
ルートを再探索する.....	72		
ルートを編集する.....	72		
		<b>オーディオ・ビジュアル</b>	
		<b>AV の基本操作.....</b>	<b>80</b>
		ソースを切り替える.....	80
		現在地図画面から AV 画面を表示する.....	80
		K2 テクノロジーを使う.....	81
		パッシンジャースリープ機能を使う.....	81
		画質を調整する.....	81
		映像の画面表示サイズを変更する.....	82
		AV 画面での割り込み表示について.....	82
		<b>iPod の曲を再生する.....</b>	<b>83</b>
		iPod を取り外す.....	83
		画面の見かたと操作.....	83
		<b>USB 機器 / SD カードのファイルを 再生する.....</b>	<b>84</b>
		USB 機器を接続する.....	84
		USB 機器を取り外す.....	84
		SD カードを入れる / 出す.....	84
		画面の見かたと操作.....	85
		オーディオファイルの AV 画面.....	85
		ビデオファイルの AV 画面.....	87
		再生リストと再生モードについて.....	88
		カテゴリーデータベースから曲または ビデオを再生する.....	89
		カテゴリーデータベースを作成する.....	89
		カテゴリーモードで再生する.....	89

内蔵メモリ /SD カードに録音する ... 90	AM または FM を聴く ..... 112
録音について ..... 90	画面の見かたと操作 ..... 112
録音設定をする ..... 90	プリセットモードを切り替える ..... 113
録音する ..... 91	エリアモードの放送局をリストから 選局する ..... 113
録音したデータを再生する ..... 92	放送局を登録 (プリセット) する ..... 113
録音データのタイトルを編集する ..... 94	交通情報を受信する ..... 114
タイトルを消去する ..... 95	画面の見かたと操作 ..... 114
アルバムアートワークとして画像を 表示させる ..... 96	外部機器 (AV-IN) を接続する ..... 114
アートワークを削除する ..... 96	画面の見かたと操作 ..... 114
録音データを削除する ..... 96	「SMART USEN」を使う ..... 115
録音データを SD カードに移動する ..... 97	準備する ..... 115
楽曲情報を取得する ..... 98	本機とスマートフォンを接続する ..... 115
タイトルを消去する ..... 99	画面の見かたと操作 ..... 115
マルチ AV ブラウザを使う ..... 100	チャンネルを選ぶ ..... 116
リストから曲またはビデオを再生する ..... 101	チャンネル名を検索する ..... 117
CD・オーディオファイルディスクを 再生する ..... 102	再生中のチャンネルをお気に入りに 登録する ..... 117
ディスクを入れる / 出す ..... 102	お気に入りのチャンネルを選ぶ ..... 117
ディスクを取り出す ..... 102	
ディスクを取り出せないときは ..... 103	
画面の見かたと操作 ..... 103	
DVD を再生する ..... 105	
画面の見かたと操作 (DVD ビデオ /DVD-VR) ..... 105	
DVD ビデオを再生する ..... 105	
DVD-VR を再生する ..... 106	
DVD ディスクメニューを操作する ..... 107	
カーソルで操作する ..... 107	
ディスクメニューを直接操作する ..... 107	
DVD の設定をする ..... 107	
地デジを視聴する ..... 108	
画面の見かたと操作 ..... 108	
プリセットモードを切り替える ..... 109	
放送局を登録 (プリセット) する ..... 110	
番組表を見る ..... 110	
番組表の見かたと操作 ..... 111	
緊急放送を表示する ..... 111	
中継局 / 系列局をサーチする ..... 111	
地デジの設定をする ..... 112	
	情報・設定 ..... 118
	VICS 情報を見る ..... 118
	VICS 情報とは ..... 118
	VICS 情報の内容と種類 ..... 118
	VICS 情報の提供方法 ..... 118
	VICS 情報利用上のご注意 ..... 118
	地図に表示される VICS 情報 ..... 119
	地図表示型 (レベル 3) 情報の表示 ..... 119
	緊急情報の割り込み表示 ..... 120
	地図上の VICS 情報を見る ..... 120
	簡易図形型 (レベル 2) / 文字型 (レベル 1) 情報の割り込み表示 ..... 120
	ETC2.0 割り込み表示 ..... 121
	VICS 図形 / 文字情報を見る ..... 121
	FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示 ..... 121
	ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示 .. 121
	ETC2.0 割り込み情報 ..... 122
	VICS 局の選局方法を切り替える ..... 122
	自動選局に設定する ..... 122
	手動で選局する ..... 122
	VICS 情報の表示設定をする ..... 122
	地図上の VICS 表示方法を設定する ..... 123

ECO 情報を確認する.....	124
ECO 情報を見る.....	124
詳細情報を見る.....	124
ECO レシオについて.....	124
ナビゲーションの設定をする.....	125
地図表示を設定する.....	128
自車の現在位置を修正する.....	128
走行軌跡表示を設定する.....	129
走行軌跡を消去する.....	129
地図に表示するランドマークを設定する.....	129
ルート探索の条件を設定する.....	130
サウンドの設定をする.....	131
車両タイプを設定する.....	131
スピーカー構成を設定する.....	132
スピーカーのクロスオーバー周波数を調整する.....	132
リスニングを設定する.....	133
リスニングポジションを微調整する.....	134
フロントフォーカスの微調整をする.....	134
設定した値を初期設定に戻す.....	135
プリセットイコライザーを設定する.....	135
ユーザーイコライザーを設定する.....	135
調整したイコライザーカーブを保存する.....	135
ホールシミュレーションを設定する.....	136
音響効果を設定する.....	136
プロモード EQ を使う.....	137
プロモード EQ について.....	137
プロモード EQ の調整をする.....	139
ソースの音量レベルを設定する.....	141
システムの設定をする.....	142
システムを初期化する.....	143
設定を SD カードに保存する.....	144
設定データを本機に読み込む.....	144
イルミネーション色を設定する.....	144
ユーザー独自のイルミネーション色を設定する.....	145
画面の色を設定する.....	145
ユーザー独自の画面の色を設定する.....	145
ゴールオートボリュームを設定する.....	146
アナログメーターの設定をする.....	146

外部機器の設定をする.....	147
バージョンを確認する.....	149
地図更新について.....	149
開通した道路情報の更新.....	149
KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する.....	149
KENWOOD MapFan Club のサービスとは... ..	149
QR コードを使って.....	
KENWOOD MapFan Club に登録する.....	149

## Bluetooth

Bluetooth 機器の登録と設定.....	150
本機に Bluetooth 機器を登録する.....	150
オートペアリング機能で登録する.....	151
Bluetooth の設定をする.....	151
Bluetooth 機器の使用する機能を変更する... ..	152
Bluetooth 機器の接続を解除する.....	153
登録した機器を削除する.....	153
PIN コードを変更する.....	154
本機のデバイス名を変更する.....	154
ハンズフリーを使う.....	155
電話画面を表示する.....	155
電話画面の見かたと操作.....	155
ハンズフリーで電話を受ける / 切る.....	156
プリセットダイヤルを使う.....	156
プリセットダイヤルから電話をかける.....	156
プリセットダイヤルに電話番号を登録する... ..	156
プリセットダイヤルの登録を削除する.....	157
履歴から電話をかける.....	157
電話帳から電話をかける.....	158
PBAP 対応機器の電話帳を登録する.....	158
電話帳を削除する.....	159
ダイヤルして電話をかける.....	159
地点情報から電話をかける.....	159
リダイヤルで電話をかける.....	160
音声認識機能で電話をかける.....	160
Bluetooth オーディオ機器を再生する.....	161
画面の見かたと操作.....	161

## スマートフォン連携

スマートフォン連携について .....	163
NaviCon .....	163
KENWOOD Drive Info .....	163
VOIPUT .....	163
SMART USEN .....	163
KENWOOD Music Info .....	163

## オプション

別売品について .....	164
ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う... 165	
ETC 情報について .....	165
ETC2.0 情報について .....	165
ITS スポットとは .....	165
ETC 予告アンテナについて .....	165
アップリンクとは .....	165
VICS 機能を利用する .....	166
ETC に関する設定をする .....	166
ETC の案内出力を設定する .....	166
ETC の料金表示を設定する .....	166
ETC2.0 車載器の接続設定をする .....	167
ETC2.0 に関する設定をする .....	167
ETC 履歴 / 車載器情報を見る .....	167
信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内 .....	168
信号情報案内利用上のご注意 .....	168
信号情報案内の設定をする .....	168
地図に表示される信号情報案内 .....	169
フロント / リアビューカメラを使う... 170	
カメラを設定する .....	170
フロントビューカメラ接続設定 .....	170
リアビューカメラ接続設定 .....	170
CMOS-320/CMOS-C320 の カメラ設定をする .....	171
フロントビューカメラの映像を表示する... 171	
フロントビューカメラ操作ボタンを使う .....	171
リアビューカメラの映像を表示する .....	172
リアビューカメラ操作ボタンを使う .....	172
リアビューカメラのガイド線を調整する... 173	
CMOS-C320 (別売品) を接続している場合... 173	
汎用カメラを接続している場合 .....	173

ドライブレコーダーを使う .....	174
ドライブレコーダー (リア用) の接続設定... 174	
ドライブレコーダーの映像を表示する .....	174
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う .....	175
画面の見かたと操作 .....	175
地図表示モードに切り替える .....	175
サブリアカメラ映像を表示する .....	176
録画ファイルを再生する .....	177
再生画面の見かたと操作 .....	178
ファイルを保護する .....	179
ファイルを削除する .....	179
ドライブレコーダーの設定をする .....	181
運転支援機能の設定をする .....	184
SD カードをフォーマットする .....	185
システムを更新する .....	186
バーチャルルームミラー機能を使う... 187	
現在地図画面から表示する .....	187
HOME 画面から表示する .....	188
リアモニターを使う .....	189
リアモニターに表示できる映像について .....	189
外部出力の切り替え設定をする .....	189



## 付録

自車位置の測位精度について .....	190
地図記号の凡例 .....	192
地図データベースについて .....	194
ソフトウェア使用許諾契約書 .....	195
VICS について .....	197
メディアおよびファイルについて... 199	
Bluetooth について .....	206
iPod について .....	206
故障かなと思ったら .....	207
主な仕様 .....	217
保証とアフターサービス .....	219
索引 .....	220




# 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

## 取り付けや配線について

### 警告



#### 本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

#### エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

#### 取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

#### 視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

#### フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



#### 取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

#### 説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

**作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す**

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

**作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

**必ず付属の部品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する**

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

**ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用中心または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない**

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

**機器の通風口や放熱板をふさがない**

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**機器を取り外すときは、機器の温度を確認して取り外す**

長時間の使用などにより機器が熱くなりやけどなどの原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。



## 使用方法について

### 警告



#### 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切つて他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



#### 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

#### 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

#### 故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

#### 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



#### 雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



#### ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

#### ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

### 注意



#### 本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



#### 可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

### 警告



#### 異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 使用上のご注意

### 安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

### 本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.207)を参照して解決方法がないか調べてください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターへご相談ください。

### 本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

### フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどをご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

### オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール (ANT CONT) 端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。(→ P.20)

### モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

### ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくすると GPS の測位により正しく表示されるようになります。
  - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路\* は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
    - 細街路を走行中の現在地図画面
    - 市街地図を表示しているとき
    - マップマッチングしていないとき
    - 駐停車中
- \*: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

### 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

### フロントパネルの安全装置について

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

## 本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、システムを初期化する（→ P.143）/暗証番号を解除する（→ P.25）/録音データを削除する（→ P.96）で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

## 本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

## 電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

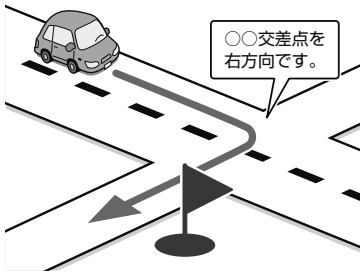
1 : 電波干渉距離は 10m です。

□ □ □ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

# 簡単機能ガイド

## ナビゲーション機能



### 目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。  
(→ P.54)



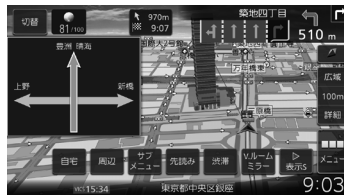
### ● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。  
(→ P.64)

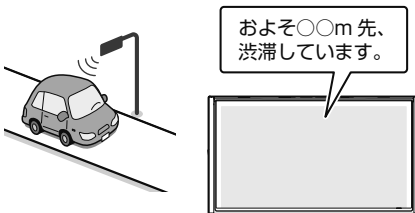


### ● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。(→ P.66)



## ドライブに役立つ交通情報



VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。(→ P.118)

また、別売の ETC 車載器や ETC2.0 車載器を接続すると、ETC の利用料金をお知らせすることもできます。  
(→ P.166)



## 音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

### ■ ソース切替画面 (→ P.80)



- iPod
- USB
- SD
- 内蔵メモリ
- マルチ AV ブラウザ
- DISC
- 地デジ
- FM
- AM
- AV-IN
- Bluetooth Audio
- SMART USEN
- 交通情報

## 情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。

また、本機のおさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

### ■ 情報・設定画面 (→ P.118)



- ナビゲーション設定  
地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。(→ P.125)
- サウンド設定  
車内の音響効果や音質などを設定します。(→ P.131)
- システム設定  
車両やシステム全般の設定を行います。(→ P.142)
- 外部機器設定  
Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。(→ P.147)
- 登録地点編集  
登録した地点の名称や電話番号などを編集します。(→ P.78)

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・  
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オプション

付録

# 本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

## 本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.7)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法について説明しています。(→ P.28)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。(→ P.44)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）および音楽の操作方法について説明しています。(→ P.80)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(→ P.118)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作について説明しています。(→ P.150)
スマートフォン連携	スマートフォンと連携して使うことのできる便利な機能について説明しています。(→ P.163)
オプション	ETC 車載器やドライブレコーダー、フロント/リアビューカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.164)
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。(→ P.190)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書では、主に MDV-M906HDL の画面で説明しています。そのため、ご使用の機種によっては位置が違うボタンや画面が説明の中に出てくる場合があります。
- “(MDV-XXX のみ)” などは、機能の対象となる機種を表します。

## 本機のサポート情報を役立てよう！

### 本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>



### FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



# 本書の表記

ハードキー名：

本書ではハードキーを次のように表記しています。

**HOME** → **【HOME】**

## AVの基本操作

### ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 **【HOME】** を押して **【メニュー】** にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 **【ソース切替】** にタッチする



インデックス

章の内容を示すインデックスです。

ボタン名：

本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。



→ **【ソース切替】**

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

## AM または FM を聴く

### 画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを AM または FM に切り替える (→ P.77)

ここまでの手順：

下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

参照ページ：

参照ページのページ番号です。



- ・ リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- ・ ジャンルの画像は、ディスクによっては表示されない場合があります。
- ・ アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- ・ 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

補足：

手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

関連キーワード



#### ● 録音する

本機では、音楽 CD を再生しながら、本機の内蔵メモリまたは SD カードに 4 倍速で録音することができます。(※ DPO)

関連キーワード：

説明内容に関連する操作や設定、本機の便利な使いかたについて説明しています。

※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オフライン

付録

# はじめに

はじめにご使用になるときや、本機の設定を初期化したときなど、最初に設定、確認していただきたい機能について説明します。

## フロントパネルの角度調整

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいように、フロントパネルの角度と画面の明るさを調整できます。角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。



1

### ■ MDV-M906HDL/MDV-M906HD

【▲】（オープンキー）を押す

MDV-M906HDL



MDV-M906HD

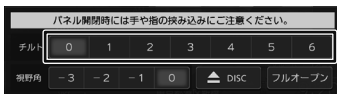


### ■ MDV-M906HDW

【HOME】を押して【メニュー】にタッチして【▲パネル】にタッチする



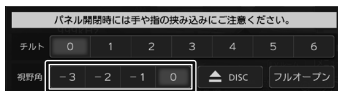
2 チルト [0] ~ [6] にタッチする



- チルトアダプター（純正部品）を取り付けている場合は、設定できない角度があります。（MDV-M906HDLのみ）
- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

## 視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角（[-3] ~ [0]）にタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。



## 接続状態を確認する

本機に接続している機器の接続状態を確認します。

1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する

2 【情報・設定】にタッチする



3 【接続】にタッチする



接続情報が表示されます。





表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
専用カメラ	別売の CMOS-320 または CMOS-C320 をフロントまたはリアカメラとして接続しているときの接続状態を表示します。 フロント： フロントカメラのみが接続 リア： リアカメラのみが接続 フロント+リア： フロントカメラ、リアカメラの両方を接続
ドライブレコーダー	別売の本機対応フロントドライブレコーダーを接続しているときの接続状態を表示します。
リアドライブレコーダー	別売の本機対応リアドライブレコーダーを接続しているときの接続状態を表示します。
ETC 車載器	別売の本機対応 ETC 車載器を接続しているときの接続状態を表示します。
ETC2.0 車載器	別売の本機対応 ETC2.0 車載器を接続しているときの接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。 接続中+光： ETC2.0 車載器が高度化光ビーコン/光ビーコンに対応しているときに表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。 [デジタル] または [アナログ] にタッチすると、パルス入力モードを切り替えます。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。[初期化] にタッチすると、センサーの学習を初期化します。



- 「専用カメラ」は、カメラの接続設定が [専用フロントカメラ] または [専用カメラ (コントロール機能付)] に設定されていると表示されます。
- 「センサー学習」の初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」の接続情報が表示されます。

## ■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自転車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。

## 正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。



- センサー学習中は、自転車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。
- ドライブレコーダー、リアドライブレコーダー、ETC 車載器を接続して初めて電源を ON にしたときは、本機が認識できるまで数分かかる場合があります。

## 車両の設定をする

### 車両ナンバーを設定する

車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。お買い上げ時は [5・7] に設定されています。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする



- 3 [ナビ] にタッチする



- 4 「その他」の [車両ナンバー] にタッチする



- 5 車両ナンバーにタッチする



設定を変更すると手順 4 の画面に戻ります。設定を変更しない場合は、[閉じる] にタッチしてください。手順 4 の画面が表示されます。

### ハンドルの位置を設定する

車両のハンドルの位置を設定します。左ハンドル車で、パッセンジャースリープ機能を使う場合に必要な設定です。お買い上げ時は [右] に設定されています。

パッセンジャースリープ機能については 81 ページをご覧ください。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする



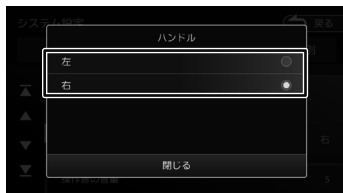
- 3 [システム] にタッチする



- 4 「車両」の [ハンドル] にタッチする



- 5 ハンドルの位置にタッチする



設定を変更すると手順 4 の画面に戻ります。設定を変更しない場合は、[閉じる] にタッチしてください。手順 4 の画面が表示されます。

## 車両メンテナンスを設定する

1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する

2 [情報・設定] にタッチする



3 [システム] にタッチする



4 [車両] の [車両メンテナンス] にタッチする



5 設定する項目にタッチする



6 各項目の設定をする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかどうかを設定します。[ON]に設定した項目は、手順5の「車両メンテナンス」画面で“ON”と表示されます。
通知年月日	年月日 / 未設定*	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし* / 3日前から / 7日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km / 未設定*	何 km 走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと	お知らせするまでの残りの距離を表示します。	
メンテナンス名称	お好み 1、お好み 2 でお知らせする名称を設定します。文字の入力については 42 ページをご覧ください。	
設定消去	設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると設定を消去します。	

\*：お買い上げ時の設定です。



- [通知開始距離] は「バッテリー交換」、「車検」、「法定点検」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- [メンテナンス名称] は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。  
※ 表示された画面の [今後表示しない] をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。（“お知らせ設定”しないになります）
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず [設定消去] をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

## オートアンテナの設定をする (オートアンテナ装着車のみ)

オートアンテナを装着している場合に設定します。  
[あり] に設定するとサブメニュー画面でアンテナを伸ばす / しまいができるようになります。  
お買い上げ時は [なし] に設定されています。

### アンテナの設定をする

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする



- 3 [システム] にタッチする



- 4 「車両」の [オートアンテナ] にタッチする

タッチするたびに [あり]、[なし] が切り替わります。



## アンテナを伸ばす / しまう

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [サブメニュー] にタッチする



- 3

### ■ アンテナを伸ばす

[アンテナを伸ばす] にタッチする



### ■ アンテナをしまう

[アンテナをしまう] にタッチする



## ステアリングリモコンを使う

ステアリングリモコンを使用する場合は、別売のETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EXが必要です。

### ステアリングリモコンについて

本機に車両のステアリングリモコンを接続し、設定を行うと、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。

ステアリングリモコン設定には、次の設定があります。

#### ■ 車両設定

車両に合わせたステアリングリモコンの設定(下記)を行います。設定した後に機能の割り当てを変更することもできます。(→ P.23)

#### ■ ユーザー学習

独自にステアリングリモコンのキーに機能を割り当てたい場合に、この設定を行います。(右記)

独自に割り当てた機能は、後から変更することもできます。(→ P.23)



- 車両の対応については、下記ホームページをご覧ください。  
[https://www.kenwood.com/jp/products/car\\_audio/option/etccable/](https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/)
- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が15まで上がります。

### 車両設定をする

車両に合わせたステアリングリモコンのキー割り当てを設定します。

お買い上げ時は、[なし]に設定されています。

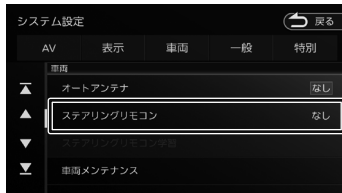
- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする



- 3 [システム] にタッチする



- 4 「車両」の [ステアリングリモコン] にタッチする



- 5 お使いの車のメーカーにタッチする



### 独自に機能を割り当てる(ユーザー学習)

ステアリングリモコンのキーに機能割り当て(ステアリングリモコン学習)を行います。

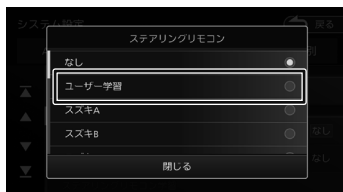


- ステアリングリモコンキーの割り当てが完了した後で、キーを追加することはできません。追加したい場合は学習の初期化を行い、再度キーの割り当てを行ってください。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 「車両」の [ステアリングリモコン] にタッチする



- 4 [ユーザー学習] にタッチする

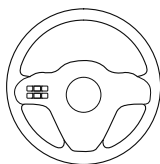
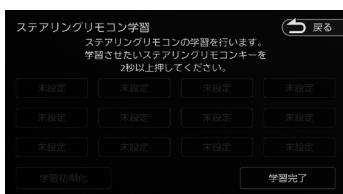


## 5 「車両」の「ステアリングリモコン学習」にタッチする



ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。  
ステアリングリモコンは押さないでください。

## 6 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを2秒以上押す



## 7 割り当てる機能にタッチする



割り当てた機能が表示されます。  
さらに機能を割り当てる場合は、手順6と7を繰り返します。






## 8 「学習完了」にタッチする



学習が完了し、システム設定画面に戻ります。

## ■ キーに割り当てられる機能

キー	機能
未設定	設定しません。
HOME	HOME 画面を表示します。押し続けると MENU 画面を表示します。
MAP/AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、スマートフォンの音声機能を起動します。(Bluetooth 接続中)。
MAP	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面がオフになります。
AV	AV 画面を表示します。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。AV オフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。AV オフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>AVの音量を調整(0~40)します。</li> <li>ハンズフリー通話時の受話音量(0~40)を調整します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>FM/AM/地デジ: 放送局を切り替えます。FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽 / ビデオ再生: 前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。</li> <li>SMART USEN お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。</li> </ul>
詳細	詳細な地図を表示します。(地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。(地図画面表示中)
	音声でフリーワード検索します。この機能を使用するには、カーナビ連携スマホアプリケーション [VOIPUT] が必要です。(→ P.163)
	音声でフリーワード検索します。この機能を使用するには、カーナビ連携スマホアプリケーション [VOIPUT] が必要です。(→ P.163) ハンズフリーの着信中は通話を開始します。

キー	機能
	ハンズフリーの電話を受けます。 (Bluetooth 接続中)
	ハンズフリーの電話を切ります。 (Bluetooth 接続中) 着信時に押すと着信を拒否します。
	ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。 通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
	ミュートします。もう一度押すとミュートを解除します。 ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
	スマートフォンの音声機能を起動します。 (Bluetooth 接続中) 押し続けると音声機能を終了します。

## ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する

割り当てた機能の変更や消去ができます。

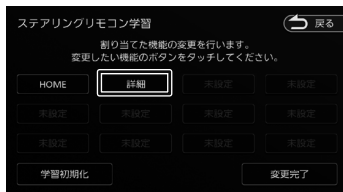
- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする
- 3 [システム] にタッチする



- 4 「車両」の [ステアリングリモコン学習] にタッチする



- 5 割り当てを変更または消去するボタンにタッチする



- 6 変更したい機能にタッチする

機能を消去する場合は [未設定] にタッチしてください。



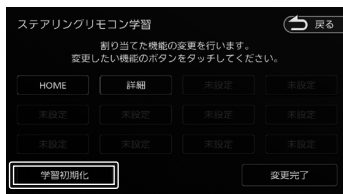
- 7 [変更完了] にタッチする



変更が完了し、システム設定画面に戻ります。

## ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化する

- 1 左記の「ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する」の手順 5 で [学習初期化] にタッチする



初期化が完了し、システム設定画面に戻ります。

## セキュリティの設定をする

### 暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- 暗証番号記入欄

--	--	--	--	--	--	--	--

暗証番号を忘れた場合は、JVC ケンウッド カスタマーサポートセンターへご相談ください。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする



- 3 [システム] にタッチする



- 4 「一般」の [暗証番号登録] にタッチする



- 5 設定する 4～8 桁の暗証番号を入力し、[決定] にタッチする



- 6 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定] にタッチする



メッセージが表示され、登録が完了します。

### ■ 暗証番号を変更する

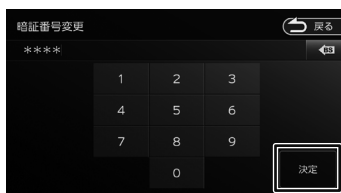
設定した暗証番号を変更します。

- 1 「一般」の [暗証番号変更] にタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定] にタッチする

- 3 新しく設定する 4～8 桁の暗証番号を入力し、[決定] にタッチする



- 4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定] にタッチする



メッセージが表示され、変更が完了します。



## ■ 暗証番号を解除する

設定した暗証番号を解除します。

- 1 「一般」の【暗証番号解除】にタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、【決定】にタッチする



メッセージが表示され、暗証番号が解除されます。

## セキュリティインジケータの設定をする

本機の電源をオフにしたときに、セキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチしてMENU画面を表示する



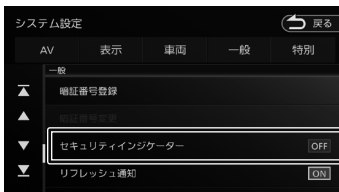
- 2 【情報・設定】にタッチする



- 3 【システム】にタッチする

- 4 「一般」の【セキュリティインジケータ】にタッチする

タッチするたびに【ON】、【OFF】が切り替わります。



## 自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

- 1 自宅に車を停める
- 2 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 3 [目的地検索] にタッチする



- 4 [自宅] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 5 [はい] にタッチする



自宅の検索方法が表示されます。

- 6 リストをスクロールして [地図] にタッチする



- 7 [自宅に設定する] にタッチする



「自宅を登録しました。」と表示され、自宅が登録されます。

- 8 [決定] にタッチする



- 自宅までのルート設定や自宅の変更などは53ページをご覧ください。
- 自宅は名称と電話番号を編集することができます。(→ P.78)
- 現在地図画面の「自宅」からも登録することができます。(→ P.50)

## Bluetooth 機器を登録する

- 1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- 2 Bluetooth 機器で“MDV-M906HDL”、“MDV-M906HDW”、または“MDV-M906HD”を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

- 3 デバイス名とパスキーを確認する



- Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示された場合  
表示されている本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する



初期設定は“0000”に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

PIN コードは、「Bluetooth の設定をする」(→ P.151) から確認できます。

- 4 使用する機能にタッチしてチェックを付けて [はい] にタッチする



[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :  
ハンズフリーを登録する番号を選びます。

[オーディオ / アプリケーション連携] :  
オーディオ再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[電話帳登録] :  
電話帳登録をします。

[Bluetooth テザリング] :  
カーナビ連携スマホアプリケーション「KENWOOD Drive Info」の機能を Bluetooth テザリングで使用するときは、外部機器設定の「その他」-「Bluetooth テザリング」を「ON」に設定して (→ P.148) おいてください。設定するとこの画面で [Bluetooth テザリング] が表示されます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。「KENWOOD Drive Info」についての詳細は、163 ページをご覧ください。

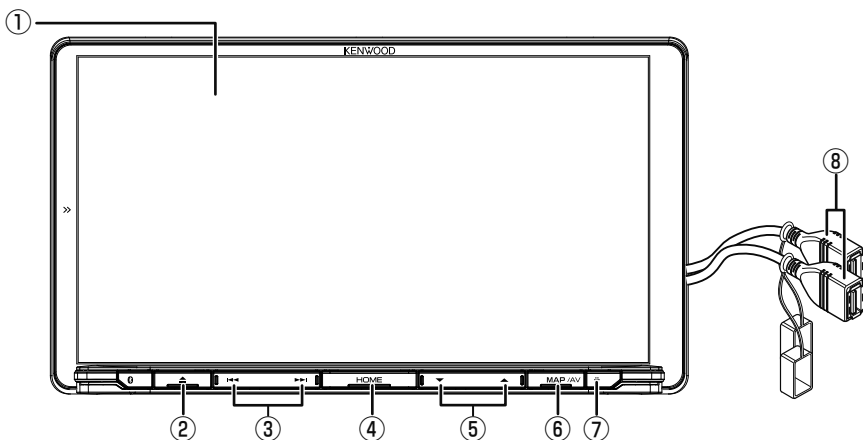
Bluetooth 機器の登録が始まります。登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



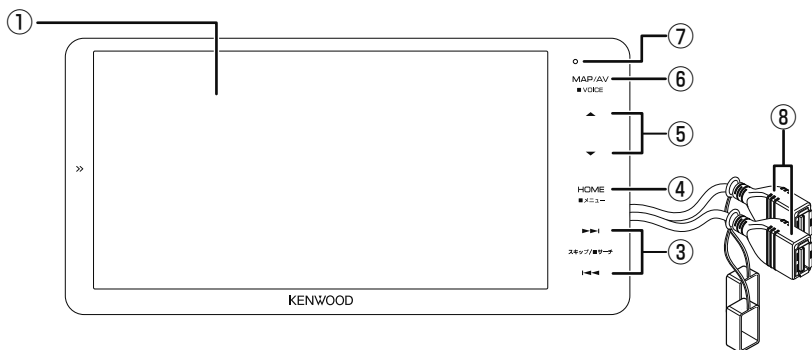
- 電話帳の登録はここでチェックをいれなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは一台目の登録の場合は [ハンズフリー 1] にチェックが入っています。[ハンズフリー 1] に登録機器がある場合は、[ハンズフリー 2] にチェックが入っています。

# 各部の名称とはたらき

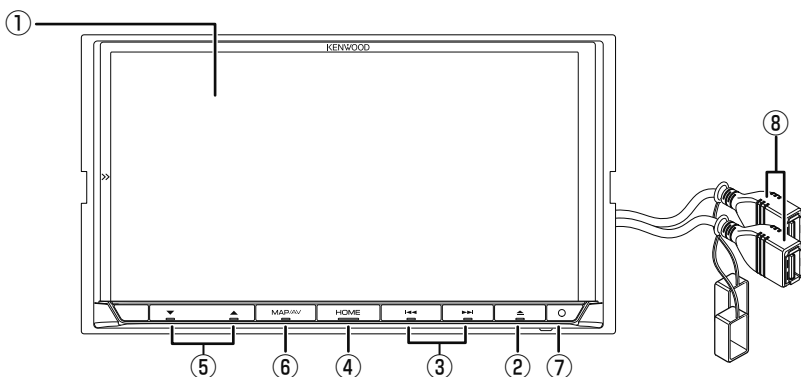
MDV-M906HDL



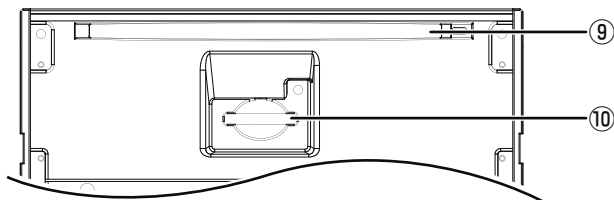
MDV-M906HDW



MDV-M906HD



## パネルオープン時



### ① 画面

#### ② 【▲】（オープンキー）

(MDV-M906HDL/MDV-M906HD のみ)

フロントパネルの角度調整 (→ P.16) やディスク (→ P.102)、SD カードの出し入れ (→ P.84) を行うためのメニューを表示します。

MDV-906HDW は HOME 画面から操作します。(→ P.16)

#### ③ 【◀▶】 / 【▶▶】（スキップ / サーチキー）

- FM/AM/ 地デジ：  
放送局を切り替えます。  
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽 / ビデオ再生：  
前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。  
押し続けると、早送り / 早戻しします。
- SMART USEN  
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

#### ④ 【HOME】

- HOME 画面を表示します。(→ P.32)
- 押し続けると MENU 画面を表示します。

#### ⑤ 【▼】 / 【▲】（音量キー）

- AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
- ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ~ 40) します。



- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量調整を音量キーで調整できるように設定できます。(→ P.125)
- 音声案内の音量は、ナビ設定でも調整できます。(→ P.126)
- 着信音量と受話音量は、外部機器設定からも調整できます。(→ P.151)
- ハンズフリー電話中の音量調整をしないように設定することもできます。(→ P.152)

#### ⑥ 【MAP/AV】

- 現在地図画面を表示します。(→ P.44)
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- Bluetooth 接続中に押し続けると、スマートフォンの音声認識機能が起動します。

#### ⑦ セキュリティインジケーター

セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。(→ P.25)

#### ⑧ USB 端子

USB 機器を接続します。  
iPod/iPhone を接続する場合は、「5V1A」のタグが付いているように接続してください。別売のドライブレコーダーを接続する場合は、「5V1A」のタグが付いていないように接続してください。

#### ⑨ ディスク挿入口

ディスクを挿入する場所です。

#### ⑩ SD カード挿入口

SD カードを挿入する場所です。



- MDV-M906HDW の③~⑦は、本書では「押して」と記載していますが、画面のボタンをタッチするのと同じくらいの強さで押してもそれぞれの機能がはたらく。

## 本機のフロントパネルについて

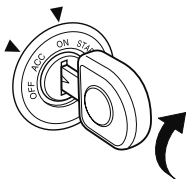
- フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じます。但し、イジェクトしたディスクが残っているときは開いたままとなります。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにフロントパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

# 基本操作

## 電源を入れる / 切る

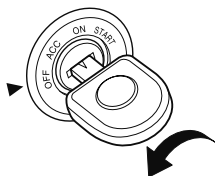
### 電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。



### 電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合には、GPSの測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによっても、GPSの測位に時間がかかります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

## タッチパネルの操作

本機は主にフロントパネルの画面に直接タッチして操作します。

### ■ タッチする

指先で画面を押します。

- 操作ボタンやメニュー、リストの項目を選択するときに使用します。
- 「[○] をタッチし続ける」などの記載があった場合は、長めにタッチしてください。



### ■ ドラッグする

指先で画面を押さえながら動かします。

- 地図画面でドラッグするとドラッグした方向に地図も動きます。
- リストなどもドラッグした方向にリストが動きます。



### ■ フリックする

指先で画面の上を素早くはらいます。

- 地図画面でフリックするとフリックした方向に地図も動きます。
- リストなどもフリックした方向にリストが動きます。



## 画面 / リストの操作

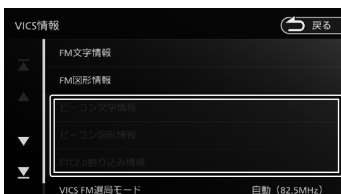
### ■ 前の画面に戻る

[戻る] にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。



### ■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



### ■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。

リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

- ・ スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする

ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。

フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



- ・ リストをページ送りする

送りたい方向の ▲ または ▼ にタッチします。



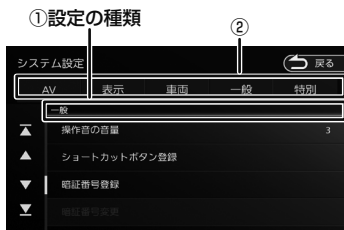
▲ または ▼ にタッチするとリストの最初または最後を表示します。

### ■ 設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。

リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目にタッチして決定します。

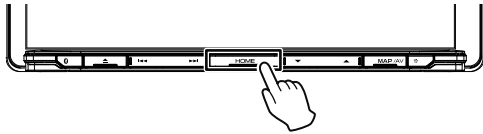
②にタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。



## 主な画面について

### HOME 画面を表示する

フロントパネルの【HOME】を押す



HOME 画面は【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

HOME 画面は、以下の画面で構成されています。

#### INFO 画面

車速や ECO 運転状況、目的地設定中は目的地までの距離、到着時刻などを表示します。(→ P.34)

地図が表示されているところをタッチするとスクロール画面を表示します。(→ P.48)

#### MENU 画面

ソース切替や目的地検索画面など、いろいろな機能にアクセスする画面を表示します。(→ P.33)

#### AV 画面

現在選択しているソースの AV 画面を表示します。(→ P.80)



上または下にドラッグすると INFO 画面と AV 画面の表示エリアの大きさが変わります。

INFO 大 / AV 小	INFO 中 / AV 中	INFO 小 / AV 大



- INFO 画面、AV 画面は HOME 画面から消すことはできません。地図を全画面で表示したい場合は、【MAP/AV】を押して現在地図画面を表示してください。
- AV 画面は画面の上方向いっぱいまでドラッグすると AV 全画面になります。
- INFO 画面の全画面表示はありません。
- HOME 画面の地図はスクロールすることができます(→ P.48)。スクロール画面で [現在地] にタッチすると現在地図画面ではなく、HOME 画面に戻ります。
- [V. ルームミラー] は、別売のドライブレコーダーまたはリアビューカメラを接続しているときに、外部機器設定の「パーシャルルームミラー」設定が [ON] に設定されていると、(お買い上げ時は ON です。) タッチしたときに、ドライブレコーダー (リア用別売品) またはリアビューカメラ (別売品) の映像に切り替わります。(→ P.187)
- [V. ルームミラー] は、別売のドライブレコーダーまたはリアビューカメラを接続してなくても、タッチすると黒画面が表示されます。
- 本機に別売のフロントカメラを接続して、「AV-IN 接続設定」がフロントカメラに設定されていると [カメラ] が表示されます。タッチすると本機に接続したフロントカメラの映像に切り替わります。フロントカメラについての詳細は 170 ページをご覧ください。
- 地図エリアは、地図の縮尺(→ P.45)、向きと表示方法(→ P.46)を変えることができます。また、地図に表示されるマークや表示については 44、66、67 ページをご覧ください。
- 案内ポイントなど割り込み情報があると割り込み情報を表示します。割り込み表示については 68 ページをご覧ください。



# MENU 画面の操作

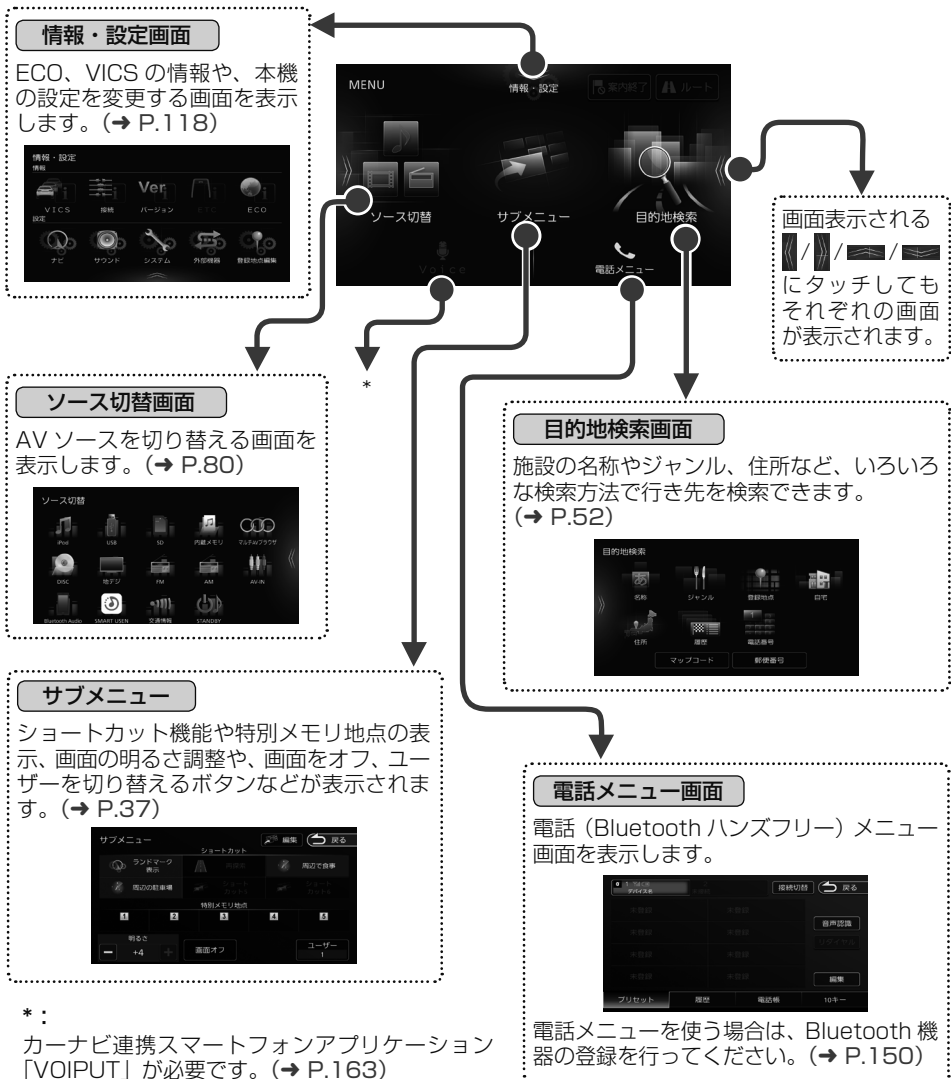
HOME 画面で [メニュー] をタッチする



MENU 画面が表示されます。



- 【HOME】 ボタンを押し続けても、MENU 画面を表示することができます。
- MENU 画面をフリックまたはドラッグすることで、それぞれの画面を表示することもできます。

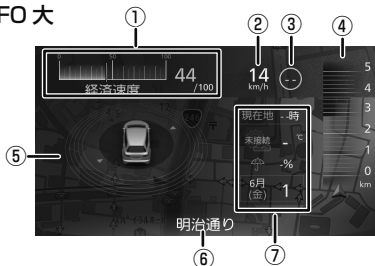


カーナビ連携スマートフォンアプリケーション「VOIPUT」が必要です。(→ P.163)

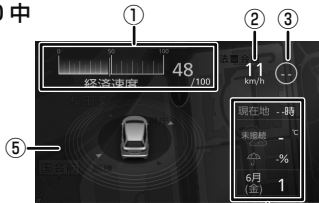
電話メニューを使う場合は、Bluetooth 機器の登録を行ってください。(→ P.150)

# INFO エリアの情報表示について

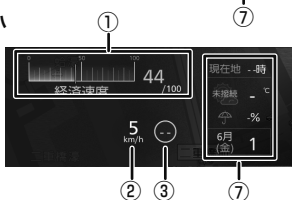
## INFO 大



## INFO 中 (Medium)



## INFO 小 (Small)



### ① ECO 情報：

ECO ドライブ 評点をグラフと数字で表示します。また、メッセージ (e スタート / 急加速 / 急減速 / 経済速度) も表示します。

### ② 車の速度：

車のおおよその速度を表示します。実際の速度表示とは異なります。

### ③ 速度制限表示：

走行中の道路の速度制限を表示します。  
②が速度制限を超過すると、「速度注意」と表示されます。表示される速度は、天候や道路状況により実際の交通規制と異なる場合があります。必ず、実際の交通規制にしたがって走行してください。

### ④ 渋滞状況の表示：

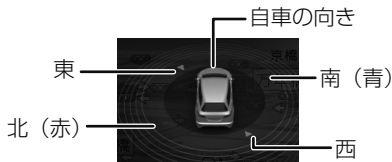
道路の渋滞状況を色で表示します。一般道走行中は 5km 以内、高速道路走行中は 20km 以内の渋滞状況が表示されます。

渋滞状況	表示色
順調	青
混雑	橙
渋滞	赤
不明	灰
情報の取得不可	黒

目的地を設定しているときは、案内ルートの渋滞状況を表示します。目的地を設定していないときは、現在走行中の道路情報になります。

### ⑤ 自車の方向表示 / 注意喚起表示

#### ● 自車の方向表示



#### ● 注意喚起表示



注意喚起アイコン 注意喚起メッセージ

種類	注意喚起アイコン	注意喚起メッセージ
合流案内 (左から合流)		この先合流があります。
合流案内 (右から合流)		この先合流があります。
合流案内		この先合流があります。
踏切案内		この先、踏切があります。
VICS 車線規制 (車線規制)		この先、車線規制があります。
VICS 車線規制 (右車線規制)		この先、車線規制があります。
一時停止		この先、一時停止です。
速度注意ポイント案内		この先スピードに注意！
休憩案内		そろそろ休憩しましょう。
日没ライト案内 / 警告		ライトをつけましょう。ライトをつけてください。



- 注意喚起メッセージは INFO 大のときに表示されます。INFO 小、中のときに、注意喚起がある場合は、INFO 大の表示に自動で切り替わり、表示されます。自動で INFO 大に切り替わらないように設定することもできます。(→ P.142)
- 合流案内、踏切案内、および VICS 車線規制は注意喚起アイコンと注意喚起メッセージを常に表示するか、しないか、ルート案内時のみ (VICS 車線規制は除く) 表示するかを設定することができます。(→ P.126)

### ⑥ 道路名：

道路情報がある場合は、道路名が表示されます。

### ⑦ カレンダー / 天気予報：

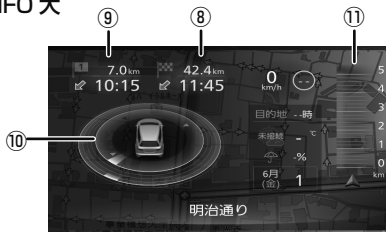
タッチすると 1 ヶ月分のカレンダーを表示します。

天気予報は、スマートフォンアプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときに表示します。詳細は 163 ページの「KENWOOD Drive Info.」をご覧ください。

## ■ 目的地 / 経由地を設定しているとき

目的地 / 経由地を設定しているときのみ表示される INFO 情報について説明します。

### INFO 大



### INFO 中



### INFO 小



### ⑧ 目的地までの距離と方角、到着予想時刻

### ⑨ 次の経由地までの距離と方角、到着予想時刻

到着予想時刻がわからない場合は“—”と表示されます。

### ⑩ 目的地、経由地、自車の方向表示

次の経由地の方向 自車の向き



次の経由地 (青色) を除いた、残りの経由地の数を円で表しています。

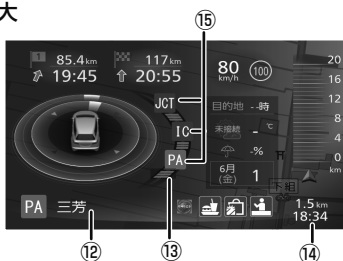
### ⑪ 渋滞状況表示 / 目的地表示：

目的地までの距離が一般道走行中は 5km 以内、高速道路走行中は 20km 以内になると、 を表示します。渋滞状況表示の見かたについては、34 ページの④をご覧ください。

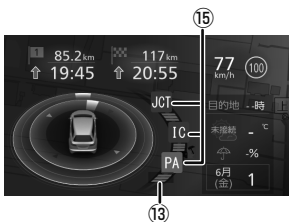
## ■ 高速道路での情報表示について

高速道路で表示される INFO 情報についてのみ説明します。

### INFO 大



### INFO 中



### INFO 小



### ⑫ 施設名称 / 施設案内表示：

進行方向にあるインターチェンジ (IC)/ ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) などの名称と各施設の設備が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

### ⑬ 交通情報表示：

施設間の交通情報が表示されます。

渋滞状況	表示色
順調	灰
混雑	橙
渋滞	赤

### ⑭ 次の高速施設までの距離と通過予想時刻

### ⑮ IC、SA、PA、JCT、¥アイコン表示：

進行方向にあるインターチェンジ (IC)/ ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA)、料金所 (¥) を最大 3 個まで表示します。

アイコンにタッチするとハイウェイモード画面を表示します。ハイウェイモード画面については 67 ページをご覧ください。



- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。

## サブメニューを使う

サブメニューは、よく使う機能のショートカットと、特別メモリ地点などを登録して使用することができます。

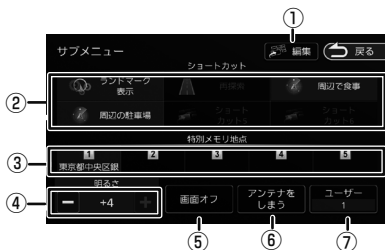
また、画面の明るさやユーザー設定などを変更することもできます。

### サブメニューを表示する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [サブメニュー] にタッチする



サブメニュー画面が表示されます。



- 1 [編集]
  - ② ショートカットボタンと③ 特別メモリ地点を編集する画面を表示します。
- 2 ショートカットボタン
 

よく使う機能をここに割り当てておくことで、ここに機能を使うことができます。①の [編集] で機能を割り当てることができます。
- 3 特別メモリ地点
 

地点を登録したときに、グループ選択で特別メモリ地点 1～5 を選択すると、ここに表示され、ここから地点を呼び出すことができます。①の [編集] で登録地点の名称や電話番号を編集することもできます。
- 4 明るさ
 

本機の画面の明るさ (-4 ~ +4) を **-** または **+** にタッチして調整します。



- DVD ビデオや地上デジタル TV 放送の映像の明るさは、AV 画面の [映像調整] の「ブライトネス」で調整します。(→ P.81)

- 5 [画面オフ]
 

画面表示を消します。
- 6 [アンテナをしまう]/[アンテナを伸ばす]
 

電動アンテナ装備車の場合、本機のオートアンテナの設定を「あり」にする (→ P.20) と、このボタンが表示され (お買い上げ時は表示していません) オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。
- 7 ユーザー [1]/[2]
 

本機の設定を 2 ユーザー分保存しておくことができます。ナビを使うユーザーによって切り替えて使用します。

### ショートカットボタンを割り当てる

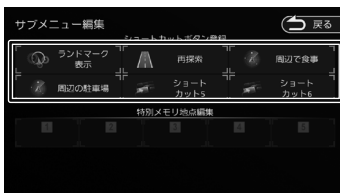
よく使う機能をショートカットボタンに割り当てます。

お買い上げ時は、ショートカット 1～4 に機能が割り当てられていますが、変更することができます。手順 2 で機能を変更したいボタンにタッチすると変更することができます。

- 1 [編集] にタッチする



- 2 機能を割り当てるボタンにタッチする



- 3 リストから機能を選ぶ
- 4 [戻る] にタッチする
 

編集を終了して前の画面に戻ります。

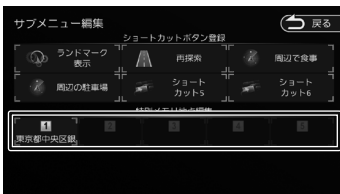
## 特別メモリ地点の編集をする

特別メモリ地点を登録している (→ P.77) と、ここから名称や電話番号を編集することができます。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 **[サブメニュー]** にタッチする
- 3 **[編集]** にタッチする



- 4 **編集する特別メモリ地点のボタン** にタッチする



- 5 **地点を編集する**

地点の名称や電話番号、グループを編集できます。



編集については 78 ページをご覧ください。

- 6 **[戻る]** にタッチする

編集を終了して前の画面に戻ります。



## ユーザーを切り替える

本機の一部の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。また、ユーザー 1、2 は名前に変更することもできます。(→ P.39)

### 保存できる項目

- 音量設定 (音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン)
- 地図表示の設定 (地図の向き、縮尺、ランドマーク)
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルルートアジャスター

保存できる項目の設定を変更すると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 **[サブメニュー]** にタッチする
- 3 **[ユーザー]** にタッチする



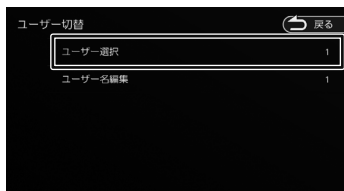
タッチするたびにユーザー 1 と 2 が切り替わります。



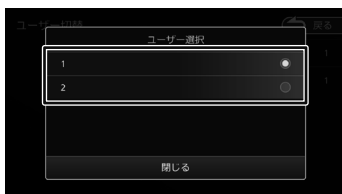
- ユーザーの切り替えはシステム設定で切り替えることもできます。(→ P.39)

## ■ システム設定から切り替える

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする
- 3 [システム] にタッチして「特別」の [ユーザー切替] にタッチする
- 4 [ユーザー選択] にタッチする



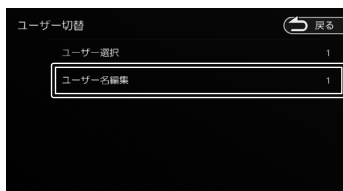
## 5 ユーザーを選ぶ



ユーザーを切り替えると「ユーザー切替中」と表示され、手順 4 の画面に戻ります。

## ■ ユーザー名を編集する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする
- 3 [システム] にタッチして「特別」の [ユーザー切替] にタッチする
- 4 [ユーザー名編集] にタッチする



## 5 名前を編集する

文字の入力方法は 42 ページをご覧ください。



## 6 [決定] にタッチする



ユーザー名が変更され、ユーザー切替画面に戻ります。

## 音量を調整する

### ナビゲーションの音量を調整する

ナビの音声案内の音量を調整します。1～40まで調整できます。

お買い上げ時は 25 に設定されています。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチする
- 3 【ナビ】にタッチする



- 4 「案内」の【案内音声の音量】にタッチする



- 5 バーまたは  /  にタッチして音量を調整する



- 6 【閉じる】にタッチして設定画面を閉じる



- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量調整を音量キーで調整できるように設定できます。(→ P.125)

## AV またはハンズフリー電話の音量を調整する

音量キーで音量を調整します。

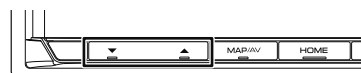
### MDV-M906HDL



### MDV-M906HDW



### MDV-M906HD



AV ソースを選択しているときは、選択しているソースの音量を調整 (0～40) します。



Bluetooth のハンズフリー電話は、通話中または着信中に音量が調整 (0～40) できます。



- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- Bluetooth のハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定からも調整できます。(→ P.151)
- ハンズフリー電話の音量調整をしないように設定することもできます。(→ P.152)



## 画面表示を消す

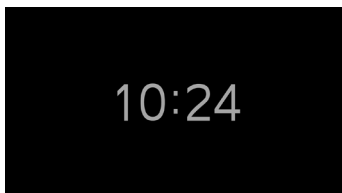
本機を使用しないときなどに画面表示を消して時計のみを表示します。

時計表示も消すことができます。時計表示の設定については 142 ページをご覧ください。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 **[サブメニュー]** にタッチする
- 3 **[画面オフ]** にタッチする



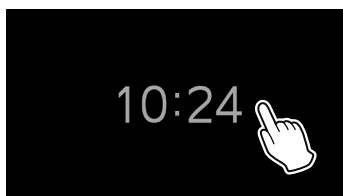
画面が消えて時計が表示されます。



- 画面表示を消しているときに、本機の電源をオフにすると、次に本機の電源をオンにしたときには、画面は表示されません。
- リアビューカメラが接続されている場合は、画面を消しているときにシフトレバーを「R」に入れると、リアビューカメラの画面が表示されます。
- 画面表示を消しているときに、別の画面を表示すると画面オフは解除されません。

## 画面を表示させる

- 1 画面にタッチする



サブメニュー画面が表示されます。



- **[HOME]** を押すと HOME 画面を、**[MAP/AV]** を押すと現在地図画面を表示します。
- ステアリングリモコンを使用していて、「MAP」機能が働くキーを設定している場合は、キーを押し続けると画面が消えます。同じキーをもう一度押し続けると画面を表示します。

# 文字入力のしかた

## 入力方法を切り替える

文字の入力形式をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。

### 1 【入力切替】にタッチする



## 文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

### 1 切り替える文字の種類にタッチする



#### 【切替】：

タッチするたびにかな（ひらがな） / カナ（カタカナ） / 英数字 / 記号に切り替わります。

#### 【小文字】：

小文字に切り替わります。

#### 【半角】：

半角英数文字または半角記号に切り替わります。

## キーボード形式で文字を入力する

画面のキーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

### 1 文字を選んでタッチする



#### 【音声入力】：

カーナビ連携スマホアプリケーション「VOIPUT」を使うと音声で入力することもできます。詳細は163ページをご覧ください。

### 2 変換する場合は、【変換】にタッチする



#### 【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

### 3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

### 4 【決定】にタッチする



# テンキー形式で文字を入力する

## 1 文字を選んでタッチする



### ■ フリック入力

例：「い」を入力する場合

[あ]をタッチして左側にはらいます。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチします。そのあと、[あ]をタッチして左側にはらいます。

### ■ トグル入力

例：「い」を入力する場合

[あ]を素早く2回タッチします。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチします。

そのあと、[あ]を素早く2回タッチします。

### [音声入力]：

カーナビ連携スマホアプリケーション「VOIPUT」を使うと音声で入力することもできます。詳細は163ページをご覧ください。

### [送り]：

入力した文字を確定します。

## 2 変換する場合は、[変換]にタッチする



### [無変換]：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

## 3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

## 4 [決定]にタッチする

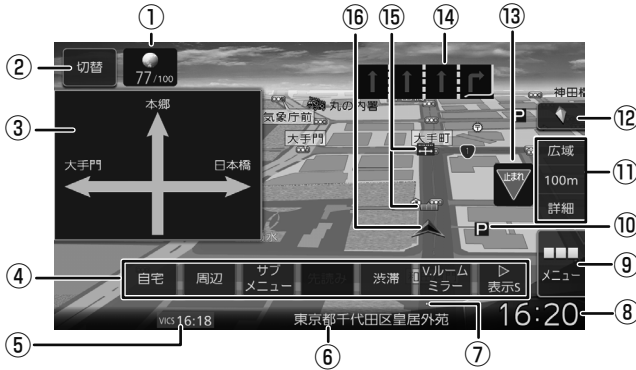


- ◀ または ▶ にタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して◀BS▶ にタッチすると一文字を消すことができます。
- ◀BS▶ を押し続けると、文字をすべて消すことができます。

# 地図の見かたと操作

## 現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【MAP/AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます。(現在地図画面)



### ① エコ情報

エコ情報を点数で表示します。

### ② [切替]

タッチすると地図 2 画面表示の設定画面が表示されます。(→ P.47)

### ③ 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づく则表示されます。タッチすると表示を消します。

### ④ ショートカットボタン

タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。ボタンの表示する数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。(→ P.50)

### ⑤ VICS 情報提供時刻

VICS 情報の提供時刻が表示されます。

### ⑥ 現在地情報

現在の自車位置の情報が表示されます。

### ⑦ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます(→ P.129)。また、走行軌跡のデータを消去することもできます(→ P.129)。

### ⑧ 時計

現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

### ⑨ [メニュー]

MENU 画面を表示します。(→ P.33)

### ⑩ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。表示するランドマークを設定することができます。(→ P.129)

### ⑪ [広域] / [詳細]

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます(→ P.45)。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。縮尺表示にタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます(→ P.45)。

### ⑫ (コンパスボタン)

地図の方向が表示されます。タッチすると、地図の向きを切り替えることができます。(→ P.46)



### ⑬ (一時停止表示) / (日没ライト案内と警告表示)

一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンが表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.126)  
日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告が表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.143)

### ⑭ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

### ⑮ 案内地点

 : 方面看板の案内地点が表示されます。  
 : レーン情報の案内地点が表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.126)

### ⑯ 自転車マーク

タッチすると自転車マークの周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ機能)(→ P.45)



- 細街路（幅員 5.5m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図（→ P.46）の表示中は、常に細街路が表示されます。
- ③、⑩は表示しないように設定できます。（→ P.126）
- 地図2画面表示中と案内情報表示中はワンタッチルーペ機能（右記）は使用できません。

## 地図の縮尺を変える

HOME 画面、現在地図画面のどちらでも同じ操作になります。

### 1 [広域] または [詳細] にタッチする



それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

### ■ 地図を直接操作する

2本の指でタッチして、指の間を開くまたは閉じます。



### ■ 自車位置の周りを拡大表示する

縮尺が65m以上～650m未満のときに、自車マークにタッチすると自車位置の周りの地図が拡大して表示されます。（ワンタッチルーペ）ワンタッチルーペを表示するしないを設定することもできます。（→ P.125）



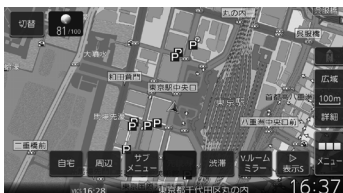
### ■ スライダーバーで縮尺を変える

1 縮尺表示にタッチして、タッチしたままスライダーバーのつまみを上下にドラッグする



## 市街地図について

市街地図は、100m以下で表示されます。ナビ設定の「市街地図の表示縮尺」を「50m以下」にすると、50m以下で表示できます。(→ P.125)



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自転車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面(→ P.48)で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更と、画面を直接タッチして拡大/縮小することはできません。

## 地図の向きと表示を切り替える

### 1 HOME 画面または現在地図画面のコンパスボタンにタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。



#### (3Dビュー)

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D地図が表示されます。

市街地図(左記)では、スケールを50m以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル3Dマップが表示されます。



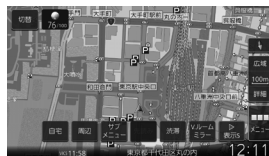
#### (2D ノースアップ)

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。



#### (2D ヘディングアップ)

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。



- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。(→ P.125)
- 地域によっては、バーチャル3Dマップを表示できない場所があります。

## 地図を2画面表示する

現在地図画面の上に地図を表示できます（地図2画面表示）。

### 1 [切替] にタッチする



### 2 表示方法を選ぶ



#### [地図]

現在地図画面が表示されます。



#### [地図&地図小]

現在地図画面に地図小画面を表示します。



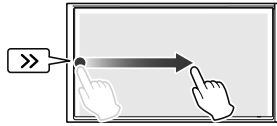
#### [地図&地図中]

現在地図画面に地図中画面を表示します。



## 地図小または中画面を引き出す

### 1 画面左から中央に向かってドラッグまたはフリックする



ドラッグまたはフリックする長さによって、小画面または中画面を表示できます。

[切替] にタッチして表示した場合もドラッグまたはフリックで小画面と中画面を表示することができます。



#### 小画面（ドラッグする距離が短い）



#### 中画面（ドラッグする距離が長い）



小、中どちらの画面でも地図の向き、表示、縮尺を切り替えることができます。



- 地図2画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の縮尺の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 小画面、中画面の地図では、スクロールできません。
- 引き出した地図画面を画面の左に向かってドラッグまたはフリックすると、地図2画面表示が解除されます。
- [切替] にタッチしても地図小、中画面を選択することができます。

## 地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

### ■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



### ■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



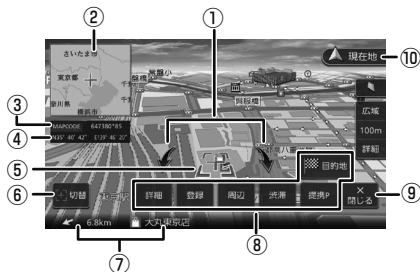
### ■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。



- スクロールした後に【MAP/AV】を押すと、現在地図画面に、【HOME】を押すと、HOME画面を表示します。
- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

## スクロールしたときの地図表示



- 1 地図回転ボタン：**  
3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。
- 2 フライビューマップ：**  
スクロールした地点を広域地図で表示します。表示しないように設定することもできます。(→ P.125)
- 3 マップコード：**  
マップコード表示を【ON】に設定すると、マップコードを表示します。(→ P.125)
- 4 緯度・経度：**  
緯度・経度表示を【ON】に設定すると、緯度経度を表示します。(→ P.125)
- 5 [カーソル)：**  
地図画面の中心点に表示されます。
- 6 [切替 P)：**  
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。
- 7 地点情報：**  
カーソルの位置の地点情報(住所や名称など)と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。
- 8 [提携 P)：**  
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

**[目的地] / [経由地]** (経由地は目的地設定時のみ)：

この地点を目的地に設定します。

**[渋滞]：**

VICS 情報画面が表示されます。

**[周辺]：**

周辺の施設を検索します。スマートフォンアプリケーション「KENWOOD Drive Info.」(→ P.163) と連携しているときは、周辺のガソリン価格や駐車場空き情報なども見ることができます。



**[登録] :**

この地点を登録します。

**[詳細] :**

地点詳細情報画面を表示します。  
携帯電話またはスマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。(右記)

**⑨ [閉じる] :**

⑧の表示を消して、[表示] に切り替わります。

**⑩ [現在地] :**

HOME 画面からスクロールしたときは、HOME 画面に戻ります。現在地図画面でスクロールしたときは、現在地図画面に戻ります。



- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

## ランドマークの情報を見る

### 1 情報を表示したいランドマークのアイコンにタッチする



施設名と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。

さらに詳細な情報を見るには、[詳細] にタッチします。詳細情報については、50 ページをご覧ください。



- 複数のランドマークが重なっている場合は、[切替] にタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニエンスストア/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。
- 地図の向きが 3D ビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

## マップクリップを利用する

マップクリップは、QR コード(2 次元バーコード)に変換した地点情報を、携帯電話またはスマートフォンで読み取って地図を表示する MapFan のサービスです。

- 「マップクリップ」は、NTT ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンで利用できます。
- 携帯電話の機種によっては、QR コードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合は QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 携帯電話での QR コードの読み取り操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の場合は、読み取った地図 1 画面のみの閲覧は無料です。  
ケータイ MapFan 会員の方は、地図の縮尺変更や移動など、1 画面を超える範囲を見ることができます。  
また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- スマートフォンの場合は、地図の縮尺変更や移動は無料です。(通信料、パケット料はお客様負担となります。)
- MapFan のサービスについては、[https://www.kenwood.com/jp/faq/ce\\_navi/mapfan/](https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/) をご覧ください。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

## 1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、[詳細] にタッチする



## 2 QRコードを表示して、携帯電話またはスマートフォンで読み取る



### (地点地図) :

カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

### (地点地図+現在地) :

カーソルのある地点と現在地からのルート情報を QR コードで表示します。

### (地点地図+目的地) :

カーソルのある地点と目的地からのルート情報を QR コードで表示します。

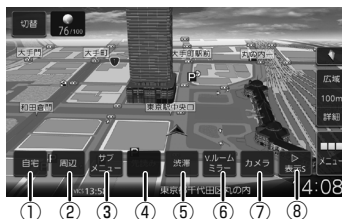


QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

## ショートカットボタンを使う

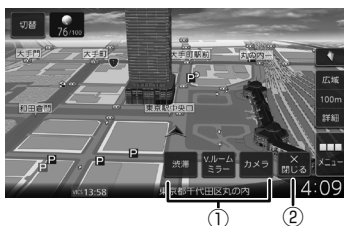
現在地図画面にショートカットボタンが表示されず。ショートカットボタンは「S」表示と「L」表示と表示なしがあります。さらに接続される周辺機器によって表示されるショートカットボタンが異なります。

### ■ ショートカット L ボタンを表示時



- ① **[自宅] :**  
自宅へ帰るルートを探します。(→ P.53)  
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。
- ② **[周辺] :**  
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。検索した施設を目的地に設定することもできます。
- ③ **[サブメニュー] :**  
サブメニューを表示します。(→ P.37)
- ④ **[先読み] :**  
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。(→ P.69)
- ⑤ **[渋滞] :**  
VICS 情報画面が表示されます。
- ⑥ **[V. ルームミラー] :**  
外部機器設定の「バーチャルルームミラー」設定が [ON] に設定されている (お買い上げ時は ON です。) と、タッチしたときに、ドライブレコーダー (リア用 別売品) またはリアカメラ (別売品) の映像に切り替わります。(→ P.148)
- ⑦ **[カメラ] :**  
「AV-IN 接続設定」がフロントカメラ (別売品) に設定されていると表示されます。タッチするとフロントカメラの映像に切り替わります。
- ⑧ **[表示 S] :**  
ショートカット S ボタンを表示します。

## ■ ショートカット S ボタンを表示時



- ① 別売品の接続によって表示されるボタンが異なります。

### [サブメニュー]：

サブメニューを表示します。(→ P.37)  
別売のフロントカメラ、またはドライブレコーダー(リア用)を接続しているときで、外部機器設定の「その他」-「バーチャルルームミラー」設定が[ON]に設定されているときは、表示されません。

### [先読み]：

ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。(→ P.69)  
別売のフロントカメラとドライブレコーダー(リア用)を接続しているときで、外部機器設定の「その他」-「バーチャルルームミラー」設定が[ON]に設定されているときは、[先読み]は表示されず[V.ルームミラー]が表示されます。

### [渋滞]：

VICS 情報画面が表示されます。

### [V.ルームミラー]：

このボタンは、外部機器設定の「その他」-「バーチャルルームミラー」設定が[ON]に設定されている(お買い上げ時はONです。)と表示します。タッチするとバーチャルルームミラー映像に切り替わります。(→ P.148)

### [カメラ]：

「AV-IN 接続設定」がフロントカメラに設定されていると表示されます。タッチするとフロントカメラの映像に切り替わります。

- ② [閉じる]：

ショートカットボタンの表示を閉じます。

## ■ ショートカットボタンを閉じたとき



- ① [表示 L]：

ショートカット L ボタンを表示します。

## 周辺検索と周辺情報を取得する

現在地の周辺の施設を検索します。

- 1 [周辺] にタッチする

- 2 [周辺検索] にタッチする



タッチするとジャンルリストが表示されます。検索したいジャンルにタッチしてください。ジャンルを絞り込んだ後の操作は、57 ページの手順 4 からご覧ください。

## ■ 周辺地点情報を取得する

「KENWOOD Drive Info.」スマートフォンアプリケーションと連携していると「ガソリン価格」、「駐車場満空」、「テレビ de み〜た」、「天気予報」の情報を表示します。詳細は 163 ページの「KENWOOD Drive Info.」をご覧ください。



# ナビゲーションの流れ

1

行き先を  
探す

## 目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(→ P.54)



## 地図画面から

地図をスクロールして行きたい場所を探し(→ P.48)、[目的地] にタッチします。



2

行き先に  
設定する

## 【目的地】にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(→ P.64)



- ・ 経由地は、目的地を設定した後には設定することができます。(→ P.72)

3

ルートを  
設定する

## ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(→ P.72)



[推奨] / [距離] / [高速] / [一般] / [高速/距離] :

指定した条件でルートを探します。(→ P.64)

4

案内を  
開始する

## 【案内開始】にタッチする

ルート案内が始まります。



## ルート案内を開始した後は

- 経由地の設定・入れ替え  
途中で立ち寄りしたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(→ P.72)
- 案内終了  
ルート案内を中止します。(→ P.76)

## 自宅に帰る / 自宅を変更する

### 自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

#### 1 現在地図画面で【自宅】にタッチする

【自宅】が表示されていないときは【表示】ボタンを表示してください。(→ P.50)



確認メッセージが表示されます。

#### 2 【はい】にタッチする

#### 3 【案内開始】にタッチする



自宅へのルート案内が開始されます。

(→ P.64)



- 目的地図検索画面の【自宅】にタッチして、ルート案内を開始することもできます。(→ P.54)

### 自宅を変更する

#### 1 新しく自宅に登録する地点を検索して【登録】にタッチする



#### 2 【自宅】にタッチする



確認メッセージが表示されます。

#### 3 【はい】にタッチする

#### 4 【決定】にタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は42ページをご覧ください。



- 先に自宅として登録されていた地点は、【未分類】グループに変更されます。

# 行き先を探す

本機の「目的地検索」画面に表示される(→ P.33)さまざまな方法を使って、行き先(目的地)や立ち寄りたい場所(経由地)を探ることができます。



## 名称：

施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。(右記)

## ジャンル：

食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。(→ P.57)

## 登録地点：

本機に登録した場所(登録地点)から行き先を探します。(→ P.58)

## 自宅：

現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。(→ P.53) 自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。(→ P.26)

## 住所：

住所から目的地を探します。(→ P.58)

## 履歴：

いままでにルートを探索した行き先から探します。(→ P.59)

## 電話番号：

電話番号を入力して行き先を探します。(→ P.60)

## マップコード：

マップコードを入力して行き先を探します。(→ P.60)

## 郵便番号：

郵便番号を入力して行き先を探します。(→ P.60)

## 検索画面での営業時間外表示について

目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合「！」マークを表示します。



- 営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司です。
- 隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 営業時間のデータがない施設の場合は、営業時間外の「！」マークを表示できません。
- 実際の営業時間は各施設に問い合わせてください。

## 名称から探す

会社や店舗などの施設名(読みがな)から行き先を探します。

### 1 [名称] にタッチする



### 2 施設の名前を入力して、[検索] にタッチする



## [フリーワード]：

フリーワード検索ができます。フリーワード検索をするには、「KENWOOD Drive Info.」が必要です。詳細は 163 ページをご覧ください。



- 施設名の入力時に、「ゝ」(濁点)や「゜」(半濁点)は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」(促音)や「ゃ」「ゅ」「ょ」など(拗音)は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に手順3の画面が表示されます。

### 3 行き先にタッチする



#### [ジャンルで絞り込む] :

さらにジャンルで絞り込みます。(→ P.56)

#### [エリア指定] :

さらに指定したエリアで検索します。(→ P.55)

#### [名称順] :

検索結果を名称順で表示します。

#### [距離順] :

検索結果を距離順で表示します。

### 4 [このピンを選択] にタッチする



#### [リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。

▼  
[目的地] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)



- ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ]または[次へ]にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして[この地点を選択]にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

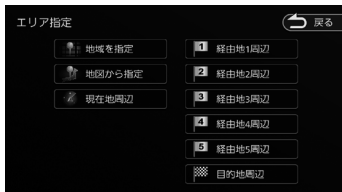
### エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

#### 1 「名称から探す」(→ P.54)の手順3で [エリア指定] にタッチする



#### 2 指定したい項目にタッチする



#### [地域を指定] :

地域(都道府県から)を入力して検索します。

#### [地図から指定] :

地図をスクロールして場所を指定します。

#### [現在地周辺] / [目的地周辺] /

#### [経由地(1~5)周辺] :

指定した地点の周辺地図が表示されます。

### 3 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順4に進んでください。



#### [リスト] :

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして[この地点を選択]にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

## 4 【このピンを選択】にタッチする



【目的地】にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)



- 手順2の【目的地周辺】 / 【経由地(1~5)周辺】は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

## ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル(施設の種類)でさらに絞り込むことができます。

### 1 「名称から探す」(→ P.54)の手順3で【ジャンルで絞り込む】にタッチする



### 2 ジャンルにタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

#### 【全て検索】:

選択ジャンル全て(下層の分類も含む)で検索します。

## 3 目的の施設を選ぶ



#### 【エリア指定】:

さらに指定したエリアで検索します。(→ P.55)

#### 【名称順】:

検索結果を名称順で表示します。

#### 【距離順】:

検索結果を距離順で表示します。

## 4 【前へ】 / 【次へ】にタッチして、目的の施設を選ぶ

【前へ】 / 【次へ】にタッチするたびに施設情報が切り替わります。施設が1件のときは、【前へ】 / 【次へ】は表示されません。手順5に進んでください。



#### 【リスト】:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

## 5 【このピンを選択】にタッチする



【目的地】にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)



## ジャンルから探す

食事やショッピングなど、目的のジャンルから行き先を探します。

### 1 [ジャンル] にタッチする



### 2 ジャンルにタッチする

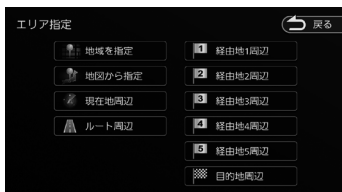


さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

#### [全て検索]：

選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

### 3 指定したい項目にタッチする



#### [地域を指定]：

地域（都道府県から）を入力して検索します。

#### [地図から指定]：

地図をスクロールして場所を指定します。

#### [ルート周辺]：

ルート前方にある施設を表示します。

#### [現在地周辺] / [目的地周辺] /

#### [経由地 (1～5) 周辺]：

指定した地点の周辺地図が表示されます。

## 4 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順5に進んでください。



#### [リスト]：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

## 5 [このピンを選択] にタッチする



【目的地】にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)



- 手順3の【ルート周辺】は現在地周辺の半径10km以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大50件) その他は指定した地点を中心とした半径50km以内で検索します。(最大50件)
- 【ルート周辺】検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の【目的地周辺】 / 【ルート周辺】 / 【経由地(1～5)周辺】は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

## 登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。



- ・事前に本機に地点を登録してください。(→ P.77)

### 1 [登録地点] にタッチする



### 2 グループにタッチする



### 3 登録地点にタッチする



[目的地] にタッチすると、ルート探索が始まります。(→ P.64)

## 住所から探す

住所から行き先を探します。

### 1 [住所] にタッチする



### 2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ



リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。



[目的地] にタッチすると、ルート探索が始まります。(→ P.64)



- ・番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-” でつないで一度に入力することができます。
- ・[あ] ~ [わ] にタッチすると表示中のリストを頭出しします。
- ・[代表地点] にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

## 履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

### 1 【履歴】にタッチする



### 2 検索履歴にタッチする



【目的地】にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)



- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は50か所まで保存されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

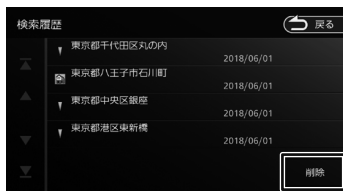
## 履歴を削除する

履歴地点を削除します。



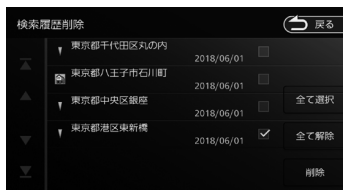
- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

### 1 検索履歴画面で【削除】にタッチする



### 2 削除する履歴地点にタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックがつきます。



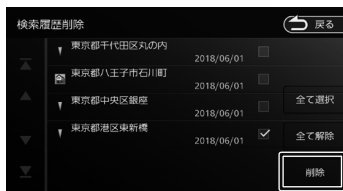
#### 【全て選択】:

リスト内のすべての地点を選択します。

#### 【全て解除】:

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

### 3 【削除】にタッチして、【はい】にタッチする



## 電話番号・郵便番号・マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードの番号から行き先を探します。

### 1 【電話番号】、「郵便番号」または【マップコード】にタッチする



### 2 番号を入力して【検索】にタッチする



電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。

**BS** :

カーソルの前にある文字を消去します。



【目的地】にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)



- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。【検索】にタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して【検索】にタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ (<http://www.e-mapcode.com/>) をご覧ください。

## NaviCon で探す

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。

ほかにも、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や NaviCon の操作については下記の URL をご覧ください。  
<https://navicon.com/user/support/>
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。



- ・「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

## 本機とスマートフォンを接続する

- 1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする
- 2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

### ■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。接続ケーブルは別売の KCA-iP103 を使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。（→ P.150）

### ■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（→ P.150）

## NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。

また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。

なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

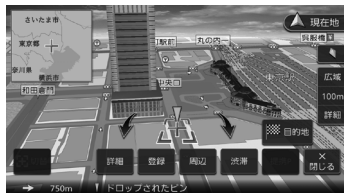
## 目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に送信して、行き先として設定することができます。

- 1 「NaviCon」を起動する
- 2 「NaviCon」から本機に地点情報を送信する

送信方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。

送信された場所が本機に表示されます。



案内を開始するには 64 ページをご覧ください。

## NaviCon 友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。

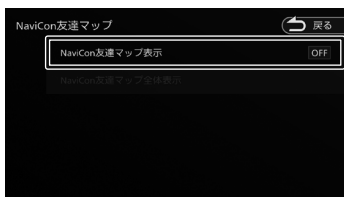
また、表示された友達の位置を目的地に設定することができます。

### ■ ナビの友達マップ機能を ON にする

- 1 本機にスマートフォンを接続する
- 2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する
- 3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする
- 4 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 5 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 6 「その他」の [NaviCon 友達マップ] にタッチする



- 7 [NaviCon 友達マップ表示] にタッチして ON にする



[OFF]:

友達マップ機能をオフにします。

現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。



- ナビの友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定がオフになります。設定をオンにしたときと違う機器を使用する場合は設定をオンにし直してください。

## ■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

### 友達アイコン

- 緑色：友達の NaviCon と通信できています。
- 灰色：友達の NaviCon が通信できません。最後に通信できた場所を表示しています。



### ■ 本機との接続状態表示アイコン

緑色：

友達マップ機能が "ON" になっている

黄色：

友達マップ機能は "ON" になっているが通信エラーが発生してる

灰色：

友達マップ機能は "ON" になっているが通信できない状態になっている

表示なし：

友達マップ機能が "OFF" になっている



- 友達アイコンは NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- 友達アイコンは 2.5km 以下のスケールで表示されます。

## ■ 友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示させることができます。

- 1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [NaviCon 友達マップ全体表示] にタッチする



全体表示画面が表示されます。

## ■ 友達の位置を目的地に設定する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 「その他」の [NaviCon 友達マップ] にタッチする
- 4 [NaviCon 友達マップ全体表示] にタッチする

全体表示画面が表示されます。



複数の友達の位置情報を取得している場合は、[◀]、[▶]、[リスト] にタッチして友達を選ぶことができます。

## 5 [この友達を選択] にタッチする



## 6 [目的地] にタッチする

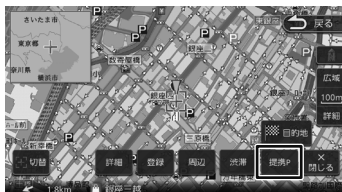


ルートの探索が始まります。(→ P.64)

## 提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P] が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

## 1 [提携 P] にタッチする



## 2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 3 に進んでください。



[リスト] :  
リストから施設を選ぶことができます。

## 3 [このピンを選択] にタッチする



[目的地] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.64)

# ルートの探索と案内

## ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先(目的地)に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

## 目的地に設定してルートを探る

ここまでの手順 ▶ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

### 1 [目的地] にタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。



- 経由地を設定する場合は72ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地(経由地)を設定します。よろしいですか?」と表示されたときは、  
[はい]: 一般道を目的地(経由地)に設定します。  
[いいえ]: 高速・有料道路を目的地(経由地)に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか?」と表示されたときは、65ページをご覧ください。

## ルートの探索条件を選択して案内を開始する

### 1 ルートの探索条件にタッチする

目的地までの到着予想時刻と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。



#### [推奨]:

本機が推奨するルートです。

#### [距離]:

走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

#### [高速]:

高速道路(有料道路)を優先的に通るルートです。

#### [一般]:

一般道路を優先的に通るルートです。一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路(有料道路)を通るルートになることがあります。

#### [高速/距離]:

高速道路(有料道路)を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

#### [全行程]:

すべての条件でルートを探ります。各条件のルートと比較することができます。



#### [ルート情報]:

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

#### 入 神田橋 / 出 八王子:

利用するインターチェンジを変更します。  
(→ P.74) 有料道路を使用するときに表示されます。

#### [スケール調整]:

タッチすると地図を拡大、縮小、スクロールできます。[戻る]にタッチすると元の画面に戻ります。



## 【マイルートアジャスター】:

ルート探索の詳細条件を設定します。  
マイルートアジャスター機能は、5ルート（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）全てに詳細条件が反映されます。(→ P.130)

## 2 【案内開始】にタッチする




ルート案内が開始されます。(→ P.66)



- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。

フェリーアイコン: 

- フェリーを利用したルートを案内する場合は「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- スマートICを利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマートICアイコンが表示されます。

スマートICアイコン: 

- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥〜以上」または「¥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

## VICS によるルート探索

### ■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報（通行止めなど）を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

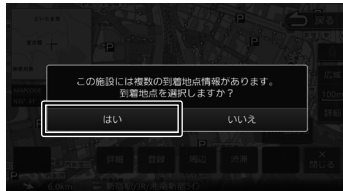
### ■ 渋滞考慮探索（最適時間考慮探索）

- ルート案内中に渋滞のある箇所近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)

## 複数の到着地点情報があったとき

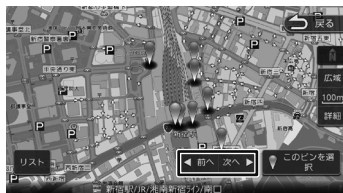
検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

### 1 【はい】にタッチする



### 2 【前へ】 / 【次へ】にタッチして、目的の施設を選ぶ

【前へ】 / 【次へ】にタッチするたびに施設情報が切り替わります。



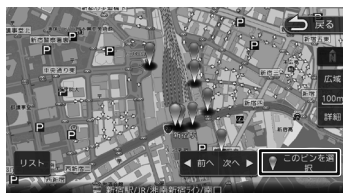
#### 【リスト】:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

### 3 【このピンを選択】にタッチする



選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。(→ P.64)

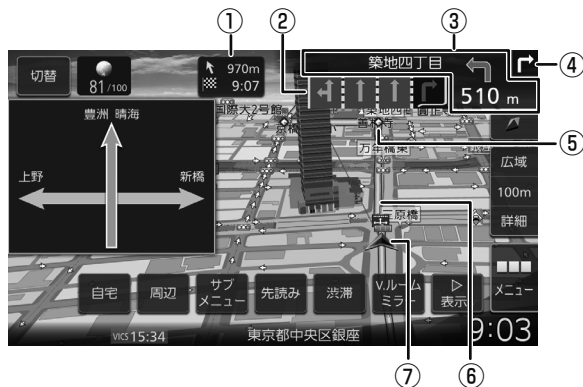
## ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

### 一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



#### ① 到着予想時刻と距離

対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。経由地が設定されている場合は、このボタンにタッチするたびに対象の行き先が切り替わります。

#### ② レーン情報表示

- ↑ (灰色矢印)：案内レーン
- ↑ (水色矢印)：推奨通過レーン

#### ③ 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

#### ④ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

#### ⑤ ◆案内ポイント

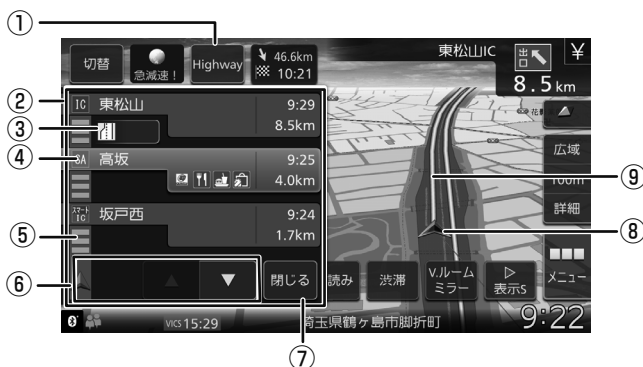
#### ⑥ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。道路の種類（一般道 / 高速道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。

#### ⑦ 自車位置マーク

## 高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



### ① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

### ② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。  
ここでは案内または高速分岐イラストが表示されます。

### ③ 規制情報表示

車線規制などの情報 (VICs 情報規制表示) が 3 件までマークで表示されます。(→ P.119)  
マークにタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

### ④ 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA) などの名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。  
施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

### ⑤ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。  
灰色：順調  
橙色：混雑  
赤色：渋滞

### ⑥ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると [現区間] ボタンが表示されます。[現区間] タッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

### ⑦ [閉じる]

ハイウェイモード画面を閉じます。  
①にタッチすると再度表示します。

### ⑧ 自車マーク

### ⑨ 案内ルート



・ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

## 案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここです案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。

消した割り込み表示は、HOME画面では【HOME】を押す、現在地図画面では【案内図】にタッチするともう一度表示できます。



- ・割り込み表示は表示しないように設定することができます。(→ P.126)

## ここです案内表示

案内する交差点の約350m(高速道路は約1.1km)手前に近づくと表示されます。



## 交差点案内図の表示

### ■ 交差点拡大図

約200m(高速道路は約800m)手前に近づくと表示されます。



### ■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



## ■ 空港構内案内

イラスト情報がある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



## ■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



## 高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。

場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

## ■ 高速入口

都市高速道路入口の約300m手前で表示されます。



## ■ 分岐

出口やジャンクションの約1km手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



## ■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。



## ■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



## ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報が無い場合があります。その場合は表示されません。



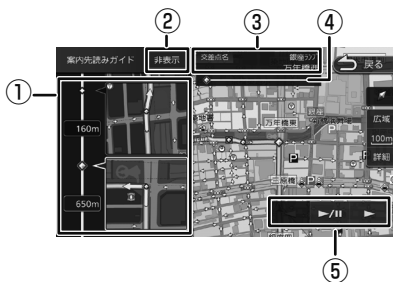
## 案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

### 1 [先読み] にタッチする



案内先読みガイドが表示されます。



### ① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが 2 ポイントずつ表示されます。

### ② [非表示]

案内先読みガイドの表示を消します。消すと [非表示] は [表示] になります。[表示] にタッチするとガイドを表示します。

### ③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

### ④ プログレスバー

案内先読みガイド表示 (最大 99) 全体のうちのどのあたりのガイド表示かを表示します。

### ⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。



- オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

## 音声案内について

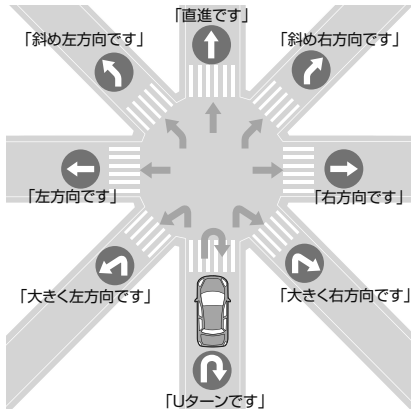
本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。



- 音声案内の前には“ジャン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(→ P.126)
- 音声案内の音量調整は 126 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(→ P.142)
- ルート案内ポイントの直前では“ボンボン”と音が鳴ります。
- 音声案内は、案内の状況により情報があっても音声案内しない場合があります。

### 進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

### 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

### 渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。130 ページをご覧ください。

### 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。これらの音声出力の設定は変更することができます。(→ P.126)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

(\* ルート案内時のみ)



- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

### VICS 渋滞 / VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

## ■ 一時停止の音声案内

一時停止情報がある交差点の手前で、音声案内を行います。

音声

この先、一時停止です。

## ■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。(現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います)

### 目的地付近で盗難が多い地点

音声

目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

### ACC OFFした付近で盗難が多い地点

音声

現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

## ■ リフレッシュ通知

運転開始(本機が電源オン状態のまま)から90分ごとに以下の音声案内を行います。

音声

そろそろ90分になります。休憩しませんか？

## ■ 日没ライト案内 / 警告音声案内

日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告を行います。

案内の種類	音声
ライト案内	そろそろ日没です。ライトをつけましょう。
ライト警告	無灯火です。ライトをつけてください。

## ■ スマートフォン置き忘れ警告音声案内

iPhoneがUSB接続されているときに、本機の電源をオフにすると以下の音声案内を行います。

音声

携帯電話を忘れていませんか？

## ■ 逆走時の案内について

本機は高速道路にて逆走状態を検知した場合は、画面表示と音声で案内を行います。

### ● 画面表示

逆走中は以下の表示をします。



[閉じる]にタッチすると、案内を解除できます。  
【MAP/AV】を押しても解除できます。

### ● 音声案内

逆走中は以下の音声案内をします。

音声

逆走しています。



- 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
  - GPS信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。(→P.190、P.191)
  - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
  - 地図データベースには無い道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- 案内は状況によって正しく行われなことがあります。
- 実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。
- 逆走の案内は一般道では行われません。

## ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして **MENU** 画面を表示する

2 **[ルート]** にタッチする



3 **[再探索]** にタッチする



4 探索条件を選んで **[案内開始]** にタッチする



選択したルートでルート案内が開始されます。



- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

## ルートを編集する

経路地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

### 経路地を追加する

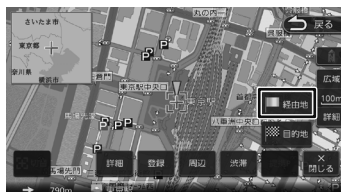
ルートの途中に立ち寄る地点（経路地）を追加します。経路地は 5 か所まで追加できます。



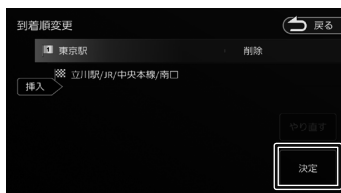
- 目的地が設定されていないときは経路地を設定できません。

ここまでの手順 ▶ 経路地にしたい行き先を検索する

1 **[経路地]** にタッチする



2 経路地の挿入位置を確認し、**[決定]** にタッチする



ルートの探索が始まります。

3 探索条件を選んで **[案内開始]** にタッチする



**[到着順変更]：**

到着順を編集することができます。編集操作は後述の手順 2 からの操作をご覧ください。



新しいルートで案内が開始されます。



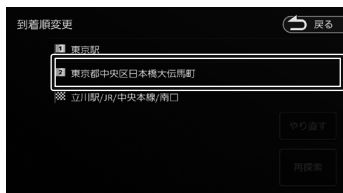
## 目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。  
目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

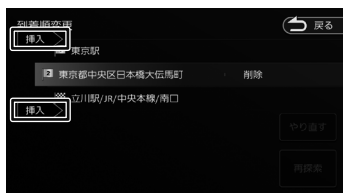
- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【ルート】にタッチする
- 3 【到着順変更】にタッチする



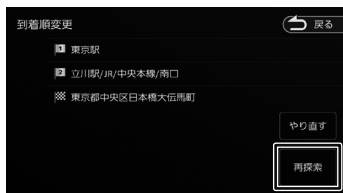
- 4 順番を変更する行き先にタッチする



- 5 移動先の【挿入】にタッチする



- 6 【再探索】にタッチする



【やり直す】：

到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

- 7 探索条件を選んで【案内開始】にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

## 目的地・経由地を削除する



- ・削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- ・目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

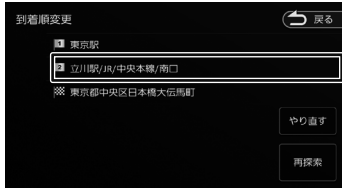
- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する

- 2 【ルート】にタッチする

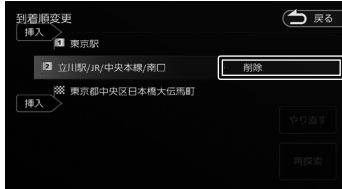
- 3 【到着順変更】にタッチする



- 4 削除する行き先にタッチする



- 5 【削除】にタッチする



選択した行き先が削除されます。

- 6 【再探索】にタッチする



- 7 探索条件を選んで【案内開始】にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

## 利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [ルート] にタッチする
- 3 [再探索] にタッチする



- 4 変更したい入口または出口 IC にタッチする



- 5 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ



[切替]:

タッチした地点に複数の情報があつた場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。



- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC (最大 36 件まで) を選ぶことができます。

- 6 [この IC に変更] にタッチする



- 7 [はい] にタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

- 8 [案内開始] にタッチする



- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとする、確認メッセージが表示され、[はい] にタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとする、確認メッセージが表示され、[はい] にタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探る場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

## 変更したインターチェンジを元に戻す

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [ルート] にタッチする
- 3 [再探索] にタッチする



- 4 [IC 変更を解除] にタッチする



変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

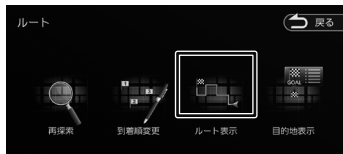
- 5 [案内開始] にタッチする

## 走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

### ルート全体を表示する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [ルート] にタッチする
- 3 [ルート表示] にタッチする



### 【ルート情報】：

ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。



### 【デモ走行】：

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。



### 【× 1】 / 【× 2】 / 【× 3】：

デモ走行の速度を変更できます。

### 【デモ終了】：

デモ走行を終了します。



- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

## 目的地を表示する

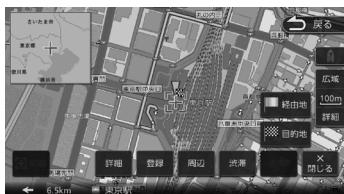
目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [ルート] にタッチする
- 3 [目的地表示] にタッチする



- 4 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。



## ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [案内終了] にタッチする



メッセージが表示されます。

- 3 [はい] にタッチする

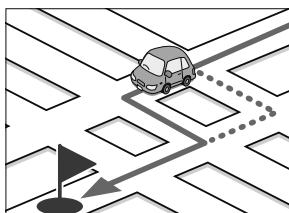
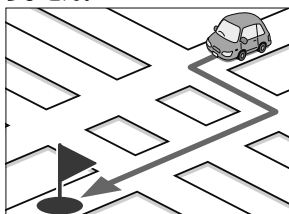
ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

## ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



# 地点を登録する

## 地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。  
本機には 300 件まで地点を登録できます。

- 1 登録したい場所の地点情報画面を表示する
- 2 [登録] にタッチする



- 3 登録するグループにタッチする



- 4 [決定] にタッチする



この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 42 ページをご覧ください。



- 名称の編集は、後からでも編集することができます。(→ P.78)

## 登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [目的地検索] にタッチして [登録地点] にタッチする



- 3 見たい地点情報のグループにタッチする



登録地点がリストで表示されます。

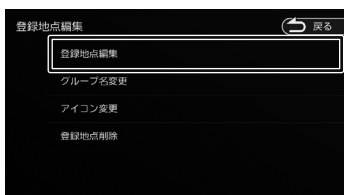
## 登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする
- 3 [登録地点編集] にタッチする



- 4 [登録地点編集] にタッチする



- 5 編集したい地点のグループにタッチする



- 6 編集したい地点にタッチする



## 7 編集したい項目にタッチして編集する



- 名称を編集する  
名称欄にタッチして名前を入力して [決定] にタッチします。



- グループを変更する  
グループ欄にタッチして設定したいグループにタッチします。



- 電話番号を設定および変更する  
電話番号欄にタッチして電話番号を入力して [決定] にタッチします。



- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法については 42 ページをご覧ください。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

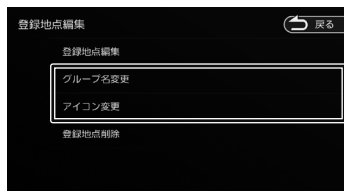
## グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。



- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1～5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

### 1 「登録地点を編集する」(→ P.78) の手順 4 の画面を表示する



- グループ名を編集する  
[グループ名変更] にタッチして編集したいグループにタッチします。グループ名を編集して [決定] にタッチします。



- グループアイコンを変更する  
[アイコン変更] にタッチしてアイコンを変更したいグループにタッチします。変更したいアイコンにタッチします。



## 登録地点を削除する



- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えないように、慎重に操作してください。

### 1 「登録地点を編集する」(→ P.78) の手順 4 の画面を表示する

### 2 [登録地点削除] にタッチする

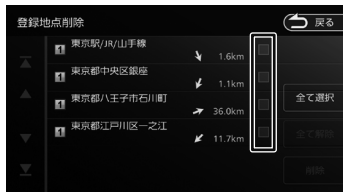


### 3 削除したい地点のあるグループにタッチする



### 4 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。



- [全て選択] :**  
リスト内のすべての地点を選択します。
- [全て解除] :**  
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

### 5 [削除] にタッチする



### 6 [はい] にタッチする

選択した登録地点が削除されます。

# AVの基本操作

## ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 **[ソース切替]** にタッチする



ソース切替画面が表示されます。

- 3 **切り替えたいソースにタッチする**



### iPod :

iPod の曲を再生します。(→ P.83)

### USB :

USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.84)

### SD :

SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。(→ P.84)

### 内蔵メモリ :

本機の内蔵メモリに録音したデータを再生します。(→ P.92)

### マルチ AV ブラウザ :

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオをまとめて表示し、選択して再生することができます。(→ P.100)

### DISC :

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。(→ P.102、P.105)

### 地デジ :

地上デジタル TV 放送を受信します。(→ P.108)

### FM :

FM ラジオ放送を受信します。(→ P.112)

### AM :

AM ラジオ放送を受信します。(→ P.112)

### AV-IN :

本機に接続した外部機器のソースに切り替えます。(→ P.114)

### Bluetooth Audio :

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.161)

### SMART USEN :

スマートフォンアプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.115)

### 交通情報 :

交通情報放送を受信します。(→ P.114)

### STANDBY:

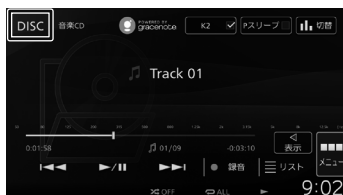
ソースの音を消します。ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。



- ・ DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

## ■ AV 画面からソース切替画面を表示する

AV 画面左上のソース名にタッチするとソース切替画面を表示します。



## 現在地図画面から AV 画面を表示する

- 1 **[MAP/AV]** を押す

### MDV-M906HDL



### MDV-M906HDW



### MDV-M906HD





## K2テクノロジーを使う

各ソースのAV画面に「K2テクノロジー」をオン/オフする「K2」ボタンがあります。チェックをつけると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。アナログソースにおいてもK2テクノロジーのボタンがタッチできるようになっています。より高音質にお楽しみいただけるよう、本機では全てのソースで高解像度なデジタル処理をしています。K2テクノロジーをオンにすることにより、本来の音に復元することが可能となります。



- K2(ケー・ツー)は、1987年に株式会社JVCケンウッドとビクターエンタテインメントのビクタースタジオにより共同開発されたデジタルにおける高音質化技術です。

## パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質になり、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を設定する必要があります。設定については、18ページをご覧ください。
- 各ソースのAV画面に「Pスリープ」をオン/オフするボタンがあります。チェックをつけると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。



- パッセンジャースリープ機能がオン中は、「サウンド設定」機能を変更できません。(→ P.131)

## 画質を調整する

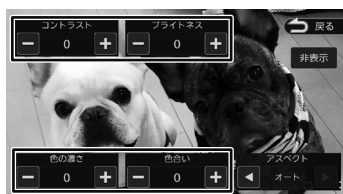
画面に表示する映像の画質を調整します。

- 1 調整する映像ソース画面を表示する
- 2 [映像調整]にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



- 3 [-] または [+] にタッチして各項目を調整する



### コントラスト:

コントラストを調整します。

- [+]: コントラストが強くなります。
- [-]: コントラストが弱くなります。

### ブライトネス:

明るさを調整します。

- [+]: 明るくなります。
- [-]: 暗くなります。

### 色の濃さ:

色の濃淡を調整します。

- [+]: 色が濃くなります。
- [-]: 色が淡くなります。

### 色合い (AV-IN/カメラ映像/ドライブレコーダー映像のみ):

色合いを [+]/[-] で調整します。



- 地図画面の画質は調整できません。
- [非表示] にタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- カメラ映像の画質を調整しているときに [戻る] にタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

## 映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。



- カメラ映像、地デジの映像またはドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

### 1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

### 2 [映像調整] にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



### 3 「アスペクト」の ◀ または ▶ にタッチして、サイズを調整する



**レギュラー：**

4:3 の比率で表示します。

**フル：**

画面いっぱいに表示します。

**オリジナル：**

映像の比率はそのままに、画面の縦が横いっぱいに表示します。

**オート：**

16:9 の映像はフルで、4:3 の映像はレギュラーで表示します。

## ■ 映像サイズイメージ

	16:9 画像	4:3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			



- オリジナルは SD、USB、マルチ AV ブラウザソースのみ設定できます。
- オートは DVD 再生時のみです。

## ■ AV 画面での割り込み表示について

AV 画面表示中に案内割り込みがあると AV 画面と案内割り込み表示の 2 画面表示になります。

割り込み画面の表示が終わると自動で AV 全画面に戻ります。

割り込み表示部をタッチすると (複数の割り込み表示がある場合は消えるまでタッチしてください) 表示を消すことができます。

AV 画面にタッチすると、AV 全画面表示になります。

また、割り込み表示は、表示ないように設定することもできます。(→ P.126)



割り込み表示

# iPod の曲を再生する

iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は別売の KCA-iP103 を USB ケーブルに接続してください。Bluetooth 接続の場合は Bluetooth の登録を行ってください。(→ P.150)

## 接続時のご注意

- ・ iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出しています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

## iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。

iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

## 画面の見かたと操作

### ここまでの手順 ▶

ソースを iPod に切り替える (→ P.80)



- ・ アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- ・ 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、曲名は表示されますが、スクロールはできません。



① 👤 **アーティスト名**

📀 **アルバム名**

🎵 **曲名**

② **アルバムアート画像**

アルバムアート画像の情報がある場合は、AV 画面の背景がアルバムアートになります。

③ **シークバー**

④ **再生時間**

⑤ **接続方法**

⑥ **ランダム再生モード**

⑦ **曲番号 / 全曲数**

⑧ **リピート再生モード**

⑨ **再生残り時間**

⑩ **再生状態**

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前 / 次の曲を再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

## サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



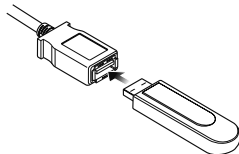
サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

## ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  OFF : シャッフル再生モードを解除します。</li> <li>●  曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。</li> </ul>
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  OFF : リピート再生モードを解除します。</li> <li>●  ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。</li> <li>●  1 : 再生中の曲をくり返し再生します。</li> </ul>
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

## USB 機器 / SD カードのファイルを再生する

## USB 機器を接続する



- 本機で再生できる USB 機器は 201 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 201 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。(→ P.86、P.87)



- USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

## USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

## SD カードを入れる / 出す

- 本機で再生できる SD カードは 200 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。



- フルオープン状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。

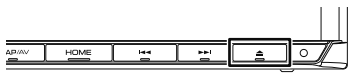
## ■ MDV-M906HDL/MDV-M906HD

【▲】（オープンキー）を押す

MDV-M906HDL



MDV-M906HD

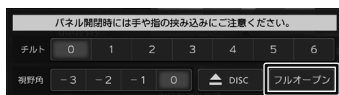


## ■ MDV-M906HDW

【HOME】を押して【メニュー】にタッチして【▲ パネル】にタッチする



## 2 [フルオープン]にタッチする

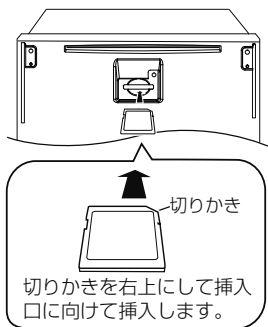


フロントパネルが開きます。

## 3 SD カードを挿入口に入れるまたは出す

入れるときは、SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。

出すときはSD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



## 画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル/ビデオファイルを再生します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは、同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順 ▶

ソースを USB または SD に切り替える (→ P.80)

## オーディオファイルの AV 画面

USB



SD



- ① アーティスト名
- ② アルバム名 (フォルダ名)
- ③ 曲名 (ファイル名)
- ④ アルバムアート画像
- ⑤ 再生時間
- ⑥ 音声形式
- ⑦ シークバー
- ⑧ ランダム再生モード

- ⑥ ファイル番号
- ⑦ リピート再生モード
- ⑧ 再生残り時間
- ⑨ 再生状態表示

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ / ▶▶	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
◀ / ▶	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 88 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



USB



SD



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリ DB 更新]	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.89)
⌘	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・ <input type="checkbox"/> OFF : ランダム再生モードを解除します。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 曲 (カテゴリデータベース 再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
↺	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。 ・ <input type="checkbox"/> 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。 ・ <input checked="" type="checkbox"/> フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

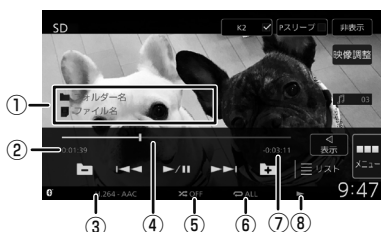
## ビデオファイルの AV 画面

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

### USB



### SD



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

- ① フォルダ名  
ファイル名
- ② 再生時間
- ③ 映像形式 / 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ リピート再生モード
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ 再生状態アイコン

#### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセージスリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.81)

ボタン	説明
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては88ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

### サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

### USB











### SD



#### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USBのみ)	複数のUSB機器を接続しているときに、再生するUSB機器を切り替えます。
[カテゴリDB更新]	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.89)

ボタン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•  OFF : ランダム再生モードを解除します。</li> <li>•  フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。</li> <li>•  曲 (カテゴリーデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。</li> </ul>
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•  ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。</li> <li>•  1: 再生中のファイルをくり返し再生します。</li> <li>•  フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。</li> </ul>
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

## 再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンにタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。

### 1 [リスト]にタッチする



### 2 モードを切り替えるボタンにタッチする



モードを切り替えるボタン

### ● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態再生します。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。



- カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。
- SD に録音された録音データの 카테고리データベースは自動で作成、更新されます。



## カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。

### カテゴリーデータベースを作成する



- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器またはSD カードに \_ContentsDB フォルダが作成されます。\_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

#### 1 [表示] にタッチする

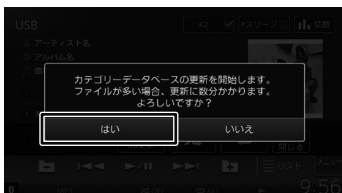


#### 2 [カテゴリー DB 更新] にタッチする



メッセージが表示されます。

#### 3 [はい] にタッチする



カテゴリーデータベースが作成されます。

## カテゴリーモードで再生する

#### 1 [リスト] にタッチする



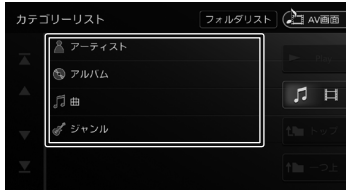
#### 2 フォルダリスト画面の [カテゴリーリスト] にタッチする



#### 3 (ビデオリスト) または (ミュージックリスト) を選ぶ



#### 4 再生するファイルを選ぶ



[トップ] :

一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上] :

一つ上の階層のリストに移動します。

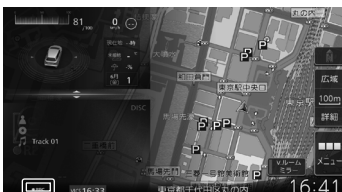
▶ Play :

該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

# 内蔵メモリ/SDカードに録音する

## 録音について

- 本機では、再生中の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音できます。
- 録音中は、地デジと録音先のソースは選択することができません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面左下に **REC** と表示されます。



- 録音中に本機の電源をオフにしたり、録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されています。
- 本機は SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵メモリまたは SD カードに録音することはできません。
- 内蔵メモリまたは SD カードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(→ P.96)
- 録音する音楽 CD のアルバム情報がなければ、次のように名前が付けられます。
  - タイトル名: "Track" + Track 番号 + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
  - アルバム名: "Album" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
  - アーティスト名: "Artist" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
 なお、年、月日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。(→ P.94)
- 録音中は、「録音先」、「録音音質」は設定できません。
- 本機で再生できる SD カードについては、200 ページをご覧ください。

## 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- 内蔵メモリ:
  - 標準音質 … 約 1000 曲
  - 高音質 … 約 500 曲
- SD カード (8GB の場合):
  - 標準音質 … 約 2000 曲
  - 高音質 … 約 1000 曲

## 録音可能アルバム数について

内蔵メモリ、SD カードそれぞれ 999 枚録音できます。

## 録音設定をする

音楽 CD から録音するときの録音音質および録音先を設定します。

### 1 音楽 CD の AV 画面を表示して、サブ機能ボタンの [録音設定] にタッチする



### 2 設定したい項目にタッチする



#### 録音先

**[内蔵メモリ]**: 内蔵メモリーに録音します。

**[SD カード]**: SD カードに録音します。

#### 録音音質

**[標準 128kbps]**: 標準の音質で録音します。

**[高音質 256kbps]**: 高音質で録音します。

**[ロスレス]**: 最高音質で録音します。

## 録音する

音楽 CD を再生しながら、内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音できます。



- エンジン切るまたは、スタートさせたいときは、録音を中止してください。
- 録音先を SD カードに設定している場合、SD カードが本機に挿入されていないと録音できません。

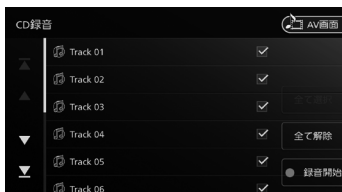
### 1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する

### 2 [録音] にタッチする



### 3 録音する曲を選択する

- : 録音していない曲
- : 録音済みの曲



表示されているリストでは、すべての曲が選択されています。録音しない曲にタッチすると、選択が解除されます。

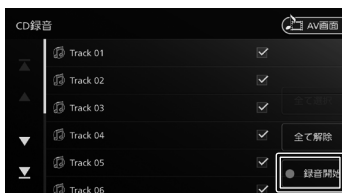
#### 【全て選択】:

すべての曲を選択します。

#### 【全て解除】:

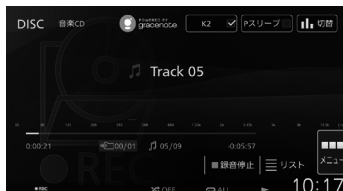
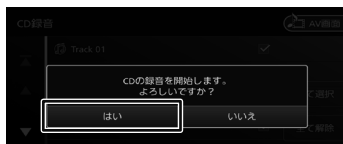
すべての曲の選択を解除します。

### 4 [録音開始] にタッチする



確認のメッセージが表示されます。

### 5 [はい] にタッチする



録音が始まります。

録音中の画面では、録音の状況を確認できます。また、録音済 / 録音予定の曲数が表示されます。

00/03 : SD カードに録音中です。

00/03 : 内蔵メモリに録音中です。

#### 【録音停止】:

録音を停止して、ディスクの 1 曲目から再生します。

すべての録音が終了すると、[録音モード終了]が表示されます。[録音モード終了]にタッチして [はい] にタッチすると、ディスクの 1 曲目から再生されます。



- 手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが書き込まれます。
- 録音中に [リスト] にタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
  - : 録音済みの曲
  - : 録音中の曲 (赤)
  - : 録音予定の曲 (エンジン)
  - : 録音予定がない曲 (黒)
  - : エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はシークバーを操作できません。

#### 関連キーワード

##### ● SD カード初期化

SD カードに録音できない場合は、SD カード初期化を行ってください。(→ P.143)

## 録音したデータを再生する

ソース切替画面で内蔵メモリまたはSDカードを選択します。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える (→ P.80)

### SD

SDカードの録音データを再生する場合は、再生モードを録音データにしてください。(→ P.88)



### 内蔵メモリ



- ① アーティスト名
- ② アルバム名
- ③ 曲名
- ④ ジャンルの画像またはアルバムアート画像
- ⑤ 再生時間
- ⑥ シークバー
- ⑦ ランダム再生モード
- ⑧ ファイル番号
- ⑨ リピート再生モード
- ⑩ 再生残り時間
- ⑪ 再生状態

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次のファイルを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては88ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU画面を表示します。

### サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



### SD









### 内蔵メモリ



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

## ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル編集]	録音データのタイトルを編集します。
[録音データ削除]	録音データの削除をします。
[カテゴリーDB更新] (SDのみ)	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(→ P.89)
[録音データ移動] (内蔵メモリーのみ)	内蔵メモリーに録音したデータをSDカードに移動します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  OFF: ランダム再生モードを解除します。</li> <li>•  曲: 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。</li> </ul>
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  ALL: 再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。</li> <li>•  1: 再生中のファイルをくり返し再生します。</li> </ul>
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- ジャンルの画像、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。

## 録音データのタイトルを編集する

本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータのタイトル(曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、アルバムアートワーク)を編集することができます。

ここまでの手順 ▶

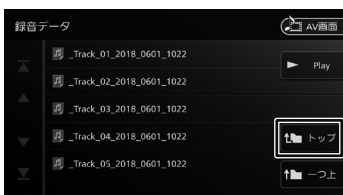
ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える(→ P.80)

SDカードの録音データを編集する場合は、SDカードの再生モードを録音データの再生に切り替えておいてください。(→ P.88)

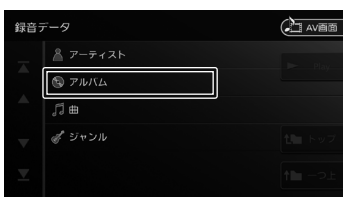
## 1 [リスト]にタッチする



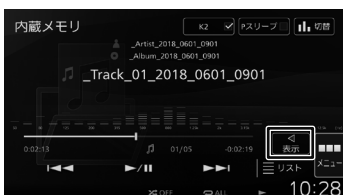
## 2 [トップ]にタッチする



## 3 アルバムにタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



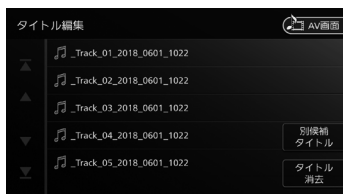
## 4 [表示]にタッチする



## 5 [タイトル編集]にタッチする



## 6 編集したい曲にタッチする



## 7 編集したい項目にタッチする



## 曲名:

文字入力の画面が表示されます。

## アルバム名:

文字入力の画面が表示されます。  
変更したアルバム名は同一アルバム内の全ての曲に反映されます。

## アーティスト名:

文字入力の画面が表示されます。  
編集すると確認メッセージが表示されます。  
[はい]:  
編集したアーティスト名をアルバム内全ての曲に反映します。

[いいえ]:  
編集している曲のみに反映されます。

## ジャンル:

リストから選択します。  
選択すると確認メッセージが表示されます。  
[はい]:  
選択したジャンルをアルバム内全ての曲に反映します。  
[いいえ]:  
編集している曲のみに反映されます。

## アルバムアートワーク:

録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。

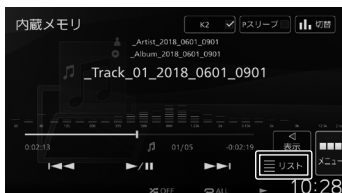


- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名とも 128 文字です。
- 文字入力については 42 ページをご覧ください。

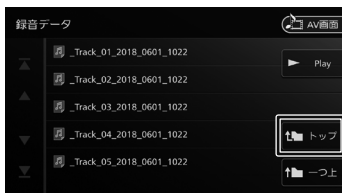
## タイトルを消去する

編集したアルバム内全てのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を消去することができます。

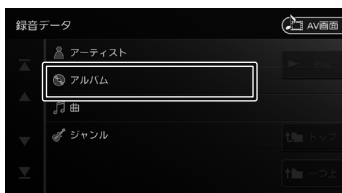
### 1 [リスト] にタッチする



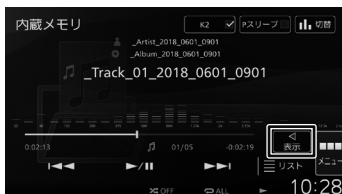
### 2 [トップ] にタッチする



### 3 アルバムにタッチしてタイトルを消去したい曲が含まれるアルバムを再生する



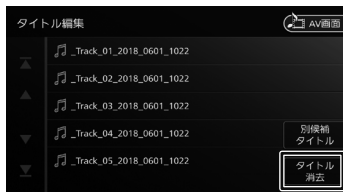
### 4 [表示] にタッチする



### 5 [タイトル編集] にタッチする



### 6 [タイトル消去] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

[はい] :

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルを消去します。

[いいえ] :

消去しません。

## アルバムアートワークとして画像を表示させる

録音データを再生するときにアルバム単位で、SDカードまたはUSB機器に保存したお好みの画像ファイル（JPEGまたはPNGデータサイズ650KB以下）をアートワークとして表示させることができます。

- 1 「録音データのタイトルを編集する」（→ P.94）の手順7の画面を表示して【アルバムアートワーク】にタッチする



- 2 【デバイス切替】にタッチして画像を保存しているデバイスを選択する



- 3 アートワークにしたい画像を選ぶ



録音データの再生画面でアルバムアートワークが表示されるようになります。

## アートワークを削除する

- 1 「録音データのタイトルを編集する」（→ P.94）の手順7の画面を表示して【画像削除】にタッチする



アートワークが削除されます。

## 録音データを削除する

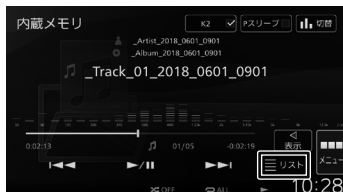
本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータを削除します。

SDカードの録音データを削除する場合は、事前にSDカードの再生モードを録音データに切り替えておいてください。（→ P.88）

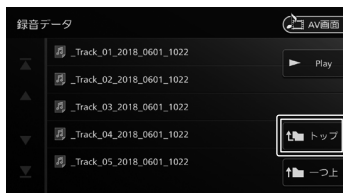
### ここまでの手順

ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える（→ P.80）

- 1 【リスト】にタッチする

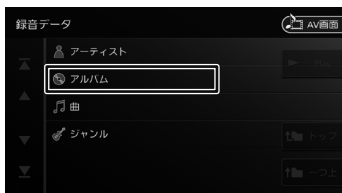


- 2 【トップ】にタッチする

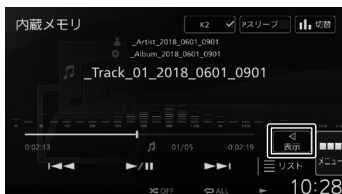




### 3 アルバムにタッチして削除したい曲が含まれるアルバムを再生する



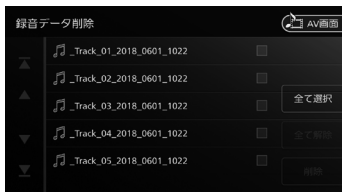
### 4 [表示] にタッチする



### 5 [録音データ削除] にタッチする



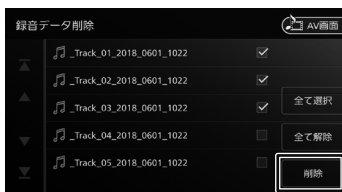
### 6 削除するデータを選んでタッチする



[全て選択] :  
すべての曲を選択します。

[全て解除] :  
すべての曲の選択を解除します。

### 7 [削除] にタッチして、[はい] にタッチする



## 録音データをSDカードに移動する

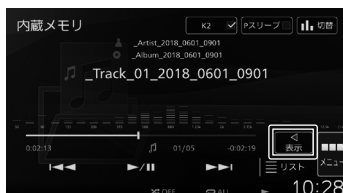
内蔵メモリに録音したデータをSDカードに移動します。  
再生中の曲を含んだ一つのアルバムデータを移動します。移動したデータは、内蔵メモリから自動的に消去されます。  
SDカード内に移動されたデータは、SDカードから再生できます。

### ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリに切り替える (→ P.80)

### 1 SDカードに移動したい曲を再生する

### 2 [表示] にタッチする



### 3 [録音データ移動] にタッチする



メッセージが表示されます。

### 4 [はい] にタッチする

録音データの移動が始まります。

[中止] :  
SDカードへの移動を中止します。



- SDカードに移動したデータは内蔵メモリに戻すことはできません。

## 楽曲情報を取得する

音楽 CD を再生したとき、または録音したファイルに、iPhone または Android 対応のスマートフォンアプリケーション「KENWOOD Music Info.」を使ってインターネット上にある楽曲情報データベースにアクセスし、楽曲情報を取得して表示することができます。

**1 App Store または Google Play から「KENWOOD Music Info.」をスマートフォンにダウンロードする**

**2 本機にスマートフォンを接続する**

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

### ■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。別売の KCA-iP103 を USB ケーブルに接続してください。

また、Bluetooth で接続することもできます。

Bluetooth 接続には設定が必要です。

(→ P.150)

### ■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。

(→ P.150)



- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。

音楽 CD の楽曲情報の場合は、スマートフォンが正しく接続できた時点でインターネット上にある楽曲情報データベースにアクセスし、挿入されている音楽 CD の情報が自動で表示されます。

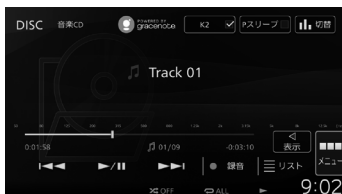
録音したファイルの場合は、手順 3 に進んでください。

音楽 CD の場合は、楽曲情報を取得し直す場合や、自動で情報が表示されないときに手順 3 に進んで情報を取得してください。

**3 ソースを切り替えて、AV 画面を表示する**

音楽 CD の楽曲情報を取得するとき：

ソースを「DISC」に切り替え、AV 画面を表示して再生します。



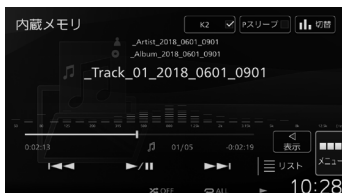
録音した曲の楽曲情報を取得するとき：

ソースを「SD」または「内蔵メモリ」に切り替え、AV 画面を表示して情報を取得したい曲を再生します。

**SD**

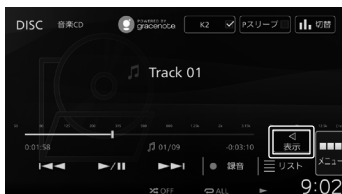


**内蔵メモリ**



**4 [表示] にタッチしてサブ機能ボタンを表示する**

**DISC**



SD



内蔵メモリ



5 DISC の場合は [タイトル検索]、SD (録音データ) または内蔵メモリの場合は、[タイトル編集] にタッチする

DISC



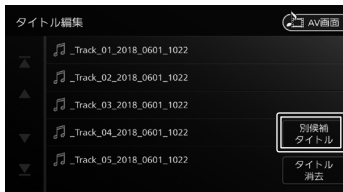
SD



内蔵メモリ



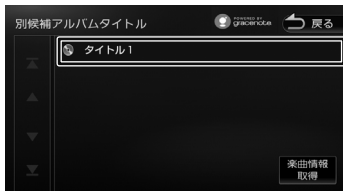
6 [別候補タイトル] にタッチする



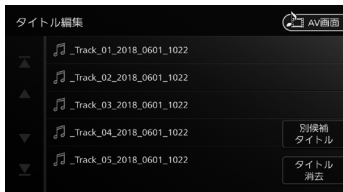
7 [楽曲情報取得] にタッチする



8 取得したい楽曲情報にタッチする



アルバム内の取得した楽曲情報が入ったリストが表示されます。



## タイトルを消去する

取得した楽曲情報を消去することができます。

1 上記手順 8 のリスト表示画面で [タイトル消去] にタッチする



確認メッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルを消去します。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

# マルチ AV ブラウザを使う

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオを横断して表示し、カテゴリから選択して再生することができます。

USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリデータベースを作成する必要があります。(→ P.89)



- カテゴリリストを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。

## ここまでの手順

ソースをマルチ AV ブラウザに切り替える (→ P.80)



- ① アーティスト名
- ② 再生時間
- ③ 音声形式または映像形式
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ 曲番号 / 全曲数
- ⑦ リピート再生モード
- ⑧ 再生残り時間
- ⑨ 再生状態

## ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブスリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前 / 次の曲を再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

## サブ機能




[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

## ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
⌘	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⌘ OFF : ランダム再生モードを解除します。</li> <li>⌘ 曲 : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。</li> </ul>

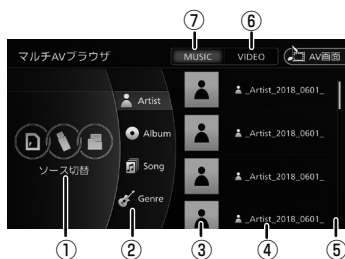
ボタン	説明
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。</li> <li>●  1: 再生中のファイルをくり返し再生します。</li> </ul>
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。

## リストから曲またはビデオを再生する

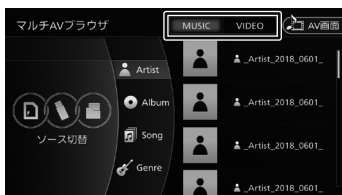
### 1 [トップ] または [リスト] にタッチする



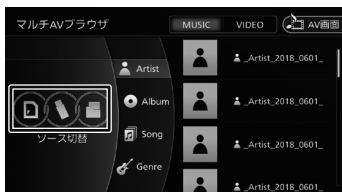
- 1 ソース切替:**  
SD、USB、内蔵メモリそれぞれタッチするたびに表示するかしないかを選択できます。
- 2 カテゴリー:**  
アーティスト/アルバム/楽曲/ジャンルから選択できます。
- 3 アルバムアート画像:**  
情報にアルバムアートがある場合に表示されます。

- 4 曲またはビデオファイル**
- 5 スクロールバー (表示のみ)**
- 6 ビデオリストに切り替える**
- 7 曲リストに切り替える**

### 2 [MUSIC] または [VIDEO] にタッチする



### 3 表示するソースを選択する



### 4 再生したいカテゴリー(①)を選んで、ファイル(②)を選ぶ



# CD・オーディオファンディスクを再生する

## ディスクを入れる / 出す

1

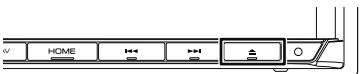
### ■ MDV-M906HDL/MDV-M906HD

【▲】（オープンキー）を押す

MDV-M906HDL



MDV-M906HD

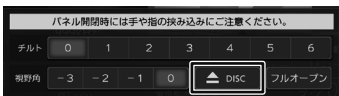


### ■ MDV-M906HDW

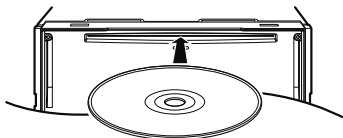
【HOME】を押して【メニュー】にタッチして【▲パネル】にタッチする



2 【DISC】にタッチする



3 ディスクを挿入口に入れる



フロントパネルが自動的に閉じます。  
ソースが「DISC」に切り替わります。



- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。

## ディスクを取り出す

1

### ■ MDV-M906HDL/MDV-M906HD

【▲】（オープンキー）を押す

MDV-M906HDL



MDV-M906HD



### ■ MDV-M906HDW

【HOME】を押して【メニュー】にタッチして【▲パネル】にタッチする



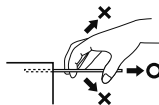
2 【DISC】にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す



- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



## ディスクを取り出せないときは

### ■ MDV-M906HDL/MDV-M906HD

#### 1 【▲】（オープンキー）を押し続ける

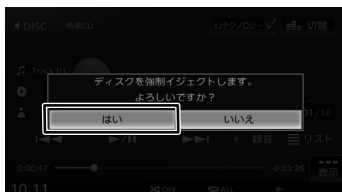
MDV-M906HDL



MDV-M906HD



#### 2 〔はい〕にタッチする



フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

#### 3 ディスクを取り出す

### ■ MDV-M906HDW

#### 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして 【▲ パネル】 にタッチする



#### 2 [DISC] にタッチし続ける

#### 3 〔はい〕にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

#### 4 ディスクを取り出す

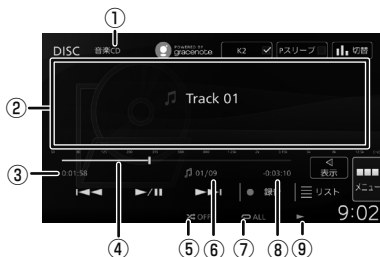
## 画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

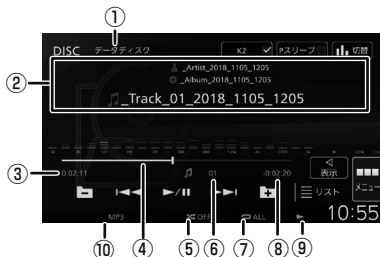
### ここまでの手順 ▶

ソースを DISC に切り替える (→ P.80)

### 音楽 CD



### オーディオファイルディスク



#### ① ディスクの種類

#### ② 音楽 CD :

♪トラック番号

オーディオファイルディスク :

👤アーティスト名

📁アルバム名 (フォルダ名)

🎵曲名 (ファイル名)

🖼️アルバムアート画像

#### ③ 演奏時間

#### ④ シークバー

#### ⑤ ランダム再生モード

#### ⑥ トラック番号 / 総曲数 (ファイル番号)

#### ⑦ リピート再生モード

#### ⑧ 演奏残り時間

#### ⑨ 再生状態表示

#### ⑩ ファイル形式 (オーディオファイルディスクのみ)

## ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ / ▶▶	前または次の曲を再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
[録音] (音楽 CD のみ)	現在の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音します。(→ P.90) [録音停止] にタッチすると、録音を停止します。
◀ / ▶ (オーディオファイルディスクのみ)	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 ・ [トップ] (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・ [一つ上] (オーディオファイルディスクのみ) : 一つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

## サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

## ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル検索] (音楽 CD のみ)	[KENWOOD Music Info.] で使います。(→ P.98)
[録音設定] (音楽 CD のみ)	本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音する時の設定をします。(→ P.90)
⌘	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・ ⌘ OFF : ランダム再生モードを解除します。 ・ ⌘ ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。 ・ ⌘ フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
🔄	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・ 🔄 ALL : すべての曲をくり返し再生します。 ・ 🔄 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 ・ 🔄 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- ・ リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- ・ アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- ・ 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、曲名は表示されますが、スクロールはできません。

## 関連キーワード



## ● 録音する

本機では、音楽 CD を再生しながら、本機の内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音することができます。(→ P.90)



# DVD を再生する

## 画面の見かたと操作 (DVD ビデオ / DVD-VR)

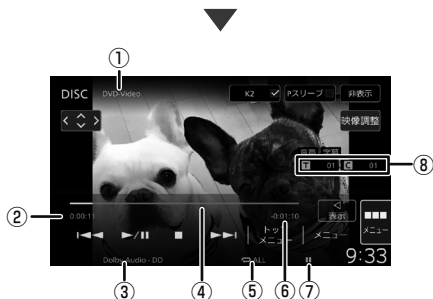
DVD を再生します。  
ディスクの出し入れについては、102 ページをご  
覧ください。

ここまでの手順 ▶

ソースを DISC に切り替える (→ P.80)

## DVD ビデオを再生する

DVD の再生画面は、画面にタッチするとサブ機能  
ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]  
にタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画  
面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。  
画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生残り時間
- ⑦ 再生状態表示
- ⑧ タイトル番号 / チャプター番号

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジ機能がオンになります。(→ P.81)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.81)
[非表示]	操作ボタンを消します。

ボタン	説明
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.81)
< >	カーソルを表示します。(→ P.107)
▶/	再生または一時停止(ポーズ)します。
■	再生を停止します。
◀◀ / ▶▶	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

### サブ機能





画面にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは [表示] にタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。  
画面の [閉じる] でも消すことができます。

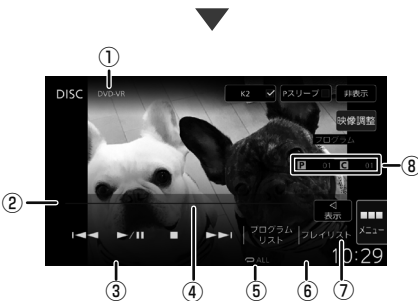
### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。(→ P.107) このボタンにタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。

ボタン	説明
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。</li> <li>●  チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。</li> <li>●  タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。</li> </ul>
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

## DVD-VR を再生する

DVD-VR の再生画面は、画面にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの [閉じる] にタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。






操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生状態表示
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになり(→ P.81)
[非表示]	操作ボタンを消します。

ボタン	説明
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.81)
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	再生を停止します。
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。
	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。






### サブ機能

画面にタッチするとサブ機能ボタンが表示されず。操作ボタンが表示されているときは [表示] にタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定をします。
[音声切替]	音声の種類を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。</li> <li>●  チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。</li> <li>●  プログラム : 再生中のプログラムをくり返し再生します。</li> <li>●  プレイリスト : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。</li> </ul>
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

## DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

### カーソルで操作する

- 1 ディスクメニュー表示中に画面にタッチする
- 2 [表示] にタッチする



- 3 <> にタッチする



- 4 各ボタンにタッチして操作する



**[非表示] :**

操作ボタンを消します。

**</>/<v>/<u> :**

タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

**[リターン] :**

ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。

**[決定] :**

選択中の項目を実行します。



- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVDによって異なります。

## ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。



## DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

- 1 サブ機能ボタンの [DVD 設定] にタッチする



- 2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー/トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。



- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

# 地デジを視聴する

## 画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを地デジに切り替える (→ P.80)

地デジ画面は、画面にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの「閉じる」にタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

- ① チャンネル番号
- ② プリセットモード
- ③ サービスのロゴ
- ④ プリセット番号
- ⑤ 放送時間、番組名
- ⑥ 受信モード
- ⑦ 音声の種類  
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ⑧ 字幕の種類  
字幕を選択しているときに表示されます。
- ⑨ 映像の種類  
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。
- ⑩ 電波の強さ
- ⑪ サービス名
- 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
【クリアボイス】	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
【K2】	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)

ボタン	説明
【Pスリープ】	チェックを付けるとパッシブジャーナリスリープ機能がオンになります。(→ P.81)
【非表示】	操作ボタンを消します。
【映像調整】	映像の画質を調整します。(→ P.81)
【1】～【12】 (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
◀▶ / ▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
【プリセット一覧】	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
【番組表】	番組表を表示します。(→ P.110)
【プリセット切替】	プリセットモード(エリア/ホーム/お出かけ)が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」をはじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。(→ P.110)
【表示】	サブ機能ボタンを表示します。
【メニュー】	MENU画面を表示します。

## サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 自動： 自動受信モード（1Segまたは12Seg）に切り替えます。 固定 12Seg： 12セグ固定モードに切り替えます。 固定 1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[地デジ設定]	地デジ設定画面を表示します。 (→ P.112)
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- 12セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は 5.1ch サラウンドには対応していません。音声は 2ch で出力されます。

## プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。

### ■ エリア

エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

### ■ ホーム / お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺では ホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

## 1 [プリセット切替] にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります

## 放送局を登録（プリセット）する

はじめてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけかけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

### 1 【プリセット切替】にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



### 2 【プリセット一覧】にタッチする



### 3 【初期スキャン】にタッチする



### 4 現在地の都道府県にタッチして【はい】にタッチする



受信できる放送局を検索し、登録されます。



- [再スキャン] は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

## 番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

### 1 【番組表】にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



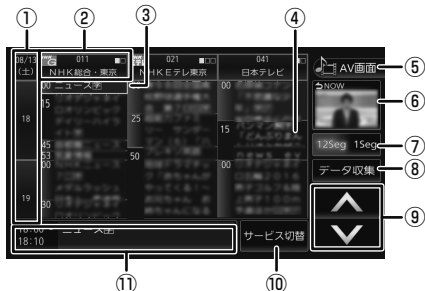
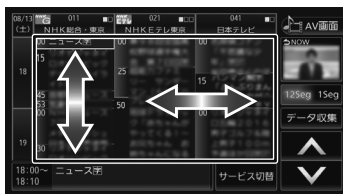
番組表が表示されます。



- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは【データ収集】にタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

## 番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。

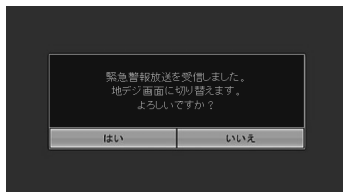


- 日時：**  
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- 放送局：**  
タッチするとその放送局を受信します。
- フォーカス**
- 現在視聴中の番組**  
背景が青色で表示されます。
- [AV 画面]：**  
番組表を消して、AV 画面に戻ります。
- 視聴中番組：**  
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。
- [12Seg/1Seg]：**  
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。
- [データ収集]：**  
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。
- ▲ / ▼：**  
フォーカスを移動します。
- [サービス切替]：**  
マルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。
- 番組詳細：**  
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

## 緊急放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



**[はい]：**  
緊急警報放送に切り替わります。



- 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

## 中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます (中継局サーチ)。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「[地デジ設定]」の「[中継局 / 系列局サーチ]」で設定できます。「[中継局 / 系列局サーチ]」を「自動切替 (中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。



- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

## 地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

### 1 [表示] にタッチする



### 2 [地デジ設定] にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨*/ 12セグを優先/ 切替頻度を低減	受信モードを [自動] に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局/系列 局サーチ	自動切替しない/ 自動切替 (中継局) /自動切替 (中継局+系列局)*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない/ 第一言語*/ 第二言語/	表示する文字スーパーを設定します。
デバイスID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	
番組表文字サイズ	小/大*	番組表の文字のサイズを選ぶことができます。

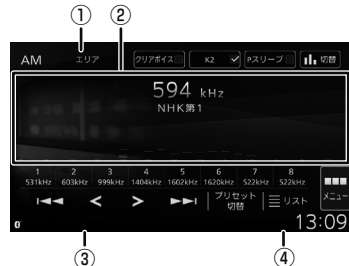
\*: お買い上げ時の設定です。

## AMまたはFMを聴く

### 画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを AM または FM に切り替える (→ P.80)



- ① プリセットモード
- ② プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名
- ③ ステレオ受信表示
- ④ 電波の強さ

#### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
◀ / ▶	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します (マニュアル選局)。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
◀◀ / ▶▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。



ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア/お気に入り1/お気に入り2)を切り替えます。(→ P.113)
[リスト]	プリセットモードがエリアの時に、登録データから取得した放送局をリストで表示します。(→ P.113)
[メニュー]	MENU画面を表示します。

## プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

### ■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局(コミュニティFM局を除く)が周波数の低い順に最大8局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト]にタッチすると表示できます。(→ P.113)

### ■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り1またはお気に入り2にそれぞれ8局まで登録できます。(→ P.113)

## 1 [プリセット切替] にタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り1→お気に入り2→エリアの順で切り替わります。

## エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

## 1 [プリセット切替] にタッチして、エリアモードに切り替える

## 2 [リスト] にタッチする



## 3 受信する放送局にタッチする

1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

4 : コミュニティFM局



- ・「コミュニティ」FM局とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

## 放送局を登録(プリセット)する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録(プリセット)します。

## 1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。(→ P.112)

## 2 [プリセット切替] にタッチして、「お気に入り1」または「お気に入り2」に切り替える



## 3 登録先のプリセットボタンを2秒以上タッチし続ける



受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード(1または2)で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

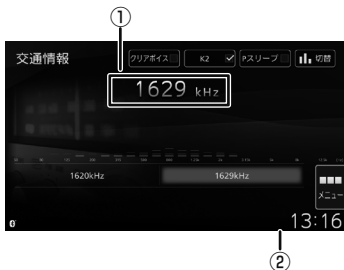
## 交通情報を受信する

交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

### 画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを交通情報に切り替える（→ P.80）



- ① 周波数
- ② 電波の強さ

#### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（→ P.81）
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。（→ P.81）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1620kHz] / [1629kHz]	1620kHzまたは1629kHzに手動で切り替えます。
[メニュー]	MENU画面を表示します。



.....  
 ・ 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。  
 .....

## 外部機器 (AV-IN) を接続する

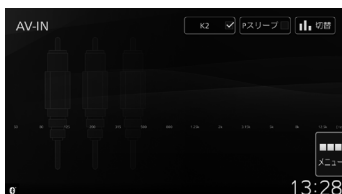
### 画面の見かたと操作

本機に接続した外部機器の音楽や映像を視聴します。接続する外部機器の種類の設定が必要です（→ P.147）。フロントビューカメラを接続しているときは、AV-INを使用できません。

ここまでの手順 ▶

ソースをAV-INに切り替える（→ P.80）

#### オーディオ



#### ビデオ

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

#### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（→ P.81）
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。（→ P.81）
[切替]（オーディオのみ）	画面のデザインが切り替わります。
[非表示]（ビデオのみ）	操作ボタンを消します。
[映像調整]（ビデオのみ）	映像の画質を調整します。（→ P.81）
[メニュー]	MENU画面を表示します。

# 「SMART USEN」 を使う

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス（アプリケーション）です。

「SMART USEN」を利用するには iOS または Android 用スマートフォンアプリケーションが必要です。

「SMART USEN」の詳細はホームページをご覧ください。<http://smart.usen.com/>

## 準備する

- 1 App Store または Google Play から「SMART USEN」をスマートフォンにインストールする

## 本機とスマートフォンを接続する

- 1 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

### ■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。  
接続ケーブルは別売の KCA-iP103 を使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。  
(→ P.150)

### ■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。  
(→ P.150)

## 2 「SMART USEN」を起動する



- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」の全てのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。
- 「SMART USEN」を USB ケーブルで接続した iPhone で使用していると、Bluetooth 接続したスマートフォンでは「SMART USEN」を使用できません。

## 画面の見かたと操作

### ここまでの手順 ▶

ソースを SMART USEN に切り替える (→ P.80)



- 曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。



- ① **アーティスト名**  
**曲名**  
**CH チャンネル名**  
**アルバムアート画像**

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。 (→ P.81)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。 (→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	□ にタッチすると消音します。
	▶ にタッチすると元の音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリからチャンネルを選択します。

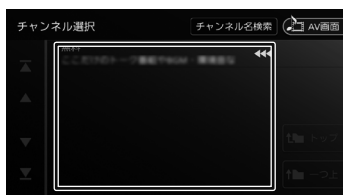
ボタン	説明
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今まで聴いたことのあるチャンネルをリスト（お気に入りリスト/履歴リスト）で切り替えて表示します。チャンネルにタッチするとチャンネルが切り替わります。
【お気に入り登録】	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
【お気に入り一覧】	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
[リスト]	再生中の曲、一つ前の曲、再生予定の5曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

## チャンネルを選ぶ

### 1 [CHANNEL リスト] にタッチする



### 2 聴きたいジャンルまたはカテゴリー名にタッチする



### 3 聴きたいチャンネルにタッチする



**[トップ] :**  
一番上の階層のリストに移動します。

**[一つ上] :**  
一つ上の階層のリストに移動します。

**[絞り込み] :**  
絞り込み条件にタッチすると、表示するチャンネルを絞り込みます。

## チャンネル名を検索する

### 1 [CHANNEL リスト] にタッチする



### 2 [チャンネル名検索] にタッチする



### 3 検索したいチャンネル名を入力する



- 入力可能最大文字数は、30 文字です。
- 文字入力については 42 ページをご覧ください。

## 再生中のチャンネルをお気に入りに登録する

再生中のチャンネルをお気に入り登録することができます。

### 1 【お気に入り登録】 にタッチする



「お気に入りチャンネルに追加しました」と表示されチャンネルを登録します。登録したチャンネルは「FAVORITE リスト」および「お気に入り一覧」から簡単に選択できるようになります。

## お気に入りのチャンネルを選ぶ

### 1 【お気に入り一覧】 または 【FAVORITE リスト】 にタッチする



### 2 聴きたいチャンネルにタッチする

#### ■ 【お気に入り一覧】 をタッチしたとき



【前ページ】 / 【次ページ】：

お気に入り一覧のページを切り替えます。

【一覧を閉じる】：

お気に入り一覧を閉じます。

#### ■ 【FAVORITE リスト】 をタッチしたとき



【履歴リスト】：

今まで聴いたチャンネルから最大 30 チャンネルのリストを表示します。  
【お気に入りリスト】にタッチするとお気に入りリストに戻ります。



- 「お気に入り一覧」、「お気に入りリスト」、「履歴リスト」のチャンネルを本機で削除することはできません。「SMART USEN」アプリケーションで削除してください。

## 情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 **[情報・設定]** にタッチする
- 3 **項目にタッチする**



### ■ 情報

#### [VICS] :

FM VICS、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(右記)

#### [接続] :

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.16)

#### [バージョン] :

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(→ P.149)

#### [ETC] :

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(→ P.165)

#### [ECO] :

車のエコドライブ情報を表示します。(→ P.124)

### ■ 設定

#### [ナビ] :

ナビゲーションに関する設定を行います。(→ P.125)

#### [サウンド] :

サウンドに関する設定を行います。(→ P.131)

#### [システム] :

システムに関する設定を行います。(→ P.142)

#### [外部機器] :

外部機器を接続するときの設定を行います。(→ P.147)

#### [登録地点編集] :

登録地点を編集します。(→ P.78)

## VICS 情報を見る

### VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

### VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル (種類) があります。

- **レベル 1 (文字型情報)**  
情報が文字で表示されます。
- **レベル 2 (簡易図形型情報)**  
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3 (地図表示型情報)**  
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

### VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送 (NHK-FM)、光ビーコンと ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。



- ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の ETC2.0 車載器が必要です。(→ P.165)
- 光ビーコン情報を取得するには、本機に接続する ETC2.0 車載器が高度化光ビーコンまたは光ビーコンに対応している必要があります。(→ P.165)

### VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

#### ■ FM 多重放送

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所 (雑音、建造物や地形などの影響で電波の屈折や反射が生じることで起こる電波障害などによる) では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります (情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります)。
- FM 放送時間外は利用できません。

## ■ 光ビーコン

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合には受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

## 地図に表示される VICS 情報

### 地図表示型 (レベル 3) 情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



#### 駐車場情報

- 赤色：満車
- 橙色：混雑
- 青色：空車
- 黒色：不明

#### 渋滞情報

- 赤色：渋滞
- 橙色：混雑
- 水色：順調

#### 統計情報による渋滞線 (点線)

- 薄赤色：渋滞
- 薄橙色：混雑
- 薄青色：順調

### 気象・災害情報エリアの表示



#### 気象・災害情報エリア

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害	チェーン 規制
故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限
火災	凍結	車線規制	車線規制： 右側	進入禁止
片側交互 通行	駐車場 閉鎖	駐車場 混雑	駐車場 空き	駐車場 満車
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き	SA・PA 満車
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色	背景赤色
SA・PA 不明	その他の 規制	工事	徐行	速度規制
SA PA	!	↙	🛒	10
背景黒色	作業	気象情報	災害情報	災害情報
対面通行	!	🌩️	🚨	🚨



- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型 (レベル 3) 情報を表示できる地図の縮尺は 10m ~ 1km です (一般道では 10m ~ 500m です。また、駐車場情報は 10m ~ 200m で表示します)。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。

## 緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。



- 緊急情報表示は「戻る」にタッチする、または約 15 秒経過すると消えます。

### ■「VICs WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



【詳細】:

タッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

【閉じる】:

タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。



【詳細】:

上記の VICs 詳細情報を表示します。

【上位置】/【下位置】:

表示を画面上部または下部に移動させます。

【切替】:

複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

【閉じる】:

割り込み表示を消します。

## 地図上の VICs 情報を見る

地図画面に表示された VICs の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

### 1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。



【切替】:

複数の VICs 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

## 2 【詳細】にタッチする



VICs の詳しい情報が表示されます。



## 簡易図形型（レベル 2） / 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示

光ビーコンから受信した簡易図形型（レベル 2） / 文字型（レベル 1）情報は、地図画面に割り込み表示されます。



▼ / ▲ :

表示ページを切り替えます。

【図形】 / 【文字】:

文字型（レベル 1）情報と簡易図形型（レベル 2）情報の表示を切り替えます。



- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（設定画面や AV 画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- FM 多重放送で受信した文字情報および簡易図形情報は、現在地図画面の「渋滞」にタッチするか、または情報・設定画面（→ P.118）からご覧ください。
- 文字情報、簡易図形情報が割り込み表示をしないように設定することができます。（→ P.123）
- 割り込み時間は設定することができます。（→ P.123）
- ここでは案内、交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。



## ETC2.0 割り込み表示

本機に対応の ETC2.0 車載器 (→ P.165) を接続している場合、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。(優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。) 音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。  
対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- ・ 優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- ・ 一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報



▼ : 表示ページを切り替えます。

【再生】 / 【停止】 :

音声情報を再生または停止します。

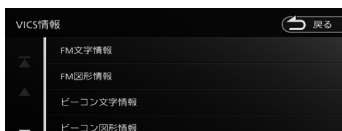


- ・ ETC2.0 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。(→ P.123)
- ・ 割り込み時間は設定することができます。(→ P.123)
- ・ 音声情報を再生中は、設定した割込表示時間を過ぎても表示し続けます。
- ・ ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

## VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報 (文字型情報 / 簡易図形型情報) を表示します。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【VICS】にタッチする
- 3 表示したい情報にタッチする



【FM 図形情報】 / 【FM 文字情報】 :

FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

【ビーコン図形情報】 / 【ビーコン文字情報】 :

ビーコン VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

【ETC2.0 割り込み情報】 :

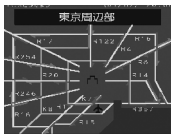
ETC2.0 車載器で受信した割り込み情報を表示します。(→ P.122)

## FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示



番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

### ■ 図形情報



▼ / ▲ : 一つ前 / 次の情報に切り替えます。

### ■ 文字情報



▼ / ▲ : 一つ前 / 次の情報に切り替えます。

## ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示

### ■ 図形情報



▼ / ▲ : 表示ページを切り替えます。

【文字】 :

ビーコン VICS 文字情報に切り替えます。

### ■ 文字情報



▼ / ▲ : 一つ前 / 次の情報に切り替えます。

【図形】 :

ビーコン VICS 図形情報に切り替えます。

## ETC2.0 割り込み情報



▼ / ▲ : 一つ前 / 次の情報に切り替えます。

【再生】 / 【停止】 :

音声情報を再生または停止します。(音声がある場合のみ)

## VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法(自動選局 / 手動選局)を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

### ■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局 :  
現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局 :  
FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。  
県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

## 自動選局に設定する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【VICS】にタッチする
- 3 【VICS FM 選局モード】にタッチする



- 4 【自動】にタッチする



【自動】にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

## 手動で選局する

- 1 【VICS FM 選局モード】にタッチする



- 2 【自動】にタッチしてチェックを外す



- 3 ◀ または ▶ にタッチして、受信周波数を設定する



受信する周波数が設定されます。

## VICS 情報の表示設定をする

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【ナビ】にタッチする
- 3 「交通情報」の設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	—	VICS 情報の表示内容について設定します。 (→ P.123)

項目	設定	説明
図形情報の 割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した簡易図形型（レベル 2）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
文字情報の 割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した文字型（レベル 1）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0 優先情報の 割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した優先情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0 一般情報の 割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
割り込み表示 の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能のオン / オフを設定します。
プローブ情報 送信	この設定は、カーナビ連携スマートフォンアプリケーション「KENWOOD Drive Info.」が必要 です。(→ P.163)	
渋滞情報の 取得間隔		

\*：お買い上げ時の設定です。



- 別売の本機対応の ETC2.0 車載器については 167 ページの「ETC2.0 車載器の接続設定をする」をご覧ください。

## 地図上の VICS 表示方法を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

## 3 「交通情報」の [VICS 情報表示] にタッチする



## 4 表示する項目にタッチする



表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目にタッチすると、選択が解除されます。



- ・ [表示オフ] にタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

### ● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道路	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道路	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道路	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道路	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：高速道路	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：一般道路	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：高速道路	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：一般道路	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

# ECO 情報を確認する

## ECO 情報を見る

HOME 画面の INFO エリア (→ P.32) または現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。

HOME 画面

ECO ドライブ評点



現在地図画面

ECO ドライブ評点



ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

## 詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ECO] にタッチする



現在表示されている情報の 1 日前 / 1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ] :

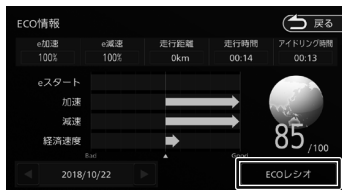
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート** :  
停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速** :  
加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速** :  
減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度** :  
一定スピード (経済速度) での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

## ECO レシオについて

ECO 情報画面で [ECO レシオ] にタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。



グラフ表示を 1 日分スクロールします

[ECO 判定モード] :

ECO 度の判定のモード (ソフト / ノーマル / ハード) を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。(お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています)

[ECO データ消去] :

過去の ECO データを消去します。確認のメッセージで [はい] にタッチすると、ECO データが削除されます。



- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

# ナビゲーションの 設定をする



本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチする
- 3 [ナビ] にタッチする
- 4 設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

## ● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色： 1*/2/3 文字サイズ： 小 / 中* / 大 地図色昼夜切替： 自動* / 昼色に固定 / 夜色に固定	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(→ P.128)
ランドマーク表示	—	地図に表示するランドマークを設定します。(→ P.129)
登録地点表示	—	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリにタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。[表示オフ]にタッチするとすべて表示させません。
自転車マーク	 * / 	自転車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(→ P.129)
走行軌跡を消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。(→ P.129)

項目	設定	説明
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	地図の向きを設定します。
地図の向き (小画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
ワンタッチルーペ	ON*/OFF	自転車マークにタッチしたときに、自転車マークの周りの地図を拡大して表示するかどうかを設定します。(→ P.45)
市街地図の表示縮尺	50m以下 / 100m以下*	市街地図の表示縮尺を設定します。
盗難多発地点表示	ON*/OFF	盗難多発地点を表示するかどうかを設定します。 縮尺が200m以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分して表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示するかどうかを設定します。 ・縮尺が200m以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 ・冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
マップコード表示	ON/OFF*	スクロール画面にマップコードを表示するかどうかを設定します。
緯度・経度表示	ON/OFF*	スクロール画面に緯度・経度を表示するかどうかを設定します。

## ● 案内

項目	設定	説明
案内中の音量調整	ON/OFF*	[ON] に設定すると音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができるようになります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・  
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オフション

付録

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 ~ 25* ~ 40	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時またはVICS情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
VICS車線規制のHOME画面表示	ON*/OFF	HOME画面でVICS車線規制の注意喚起表示をするかどうかを設定します。(→ P.34)
合流/踏切/車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
合流案内のHOME画面表示	HOME画面で合流案内の注意喚起をするかどうかを設定します。(→ P.34) 常に OFF: 表示しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、表示します。 常に ON*: 表示します。	
踏切案内のHOME画面表示	HOME画面で踏切案内の注意喚起表示をするかどうかを設定します。(→ P.34) 常に OFF: 表示しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、表示します。 常に ON*: 表示します。	
一時停止の音声案内	一時停止の情報のある交差点の手前で音声案内をするかどうかを設定します。 常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
一時停止の表示	一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンを表示するかどうかを設定します。 常に OFF: 表示しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、表示します。 常に ON*: 表示します。	
ETC音声の出力※1	ON*/OFF	対応ETC車載器を接続しているときに、ETC音声を出力するかどうかを設定します。

項目	設定	説明
ETC料金の表示※1	ON*/OFF	対応ETC車載器を接続しているときに、ETC通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(→ P.44)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。(→ P.44)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(→ P.68)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(→ P.68)
ここで案内表示	ここで案内の表示(→ P.68)を設定します。 ON: 表示します。 一般道のみ ON*: 一般道のみ表示します。 OFF: 表示しません。	
ここで案内の自動消去	ON*/OFF	[ON]に設定すると案内ポイントの50m手前(高速道路では300m手前)で、ここで案内を消去します。交差点案内図の表示が[ON]に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。
ETCレーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときにETCレーン案内を表示するかどうかを設定します。(→ P.69)
信号情報案内(TSPS)の表示※3	ON*/OFF	信号情報案内(TSPS)をするかどうかを設定します。(→ P.168)
盗難多発地点音声案内	ON*/OFF	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。(→ P.71)
AV画面時の案内割り込み	ON*/OFF	AV画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。

項目	設定	説明
バーチャルルームミラー時の地図割り込み※2	ON*/OFF	バーチャルルームミラー表示中(→ P.187)に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかが設定します。

※1：別売の本機対応 ETC 車載器または本機対応の ETC2.0 車載器が接続されているときに設定できます。

※2：この機能は別売りのドライブレコーダーを接続しているときに使用できます。

※3：別売のケンウッド製カーナビ運動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続しているときに設定できます。

### ● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(→ P.64)
マイルルートアジャスター		探索の詳細条件を選択し、マイルルート1～3に設定することができます。(→ P.130)
スマートIC考慮	ON/OFF*	スマートICを利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。



- スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

### ● 交通情報

項目	説明
VICS 情報表示	この設定については、「VICS 情報の表示設定をする」(→ P.122)をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0 アップリンク	
プローブ情報送信	この設定については、「KENWOOD Drive Info.」(→ P.163) で使用します。
渋滞情報の取得間隔	

### ● その他

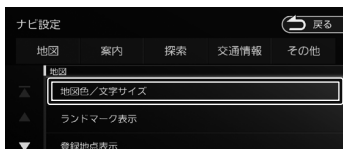
項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ		この設定については「NaviCon で探す」(→ P.61) で使用します。
車両ナンバー	軽 / 5・7* / 3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
現在地修正		自転車位置や向きがずれたときに、地図上の自転車位置と向きを修正します。(→ P.128)
地図更新プログラム		地図の更新用の SD カードを作成します。(→ P.149)
オービス更新プログラム		オービスの更新用の SD カードを作成します。

\*：お買い上げ時の設定です。

## 地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 「地図」の [地図色 / 文字サイズ] にタッチする



- 4 設定したい項目にタッチする



### 地図色：

地図色を設定します。

### 文字サイズ：

小、中、大から文字サイズを設定します。

### 地図色昼夜切替：

- [自動]：

「ディマー」(→ P.142) で設定した連動方法に応じて自動的に地図色を切り替えます。

ディマー設定が OFF のとき：

常に昼色の地図を画面に表示します。  
(昼画面)

ディマー設定が ON のとき：

常に夜色の地図を画面に表示します。  
(夜画面)

ディマー設定がイルミ連動のとき：

車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)

ディマー設定が時刻連動のとき：

日の出または日の入り時刻の前後で3段階の色の地図を表示します。

- [昼色に固定]：
- 常に昼色の地図を画面に表示します。(昼画面)
- [夜色に固定]：
- 常に夜色の地図を画面に表示します。(夜画面)

## 自車の現在位置を修正する

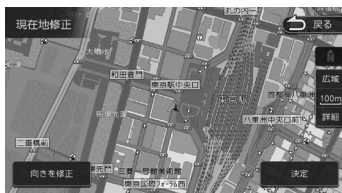
地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 「その他」の [現在地修正] にタッチする



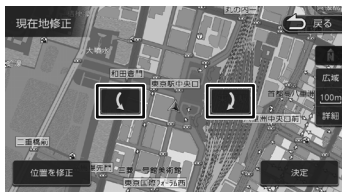
地図が表示されます。

- 4 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる (位置を修正)



- 5 [向きを修正] にタッチする

- 6 [ ] または [ ] にタッチして、自車の向きを設定する (向きを修正)



- 7 [決定] にタッチする



- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(→ P.45)
- 手順 7 で [決定] にタッチする前なら、[位置を修正] または [向きを修正] にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。



## 走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【ナビ】にタッチする
- 3 「地図」の【走行軌跡の表示】にタッチする



- 【ON】：  
走行軌跡を表示します。
- 【OFF】：  
走行軌跡を表示しません。

## 走行軌跡を消去する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【ナビ】にタッチする
- 3 「地図」の【走行軌跡を消去】にタッチして、【はい】にタッチする



- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を「OFF」に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

## 地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【ナビ】にタッチする
- 3 「地図」の【ランドマーク表示】にタッチする



- 4 設定するパターンにタッチする



- 5 表示するランドマークのジャンルにタッチする



タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。

表示させたいパターン (1 ~ 3) にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。



- 【表示オフ】にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

## ルート探索の条件を設定する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 「探索」の [マイルートアジャスター] にタッチする



- 4 探索条件を登録したいマイルート 1～3 のいずれかにタッチして (1) 設定したい項目にタッチして (2) 調整する (3)



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
有料優先	低～中* ～高 (5段階)	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～ 広い (5段階)	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は「狭い」と「広い」の中間です。
渋滞回避	0～1* ～2～ 3 (4段階)	0: 渋滞回避しません。 1: 渋滞回避を多少優先する。 2: 渋滞回避を優先する。 3: 渋滞回避を積極的に優先する。
踏切考慮	低～中* ～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/ OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。

項目	設定	説明
ルート学習	ON*/ OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行しているとナビが学習し、実際に走るルートを学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。[学習の初期化] にタッチするとメッセージが表示されます。[はい] にタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

### ■ 案内開始画面から [マイルートアジャスター] 機能を使う

- 1 [マイルートアジャスター] にタッチする



- 2 探索条件を登録したいマイルート 1～3 のいずれかにタッチして (1) 設定したい項目にタッチして (2) 調整する (3)



- 3 [再探索] にタッチする



ルートを再探索します。

# サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。



- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中や発信、着信中は「バランス / フェーダー」以外のサウンドの設定はできません。
- パッセンジャースリープ機能がオンのときはサウンドの設定はできません。(→ P.81)

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [サウンド] にタッチする
- 3 設定する項目にタッチする



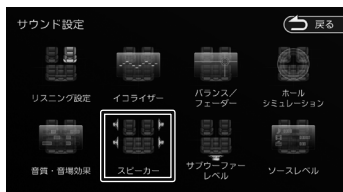
設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。(→ P.133)
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。(→ P.135)
バランス / フェーダー	◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを調整することもできます。 [センターに戻す]: 左右 / 前後とも中央になります。
ホールシミュレーション	サラウンド効果を設定します。(→ P.136)
音質・音場効果	音響効果を設定します。(→ P.136)
スピーカー	スピーカーの構成を設定します。(→ P.132)
サブウーファーレベル	◀ または ▶ にタッチしてサブウーファーのレベルを設定します。
ソースレベル	各 AV ソースの音量をそろえます。(→ P.141)

# 車両タイプを設定する

車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質が設定されます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [サウンド] にタッチする
- 3 [スピーカー] にタッチする



- 4 [車両] にタッチする



- 5 車両タイプを選んでタッチする



## スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。さらにスピーカーのクロスオーバー周波数も調整することができます。

より車両に適したリスニング設定ができます。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして **MENU** 画面を表示する
- 2 **[情報・設定]** にタッチして **[サウンド]** にタッチする
- 3 **[スピーカー]** にタッチする



- 4 **[車両]** にタッチする



- 5 **車両タイプ** を選んでタッチする



- 6 **設定するスピーカー** にタッチする



- (A) : フロントスピーカー  
 (B) : リアスピーカー  
 (C) : サブウファー

## 7 各項目にタッチして設定する



### [取付位置] :

スピーカーの位置を設定します。

### [スピーカー口径] :

スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

### [ツイーター口径] :

ツイーターの口径を設定します。

## スピーカーのクロスオーバー周波数を調整する

フロント/リアスピーカーとサブウファーのクロスオーバー周波数とスロープ(減衰率)、サブウファーの位相、スピーカーレベルを設定します。



- カットオフ周波数は、スピーカーにより異なります。

- フロント/リアスピーカー :  
指定した周波数よりも低い成分をカットする周波数。
- サブウファー :  
指定した周波数よりも高い成分をカットする周波数。

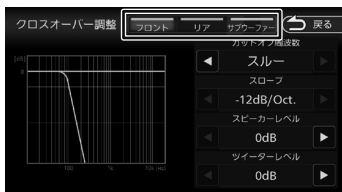
この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウファーでは高域成分が出力されないようにできます。

- 各スピーカーやツイーターの出力レベルを変えると、トーンカーブ全体が上下に動きます。各スピーカーの出力レベルがそろるように調整します。
- スピーカー構成の設定でリアスピーカー、サブウファーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は、それぞれのクロスオーバーは調整できません。
- カットオフ周波数とは、通過域と減衰域との境の周波数のことをいいます。定義としては、3dB 落ちた周波数をカットオフ周波数といえます。

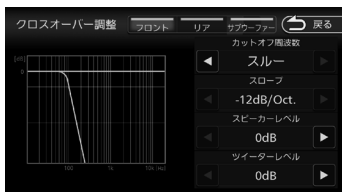
## 1 【クロスオーバー調整】にタッチする



## 2 クロスオーバー周波数を変更するスピーカーにタッチする



## 3 ◀ または ▶ にタッチして、各項目を設定する



### 【カットオフ周波数】：

カットする周波数の値を設定します。  
“スルー”にすると、機能がオフになります。

### 【スロープ】：

カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率を設定します。  
1 オクターブ (oct) あたりの減衰率を dB で設定します。

### 【スピーカーレベル】：

スピーカーレベルを設定します。

### 【ツイーターレベル】：

ツイーターレベルを設定します。  
スピーカー設定 (→ P.132) でツイーターの口径が設定されている場合のみ設定できます。

### 【位相反転】：

位相の反転をする (チェックあり)、しない (チェックなし) をタッチして設定します。(サブウーファーのみ)

## リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。  
リスニング設定には2つの設定方法があります。  
2つ同時に設定することはできません。

### リスニングポジション：

設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる (ディレイ) ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

### フロントフォーカス：

仮想的な音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合「左側優先」を選んでください。



- リスニング設定はスピーカー構成の設定 (→ P.132) で車両タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。
- スピーカー構成の設定でリアスピーカー、サブウーファーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は、それぞれのスピーカー調整ができません。
- フロントフォーカスの [ディレイ] 設定の [音像左右 (主調整)] の [リア・サブウーファーを出力しないで調整] は、スピーカー構成の設定でリアスピーカー、サブウーファーのスピーカー口径を両方“なし”に設定している場合はタッチできません。
- フロントフォーカス調整の [ディレイ] 設定の [仮想音場の広さ] は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーまたはサブウーファーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカス調整の [ディレイ] 設定の [サブウーファーのディレイ] は、スピーカー構成の設定でサブウーファーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカスを調整するときに表示される画面は、[閉じる] にタッチすると画面を閉じることができます。

- 1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する (→ P.132)
- 2 [リスニング設定] にタッチする



- 3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席にタッチする



選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

## リスニングポジションを微調整する

- 1 [調整] にタッチする



- 2 [ディレイ] にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして実際に測った距離を設定する



リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

- 3 [レベル] にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして音を聴きながら調整する



## フロントフォーカスの微調整をする

- 1 [調整] にタッチする



- 2 [ディレイ] にタッチして下記の順で各項目を設定する



- 1 [音像左右 (主調整)] にタッチする

[リア・サブウーファーを出力しないで調整] にチェックが付いている状態で、◀ または ▶ にタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。

次に[リア・サブウーファーを出力しないで調整] にタッチしてチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は ▶ または ▶ にタッチして調整してください。

- 2 [仮想音場の広さ] にタッチする

音を聞きながら ▶ または ▶ にタッチして好みの広さイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは [音像左右 (微調整)] で微調整してください。

- 3 [サブウーファースのディレイ] タッチする

音を聞きながら ▶ または ▶ にタッチしてサブウーファースのディレイを調整します。

### 3 [レベル] にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして音を聴きながら調整する



### 設定した値を初期設定に戻す

[初期値に戻す] にタッチするとメッセージが表示されます。[はい] にタッチするとディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

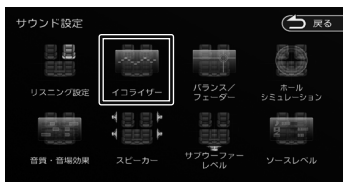
### プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。



- FM/AM ラジオ、地デジ、交通情報ソース画面で [クリアボイス] にチェックが付いているときは、イコライザーの設定はできません

### 1 設定したいソースを選ぶ 2 [イコライザー] にタッチする



### 3 [プリセット選択] にタッチする



### 4 設定したいプリセットイコライザー (ジャンル) にタッチする

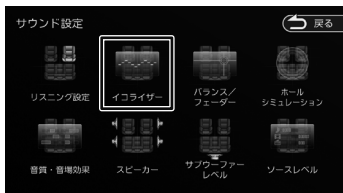


手順 1 で選択したソースに設定されます。

### ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

### 1 設定したいソースを選ぶ 2 [イコライザー] にタッチする



### 3 画面を指でなぞる



[フラット]:  
すべての周波数帯域をフラットにします。

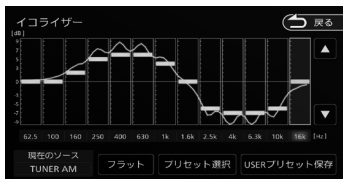


- 調整したい周波数を選んでタッチし、▲ または ▼ にタッチしてレベルを設定することもできます。

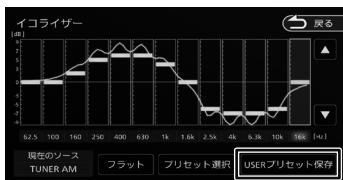
### 調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの USER 1 ~ 4 に保存できます。

### 1 イコライザーカーブを調整する



### 2 [USER プリセット保存] にタッチする

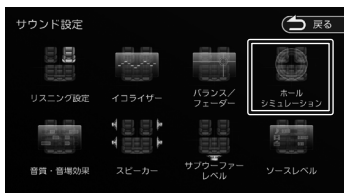


### 3 保存先にタッチする



## ホールシミュレーションを設定する

### 1 [ホールシミュレーション] にタッチする



### 2 サラウンドの [ON] にタッチする



### 3 設定する項目にタッチする



反射音レベルと反射音のディレイタイムを設定することもできます。

[反射音レベル] (LOW/MID/HIGH) または [ディレイタイム] (SHORT/MID/LONG) にタッチして聴きながら調整してください。

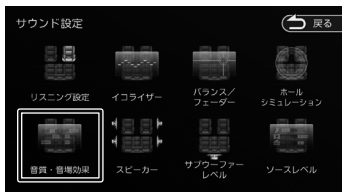


- ホールシミュレーションのサラウンドを ON に設定しているときは、リアスピーカーの音量が小さくなります。

## 音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

### 1 [音質・音場効果] にタッチする



### 2 各項目を調整する



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ミュージックバスブースト	OFF/1*/2/3	低音楽器の音を增強するレベルを設定します。
ミュージックラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	小音量時でも音楽的な周波数バランスが保たれて聞えるように、低音と高音を補います。録音レベルが大きい曲の場合は Low、小さい曲の場合は High が適しています。
Drive Equalizer +	OFF ~ 7* ~ 9	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
内蔵アンプ出力	OFF/ON*	内蔵アンプを使用するかどうかを設定します。
K2 テクノロジー	OFF/ON*	録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。(→ P.81)
リアライザー	OFF/1*/2/3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティのある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。



項目	設定	説明
サウンドライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置(高さ)を設定します。
プロモードEQ	「プロモードEQを使う」(右記)をご覧ください。	

\* : お買い上げ時の設定です。



- K2(ケー・ツー)は、1987年に株式会社JVCケンウッドとビクターエンタテインメントのビクタースタジオにより共同開発されたデジタルにおける高音質化技術です。

## プロモードEQを使う

従来の「グラフィックイコライザー」に加えて、より精密な調整が可能な「パラメトリックイコライザー」を搭載しこれをプロEQと名付けました。それぞれを使い分けることで、より完成度の高いチューニングが可能になります。

ただし、調整するには専門知識が必要です。

### ■ 使い分け

- プロモードEQ (パラメトリックイコライザー) 車両音響の周波数特性の細かな補正や改善に使用し調整のベースを整えます。車内音場問題点を把握するためには熟練した耳、あるいは測定器が求められる場合もあります。
- グラフィックイコライザー 従来通り積極的な「音造り」に使用し魅力的な音を作り出します。直観的な作業で試行錯誤を繰り返すことで誰でも容易に結果を得られます。プロモードEQでベースが整えられることで一層効果的な調整が可能となります。

## プロモードEQについて

### ■ 概略

フロント/リア/サブウーファー共通の9ポイント、フロント専用の2ポイント、リア専用の2ポイント、サブウーファーの1ポイントの合計14ポイントそれぞれで、フィルタ、周波数、Qファクタ(鋭さ)、スロープゲインを自在にコントロールできるシステム。

### ■ 注意点

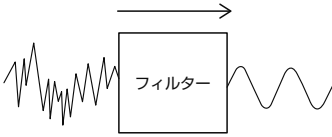
- ・ グラフィックイコライザーの調整前にプロモードEQの補正を行い、ベースを整えます。
- ・ プロモードEQの調整結果はグラフィックイコライザー画面には反映されません。
- ・ プロモードEQ ON/OFF ボタンで効果の確認ができます。

### ■ 調整について

耳障りなピークはピーキングフィルタを左右にスライドさせて耳で周波数をサーチできます。スタジオエンジニアは、このようにして短時間で効率的に補正を行ないますが、カーオーディオで正確なピークやディップをみつけるには、周波数エネルギーが一定なピンクノイズを再生したスピーカー音を、マイクを通して測定器(RTAリアルタイムアナライザ)にて測定する必要があります。その測定結果から補正すべきピークやディップをみつけ、それを打ち消すようにフィルタを設定します。

## ■ プロモードEQのフィルタについて

フィルタを使うと、信号処理により特定の音を取り除いたり、取り出したりすることができます。

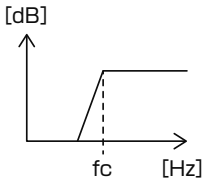


- ・ カットオフ周波数とは、通過域と減衰域との境の周波数のことをいいます。定義としては、3dB 落ちた周波数をカットオフ周波数といえます。

### ● ハイパスフィルタ

ある周波数 ( $f_c$  : カットオフ周波数) までは通過し、それ以下の周波数は減衰します。高域の周波数のみを通す時などに使用します。例として以下の使用方法があります。

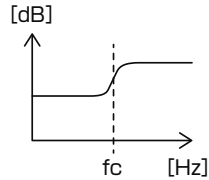
- セパレートツイーターの帯域の取り出し用。取り出す事でその帯域のみのレベル調整が可能となります。
- 低い周波数を再生すると、もこもこした音になる場合があります。これはスピーカーの再生できる周波数以下の音を入れたため、この状況を解消するためにはスピーカーの最低周波数以下をHPFでカットします。



### ● ハイシェルビングフィルタ / ローシェルビングフィルタ

ある周波数 ( $f_c$  : カットオフ周波数) から上または下をまとめて持ち上げたり、減衰させたりして段差 (Shelf : 棚) をつけるフィルター。目的の周波数よりも上を操作するものを High Shelving Filter (HSF) と呼び、下を操作するものを Low Shelving Filter (LSF) と呼びます。LowShelf と HighShelf がありますが、低域のレベルを制御するのが LowShelf で、高域のレベルを制御するのが HighShelf です。例として以下の使用方法があります。

- ツイーターが耳に近い場合、うるさく感じた場合など、音量を変えたいとき
- サブウーファーの音量を手元で変えたいとき

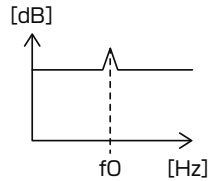


### ● ピーキングフィルタ

ある周波数 ( $f_0$  : 中心周波数) を中心に、 $f_0$  付近が強調される、もしくは減衰します。

例として以下の使用方法があります。

- 車の中の周波数の乱れを補正するために、狭い周波数帯域で音量を制御したいとき
- スピーカーのビビリ音がある場合、その周波数を下げることによってビビリを解消させる
- 複数のピーキングフィルタを用いて低域から高域までの音のバランスを調整するとき

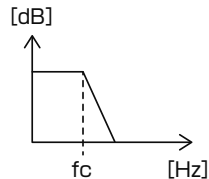


### ● ローパスフィルタ

ある周波数 ( $f_c$  : カットオフ周波数) までは通過し、それ以上の周波数は減衰します。低域の周波数のみを通す時などに使用します。

例として以下の使用方法があります。

- サブウーファー用に低域を取り出したいとき
- セパレートツイーターのスピーカーで、高域はツイーターに出力し、中低域をウーファーに出すときの中低域の音の取り出し用
- 高域がうるさいときのカット用



## プロモードEQの調整をする



- プロモードEQ機能をON中は、ホールシミュレーション機能が使用できません。
- プロモードEQは、STANDBY以外のソースを選択しないと設定できません。

- [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- [情報・設定] にタッチして [サウンド] にタッチする
- [リスニング設定] にタッチする



- リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席にタッチする



- [調整] にタッチする



- [ディレイ] にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして実際に測った距離を設定する



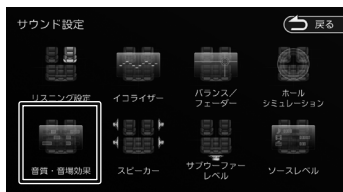
リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

- [レベル] にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして音を聴きながら調整する



- [戻る] に2回タッチしてサウンド設定画面を表示する

- [音質・音場効果] にタッチする



- プロモードEQの [ON] にタッチする



プロモードEQの設定を [ON] に変更したときのみ、メッセージが表示されます。

調整には専門知識が必要です。調整に問題がない場合は [はい] にタッチしてください。

**11 音楽を試聴しながら、ピーキングフィルタを左右に動かして耳障りなピークをサーチ、抑制する**

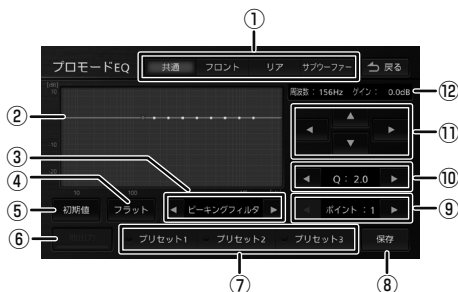
**12 ディップは探しにくいのでピンクノイズと測定器で調べる**

一般的に 10dB 以上の急峻なピーク、ディップは、音質阻害要因になると言われているので補正をする

**13 [設定] にタッチする**



プロモードEQの調整画面が表示されます。



**① [共通] :**

フロント出力、リア出力、サブウーファー出力を共通で調整します。

**[フロント] :**

フロント出力を調整します。

**[リア] :**

リア出力を調整します。

**[サブウーファー] :**

サブウーファー出力を調整します。

**②ポイント /EQ カーブ表示**

調整するポイントと調整されたEQカーブを表示します。

- ポイント (赤) : 選択 (調整) 中ポイント
- ポイント (青 / 黄) : 非選択ポイント
- EQカーブ (橙) : 選択ポイントのEQカーブ
- EQカーブ (青) : フロント出力、リア出力、サブウーファー出力の各設定値と、共通出力の設定値のオーバーオールEQカーブ (共通出力設定中は、共通出力のみのオーバーオールEQカーブを表示)

**③フィルタ選択**

選択中ポイントのフィルタを選択します。  
(→ P.138)

- ハイパスフィルタ
- ハイシェルピングフィルタ
- ローシェルピングフィルタ
- ピーキングフィルタ
- ローパスフィルタ

**④ [フラット]**

選択出力調整をフラットに戻します。

**⑤ [初期化]**

全ての出力をフラットに戻します。

**⑥ [他出力]**

調整中出力以外の出力音を ON/OFF します。共通出力調整中は使用できません。

**⑦ [プリセット 1~3]**

調整した共通出力、フロント出力、リア出力、サブウーファー出力を 1 セットとして、3 セットまで保存 / 呼び出しができます。タッチすると保存されているプロモードEQの設定が呼び出されます。

**⑧保存**

タッチすると調整した共通出力、フロント出力、リア出力、サブウーファー出力を [プリセット 1~3] に保存できます。

**⑨調整ポイント選択**

調整するポイントを選択します。各出力で以下のポイント数の調整ができます。

- [共通] : 9 ポイント
- [フロント] : 2 ポイント
- [リア] : 2 ポイント
- [サブウーファー] : 1 ポイント

## ⑩ Q/スロープ設定

ピーキングフィルタを選択時は Q を設定します。

ハイパスフィルタ / ローパスフィルタを選択時はスロープを設定します。

- Q 設定値：0.2 ～ 10.0
- スロープ設定値：-6dB/Oct.、-12dB/Oct.

## ⑪ 周波数 / ゲイン設定

選択中ポイントの周波数とゲインを設定します。

- [◀][▶]：周波数を設定します。
- [▲][▼]：ゲインを設定します。

## ⑫ 周波数 / ゲイン表示

選択中ポイントの周波数とゲイン値を表示します。

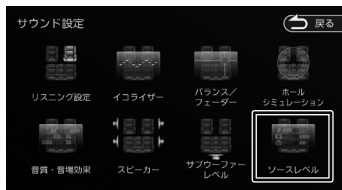
**14** 調整が完了したらプリセットに保存し、プリセットの切り替えや、プロモード EQ の [ON] または [OFF] で効果を確認する

**15** グラフィックイコライザーで最終調整を行う

## ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [サウンド] にタッチする
- 3 [ソースレベル] にタッチする



- 4 現在のソースの [-] または [+] にタッチして、音量を調整する



- 「iPod」と「SMART USEN」は接続方法別に調整してください。

# システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

## ● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま / 下げる* / 消音	音声案内時のAVソースの音量を設定します。
リバーブ時のAV音量ダウン	ON*/OFF	バックするときにAVソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時にAVの音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。
ゴールオートボリューム	ON/OFF*	目的地の残り距離、および自宅近くの距離に応じて音量を自動で上げていきます。(→ P.146)

## ● 表示

項目	設定	説明
キーイルミネーション色選択	キーイルミネーションの色を設定します。(→ P.144)	
ディマー	OFF / ON / イルミ連動* / 時刻連動	ディマー(自動輝度設定)の連動方法を設定します。 OFF: 昼画面固定になります。 ON: 夜画面固定になります。 イルミ連動: 車両のライトスイッチに連動します。 時刻連動: 日の入り、日の出時間に連動します。
アナログメーター	昼固定 / 夜固定 / 朝夕固定 / 自動*	AV画面のアナログメーター画面のアナログメーター部の色を変えることができます。(→ P.146)
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。 映像表示中以外の画面(現在地図画面またはHOME画面など)では、この設定を[OFF]にしても、時計表示を消すことはできません。
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面表示を消しているときに、時計を表示するかどうかを設定します。 画面表示を消しているとき以外の画面(現在地図画面やHOME画面など)では、この設定を[OFF]にしても、時計表示を消すことはできません。
画面の色変更	OFF / キーイルミネーション連動* / 個別設定	メニューなどの背景やボタンの枠などが設定した色に変わります。地図の色はこの設定では変わりません。
HOME画面のInfoサイズ自動切り替え		HOME画面INFOエリアを小または中にしていてときに、注意喚起表示を自動でINFOエリアを「大」にして表示するかどうかを種類別に設定することができます。お買い上げ時はすべて自動切り替える(チェックあり)設定になっています。チェックを外すと自動で「大」エリアにならないため、アイコンだけの表示になります。(→ P.34)

## ● 車両

項目	設定	説明
オートアンテナ	あり / なし *	オートアンテナを装着している場合に設定します。(→ P.20)
ステアリングリモコン	あり / なし *	車両のステアリングリモコンで本機を操作できるように設定します。(→ P.21)
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。(→ P.21)	
車両メンテナンス	車両のメンテナンス時期の通知年月日や通知距離などを設定することができます。(→ P.19)	
パネル基準角度 (MDV-M906HDLのみ)	一部の車両で本機を取り付ける場合に設定するメニューです。	
ハンドル	パッセンジャースリープ機能が運転席の場所を把握するために設定します。(→ P.18)	

## ● 一般

項目	設定	説明
操作音の音量	0 ~ 3* ~ 5	操作音の音量を設定します。
ショートカットボタン登録	サブメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。(→ P.37)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。(→ P.24)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。(→ P.25)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。(→ P.24)	
セキュリティインジケータ	ON/OFF*	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。(→ P.25)
リフレッシュ通知	ON*/OFF	休憩を促す音声案内をするかどうかを設定します。(→ P.71)
日没ライト案内 / 警告音声案内	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をするかどうかを設定します。(→ P.71)

項目	設定	説明
日没ライト案内 / 警告表示	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示するかどうかを設定します。(→ P.44)
SDカード初期化	SDカードの初期化を行います。SDカード内のデータは、すべて消去されます。	

## ● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。	
ユーザー切替	一部の設定を2ユーザー分保持することができます。(→ P.38)	
設定データの書き出し	設定をSDカードに保存します。(→ P.144)	
設定データの読み込み	書き出した設定データを本機に読み込みます。(→ P.144)	
システムの初期化	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(下記)	

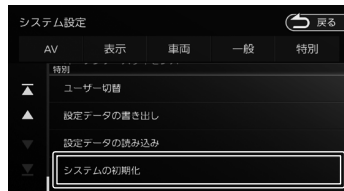
\*: お買い上げ時の設定です。

## システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- ・ 暗証番号
- ・ 内蔵メモリ / SD カードに録音した曲

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【システム】にタッチする
- 3 「特別」の【システムの初期化】にタッチして、【はい】にタッチする



## 設定をSDカードに保存する

本機の設定をSDカードに保存（書き出し）することができます。

次の項目は、SDカードに保存（書き出し）できない項目です。

- パネル基準角度設定（MDV-M906HDLのみ）
- HOME画面のバーチャルルームミラー調整
- 外部出力切替設定
- センサーの学習データ
- 録音データ
- MapFan会員サービスのID/パスワード
- 暗証番号
- ステアリングリモコン設定（ステアリングリモコン学習内容を含む）

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- 走行軌跡データ/ECOデータ/目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳/着信履歴/不在着信履歴/発信履歴/プリセットダイヤル
- ナビのデバイス名(Bluetooth)
- PINコード(Bluetooth)

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 「特別」の [設定データの書き出し] にタッチする

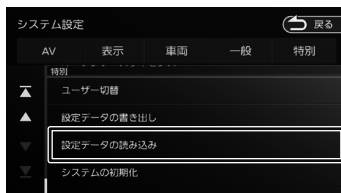


メッセージが表示されます。

- 4 [はい] にタッチする  
SDカードに保存されると自動で再起動します。

## 設定データを本機に読み込む

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 「特別」の [設定データの読み込み] にタッチする



読み込みが終了すると自動で再起動します。

## イルミネーション色を設定する

フロントパネルキーのイルミネーション色を設定します。

また、イルミネーション色を独自に設定することもできます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 「表示」の [キーイルミネーション色選択] にタッチする



- 4 色のボタンにタッチする



- ：  
イルミネーション色が時間とともに変化します。  
[ユーザーカラー 1] / [ユーザーカラー 2]  
/ [ユーザーカラー 3] :  
独自に作成したイルミネーション色に設定します。



## ユーザー独自のイルミネーション色を設定する

好みのイルミネーション色を設定します。ユーザーカラーとして3つ登録できます。

- 1 登録したいユーザー番号 (①) にタッチして [ユーザーカラー調整] (②) にタッチする



- 2 各色の ◀ または ▶ にタッチして、色を調整する

変更した色はすぐにキーに反映されます。



- この画面で画面の右側にある手順 1 でタッチしたユーザーカラーボタン以外のユーザーカラーボタンにタッチすると調整した値はタッチしたユーザーカラーボタンの色に変わってしまうのでご注意ください。
- スライダーバーのつまみを動かしても調整できません。

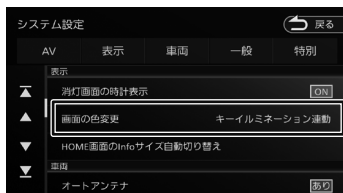
## 画面の色を設定する

メニューなどの背景やボタンの枠などの色を設定します。

また、画面の色を独自に設定することもできます。地図の色はこの設定では変わりません。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする

- 3 「表示」の [画面の色変更] にタッチする



- 4 [キーイルミネーション連動] または [個別設定] にタッチする



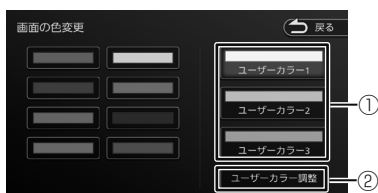
[キーイルミネーション連動] を選んだ場合は、「イルミネーション色を設定する」(→ P.144) で設定した色に設定されます。

[個別設定] を選んだ場合は、「ユーザー独自の画面の色を設定する」(下記) で画面の色を変更します。

## ユーザー独自の画面の色を設定する

好みの画面の色を設定します。ユーザーカラーとして3つ登録できます。

- 1 登録したいユーザー番号 (①) にタッチして [ユーザーカラー調整] (②) にタッチする



- 2 ◀ または ▶ にタッチして、画面を見ながら色を調整する



- スライダーバーのつまみを動かしても調整できません。

## ゴールオートボリュームを設定する

目的地の残り距離、または自宅近くの距離が最大約 700m 手前から音量が「5」になるまで徐々に下げていきます。お買い上げ時は [OFF] に設定されています。

また、ゴールオートボリュームが働いた後に本機の電源をオフしてオンすると、音量「5」から 5 秒ごとに音量を「1」ずつ大きくし、ゴールオートボリュームが動く前の音量に戻します。

- 1 [HOME] を押し [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 「AV」の [ゴールオートボリューム] にタッチする

タッチするたびに [OFF]、[ON] が切り替わります。



- 残り距離が 700 m で、音量が「5」以下のときはこの機能は働きません。
- 自宅周辺を通過する場合もこの機能が働きますが、自宅から離れると元の音量へ徐々に戻します。
- ゴールオートボリュームが働いているときに音量を調整するとこの機能は解除され、その時点の音量のままになります。
- ゴールオートボリュームが働いているときは、スターボリュームは働きません。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、自宅周辺 (100m 以内) で本機の電源をオフしてオンすると、自宅に到着したと判断され、ゴールオートボリュームが動く前の音量に戻します。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、残り距離 700m 以内で本機の電源をオフしてオンすると、この機能は解除されます。
- 目的地が自宅以外のルート案内中は、自宅に近づいてもこの機能は働きません。

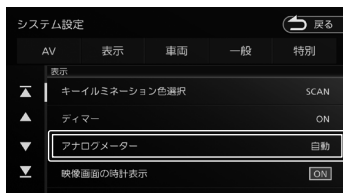
## アナログメーターの設定をする

AV 画面のアナログメーター画面のアナログメーター部の色を変えることができます。



[昼固定] は明るめ、[夜固定] は暗めになります。[朝夕固定] は、昼と夜の間色になります。お買い上げ時 [自動] に設定されています。

- 1 [HOME] を押し [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする
- 3 「表示」の [アナログメーター] にタッチする



## 4 設定する項目にタッチする



[自動] :

「ディマー」(→ P.142) で設定した連動方法に応じて自動的にアナログメーターの色を切り替えます。

ディマー設定が OFF のとき :

常に昼色のアナログメーターを表示します。

ディマー設定が ON のとき :

常に夜色のアナログメーターを表示します。

ディマー設定がイルミ連動のとき :

車両のライトスイッチに連動して自動的にアナログメーターの色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)

ディマー設定が時刻連動のとき :

日の出または日の入り時刻の前後で 3 段階のアナログメーターの色を表示します。

### 【昼色に固定】：

常に昼色のアナログメーターを表示します。

### 【夜色に固定】：

常に夜色のアナログメーターを表示します。

### 【朝夕固定】：

常に朝夕色のアナログメーターを表示します。

## 外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【情報・設定】にタッチして【外部機器】にタッチする
- 3 設定する項目にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

### ● Bluetooth

Bluetooth の設定については 151 ページをご覧ください。

### ● AV

項目	設定	説明
AV-IN 接続機器	別売の AV 入力/出力用ケーブル KNA-17AV の AV-IN に接続する機器を設定します。 なし： AV-IN ソースを使用しないとき。 オーディオ機器： オーディオ機器（音声のみ）を接続しているとき。 AV 機器*： AV 機器（音声と映像）を接続しているとき。 汎用フロントカメラ： 市販のカメラを接続しているとき。 専用フロントカメラ： CMOS-320（別売品）を接続しているとき。	
外部出力切替	アナログ VIDEO OUT*/ HDMI OUT	外部モニターに出力する機器の出力を設定します。

● カメラ

項目	設定	説明
フロントカメラ調整	—	CMOS-320 (別売品) を接続しているときはここから設定を行ってください。(→ P.171)
繰り返し時のフロントカメラ自動表示	ON*/OFF	リアビューカメラ表示中にシフトレバーを“R”以外にしたときにフロントビューカメラ映像を表示するかどうかを設定します。
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ(コントロール機能付)/HDカメラ	リアビューカメラの接続を設定します。(→ P.170)
リアカメラ調整	—	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

● その他

項目	設定	説明
Bluetooth テザリング	ON/OFF*	「KENWOOD Drive Info.」(→ P.163) をテザリング機能で使用するかどうかを設定します。
MapFan 会員サービス	「KENWOOD Drive Info.」(→ P.163) をテザリング機能で使用する時の設定項目です。	
スマートループ渋滞情報の利用		
ETC2.0 接続	なし*/タイプ A/タイプ B	ETC2.0 車載器の接続を設定します。(→ P.167)
バーチャルルームミラー	ON*/OFF	現在地図画面からドライブレコーダー(リア用)の映像またはリアカメラの映像に切り替えるかどうかを設定します。
HOME 画面のバーチャルルームミラー調整	[バーチャルルームミラー]が「ON」に設定されているときに、HOME画面で表示されるバーチャルルームミラー表示の位置や表示の拡大、縮小を調整することができます。	

項目	設定	説明
サブリアカメラ※	ON/OFF*	シフトレバーを“R”(リバース)にしたときに、リアビューカメラの補助としてドライブレコーダー(リア用)映像に切り替えるかどうかを設定します。
スマートフォン置き忘れ警告	ON*/OFF	71 ページの「スマートフォン置き忘れ警告音声案内」をご覧ください。

\* : お買い上げ時の設定です。

※ : 別売のドライブレコーダー(リア用) DRV-R530 接続時のみ設定できます。



- 「ETC2.0 接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

## バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [バージョン] にタッチする



バージョン情報が表示されます。

## 地図更新について

### 開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> をご覧ください。

## KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する

### KENWOOD MapFan Club のサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、インクリメント P 株式会社が提供するサービス「MapFan」と KENWOOD のカーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

サービスの詳細や会員登録については、同梱の KENWOOD MapFan Club に関するお知らせをお読みください。

また、当社ホームページからもご覧になれます。  
[https://www.kenwood.com/jp/faq/ce\\_navifan/mapfan/](https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navifan/mapfan/)

また、オービスデータの SD 版またはデータダウンロード版をお得に購入することもできます。オービスデータの購入については当社ホームページ [https://www.kenwood.com/jp/products/car\\_audio/option/orbis/](https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/orbis/) をご覧ください。会員登録は本機に表示される QR コードを使って登録できます。

## QR コードを使って KENWOOD MapFan Club に登録する



・あらかじめ、スマートフォンに QR コード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 「その他」の [地図更新プログラム] にタッチする



- 4 画面に表示されている QR コードを携帯電話またはスマートフォンで読み取る

「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。

画面に従って会員登録を行ってください。



・カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号（製造番号）」は QR コード表示画面（手順 4）に表示されます。

# Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



Bluetooth 接続中アイコン



- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとするすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、206 ページをご覧ください。

## 本機に Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

本機はセキュアシンプルペアリングに対応しています。

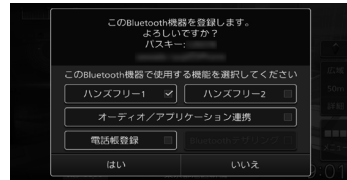
- 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- Bluetooth 機器で“MDV-M906HDL”、“MDV-M906HDW”、または“MDV-M906HD”を選ぶ
- デバイス名とパスキーを確認する



- Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示されたときは、表示されている本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力してください。初期設定は“0000”に設定されています。

Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。（→ P.151）

## 4 使用する機能にタッチしてチェックを付けて [はい] にタッチする



**[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :**

ハンズフリーを登録する番号を選びます。

**[オーディオ / アプリケーション連携] :**

オーディオ再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

**[電話帳登録] :**

電話帳登録をします。

**[Bluetooth テザリング] :**

カーナビ連携スマホアプリケーション [KENWOOD Drive Info] の機能を Bluetooth テザリングで使用するときは、外部機器設定の「その他」-「Bluetooth テザリング」を「ON」に設定して（→ P.148）おいてください。設定するとこの画面で [Bluetooth テザリング] が表示されます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。「KENWOOD Drive Info」について詳細は 163 ページをご覧ください。

Bluetooth 機器の登録が始まります。登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳の登録はここでチェックをいれなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは一台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが入っています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが入っています。

## オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。(→ P.151)



- 登録ができない場合は 150 ページの登録方法で登録してください。

- 1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする
- 2 iPhone または iPod touch を USB ケーブルで接続する
- 3 デバイス名とパスキーを確認して、使用する機能にタッチしてチェックを付けて [はい] にタッチする



[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :

ハンズフリー登録する番号を選びます。

[オーディオ / アプリケーション連携] :

オーディオ再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[電話帳登録] :

電話帳登録をします。

[Bluetooth テザリング] :

カーナビ連携スマホアプリケーション「KENWOOD Drive Info」の機能を Bluetooth テザリングで使用するときは、外部機器設定の「その他」-「Bluetooth テザリング」を「ON」に設定して (→ P.148) してください。設定するとこの画面で [Bluetooth テザリング] が表示されます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。「KENWOOD Drive Info」について詳細は 163 ページをご覧ください。

Bluetooth 機器の登録が始まります。登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳の登録はここでチェックをいれなくても後から登録できます。

- 電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは一台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが入っています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが入っています。

## Bluetooth の設定をする

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 [Bluetooth] にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/OFF	Bluetooth 接続するかどうかを設定します。
デバイス接続	本機に Bluetooth 機器を接続します。(→ P.152)	
PIN コード	0000*	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。(→ P.154)
デバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(→ P.154)	
ナビのデバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒	着信時に、自動的に通話可能になります。
着信音量	0 ~ 15* ~ 40	着信音を調整します。

項目	設定	説明
受話音量	0 ~ 15* ~ 40	受話音量を調整します。
通話中の音量調整	ON*/OFF	ハンズフリー通話中は、それぞれ音量キーで調整することができます。OFF に設定するとハンズフリー通話中の調整ができなくなります。
音質調整	—	タッチすると下記の設定項目が表示されます。

\* : お買い上げ時の設定です。

## ■ 音質を調整する

### 1 [音質調整] にタッチする



### 2 各項目を調整する



**[エコーキャンセル] (-5 ~ 0\* ~ +5) :**  
エコーキャンセルの値を調整します。

**[ノイズリダクション] (-5 ~ 0\* ~ +5) :**  
ノイズリダクションの値を調整します。

**[マイクゲイン] (-10 ~ 0\* ~ +10) :**  
マイクゲインの値を調整します。

**[ミュート] :**  
通話中にタッチしてチェックを付けると送話を消音します。  
もう一度タッチしてチェックを外すと消音を解除します。

**[クリアボイス] :**  
通話中にタッチしてチェックを付けると音声聞き取りやすくなります。  
もう一度タッチしてチェックを外すと元に戻ります。

\* : お買い上げ時の設定です。

## Bluetooth 機器の使用する機能を変更する

### 1 [デバイス接続] にタッチする



### 2 機能を変更したい Bluetooth 機器にタッチする



### 3 チェックボックスにタッチして使用する機能にチェックを付ける



**[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :**  
ハンズフリー登録する番号を選びます。


**[オーディオ / アプリケーション連携]**  
オーディオ再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

**[電話帳登録] :**  
電話帳登録をします。

**[Bluetooth テザリング] :**  
カーナビ連携スマホアプリケーション「KENWOOD Drive Info」の機能を Bluetooth テザリングで使用するときは、外部機器設定の「その他」 - 「Bluetooth テザリング」を「ON」に設定して (→ P.148) おいてください。設定するとこの画面で [Bluetooth テザリング] が表示されます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。「KENWOOD Drive Info」について詳細は 163 ページをご覧ください。

## ■ 機能アイコンについて

 : ハンズフリー

 : オーディオ / アプリケーション連携

 : Bluetooth テザリング



## Bluetooth 機器の接続を解除する

### 1 【デバイス接続】にタッチする



### 2 解除したい Bluetooth 機器にタッチする



### 3 接続を解除する接続方法にタッチして【閉じる】にタッチする



- チェックマークがすべて外れていれば、ハンズフリー、オーディオ / アプリケーション連携の両方を解除したことになります。

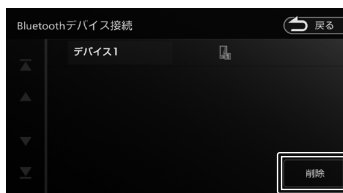
## 登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

### 1 【デバイス接続】にタッチする



### 2 【削除】にタッチする



### 3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、【削除】にタッチする 複数選択することもできます。



【全て選択】：  
リスト内のすべての機器を選択します。

【全て解除】：  
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

### 4 【はい】にタッチする

選択した機器が削除されます。

## PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

### 1 [PIN コード] にタッチする



### 2 PIN コードを入力して [決定] にタッチする



PIN コードが変更されます。



カーソルの前にある文字を消去します。



- 入力できる PIN コードは 4～8 桁です。

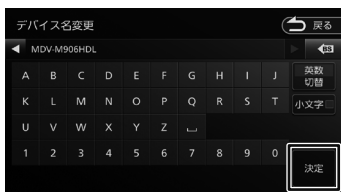
## 本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録 (ペアリング) するときを選択するデバイス名を変更することができます。

### 1 [デバイス名] にタッチする



### 2 デバイス名を入力して [決定] にタッチする



デバイス名が変更されます。



- デバイス名は 20 文字まで入力できます。アルファベット (大文字、小文字)、数字、記号の文字が使用できます。
- 文字入力については 42 ページをご覧ください。

# ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

## 電話画面を表示する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [電話メニュー] にタッチする



電話メニュー画面が表示されます。

## 電話画面の見かたと操作



- ① **ハンズフリー 1 / ② ハンズフリー 2**  
2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は1 または2にタッチして接続機器を選択してください。
    - プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
    - 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。
    - 接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量が表示されます。
    - デバイス名が表示されます。
  - ③ **[接続切替]**  
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。  
(→ P.152)
  - ④ **[音声認識]**  
スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。
  - ⑤ **[リダイヤル]**  
前回発信した電話番号に発信します。
  - ⑥ **[編集]**  
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。  
(→ P.156)
  - ⑦ **[プリセット]**  
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。(→ P.156)
- [履歴]**  
PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。(→ P.157)
- [電話帳]**  
電話帳を表示します。(→ P.158)
- [10キー]**  
電話番号を入力します。(→ P.159)




- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

## ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

### 1 にタッチする



 (通話終了) : 着信を拒否します。



### [音質調整] :

音質を調整します。(→ P.152)

### [トーン]

トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。



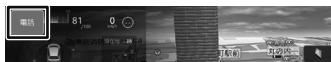
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

### [通話切替] :

接続している機器がキャッチホン機能に対応しているときに表示します。タッチすると通話先を切り替えます。

### [閉じる] :

表示を消します。



[電話] にタッチすると再度表示します。



- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AV の音量とそれぞれ独立して調整できます。(→ P.29)
- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー 1 と 2 に登録している機器がある場合、1 台が発信または着信状態になったときは、もう 1 台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

### 2 通話が終わったら、 にタッチする

## プリセットダイヤルを使う

### プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。

あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(→ P.156)

- [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- [電話メニュー] にタッチする
- 発信するダイヤルにタッチする



選択した電話番号に発信されます。

### プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

### 1 [編集] にタッチする



### 2 登録するプリセットにタッチする



### 3 登録方法にタッチし、電話番号を登録する



#### 【電話帳から登録】:

登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

#### 【10キーで登録】:

電話番号を入力し、[登録] にタッチします。

### プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

#### 1 【編集】にタッチする



#### 2 削除する

##### ■ 全て削除する場合

【全て削除】にタッチする



【はい】にタッチする

全てのプリセットダイヤルが削除されます。

##### ■ 選んで削除する場合

削除したいプリセットダイヤルにタッチして【削除】にタッチする



#### 3 【はい】にタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

### 履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 【電話メニュー】にタッチする
- 3 【履歴】にタッチする



機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

#### 4 発信する履歴にタッチして、【はい】にタッチする



選択した電話番号に発信されます。

## 電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

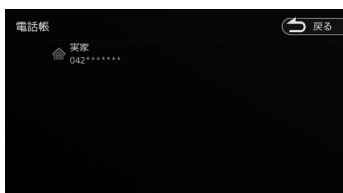
### 1 【電話帳】にタッチする



### 2 発信する相手にタッチする



### 3 発信する電話番号にタッチして、【はい】にタッチする



選択した電話番号に発信されます。



- 電話帳の登録方法については右記をご覧ください。

## PBAP対応機器の電話帳を登録する

最大1000件分(1件あたり最大5番号まで)のPBAP対応機器の電話番号を本機に登録することができます。



- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

### 1 【電話帳】にタッチする



### 2 【登録】にタッチする



- PBAP対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によっては携帯電話(スマートフォン)でアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。
- 電話帳登録中に【終了】にタッチすると登録を中断します。

## 電話帳を削除する

### 1 [電話帳] にタッチする

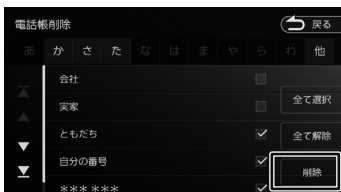


### 2 [削除] にタッチする



### 3 削除する登録名にタッチして [削除] にタッチする

複数選択することもできます。



**[全て選択] :**  
リスト内のすべてを選択します。

**[全て解除] :**  
リスト内のすべての選択を解除します。

### 4 [はい] にタッチする

選択した登録が削除されます。

## ダイヤルして電話をかける

### 1 [10キー] にタッチする



### 2 電話番号を入力して、[電話] にタッチする



### 3 [はい] にタッチする

入力した電話番号に発信されます。

## 地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 ▶ 地点の詳細情報画面を表示する (→ P.49)

### 1 [電話] にタッチして、[はい] にタッチする



電話が発信されます。



- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

## リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

### 1 【リダイヤル】にタッチする



### 2 【はい】にタッチする

前回の電話番号に発信されます。

## 音声認識機能で電話をかける

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけることができます。

### 1 【音声認識】にタッチする



スマートフォンの音声認識機能が起動します。

### 2 電話番号または電話帳の名前を話す



#### 【開始】：

音声を認識できる状態にします

#### 【終了】：

音声認識機能を終了します。



- 【MAP/AV】を押し続けても音声認識が起動します。
- スマートフォンが音声認識機能に対応していない場合は、使用できません。
- スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。



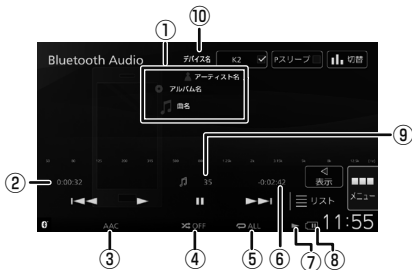
# Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

## 画面の見かたと操作

### ここまでの手順

ソースを Bluetooth Audio に切り替える  
(→ P.80)



- ① アーティスト名  
アルバム名  
曲名
- ② 再生経過時間
- ③ 音声形式
- ④ ランダム再生モード
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生残り時間
- ⑦ 再生状態アイコン
- ⑧ バッテリー残量
- ⑨ 曲番号
- ⑩ デバイス名

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(→ P.81)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシンジャー スリープ機能がオンになります。(→ P.81)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生します。
⏸	一時停止（ポーズ）します。
◀◀ / ▶▶	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [トップ] : 一番上の階層のフォルダに移動します。</li> <li>・ [一つ上] : 一つ上の階層のフォルダに移動します。</li> </ul>
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。
[メニュー]	MENU 画面を表示します。

### サブ機能

[表示] にタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	デバイス切替画面が表示され、Bluetooth デバイスを切り替えることができます。
⌘	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
⌚	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法（スキップ操作やランダム再生モード切替など）を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。
- 他の Bluetooth 機器と通信中は音が途切れる場合があります。
- 音飛びが発生する際には、ご利用の機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
- 再生する音楽アプリを変えたい場合は、使用中の Bluetooth オーディオ機器にて音楽アプリを切り替えてください。

# スマートフォン連携について

本機はスマートフォンと連携することで、ドライブ、AV に役立つさまざまな機能を拡張することができます。

## NaviCon

iPhone/Android

「NaviCon」と連携すると、「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。また、NaviConの画面で表示している場所の地図を本機に表示することもできます。(→ P.61)

## KENWOOD Drive Info.

iPhone/Android

「KENWOOD Drive Info.」は運転に便利なコンテンツや検索機能など、本機と連携することで機能を拡張することができます。

KENWOOD MapFan Club 会員限定で、本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続で利用することができます。Bluetooth テザリングの場合はアプリケーションのインストールは必要ありません。

別途、スマートフォンのテザリング契約が必要です。接続には通信費用が発生します。

「KENWOOD Drive Info.」の詳細は当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> でモデルを選び [取扱説明書] をご覧ください。

## VOIPUT

iPhone/Android

音声で行き先の住所またはフリーワードの検索や楽曲検索をすることができます。また、フリーワード検索の文字や、録音データのタイトル編集の文字を音声で入力することができます。

「VOIPUT」の詳細は当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> でモデルを選び [取扱説明書] をご覧ください。

## SMART USEN

iPhone/Android

音楽放送のプロが選曲した 1,000 を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機に接続すると本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.115)

## KENWOOD Music Info.

iPhone/Android

音楽 CD を再生または録音したときに、本機で楽曲情報が表示されない場合、「KENWOOD Music Info.」を使ってインターネット上にある音楽データサーバーの楽曲情報データベースにアクセスし、楽曲情報を取得できます。(→ P.98)

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

# 別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

	商品名	型名
ステアリングリモコン	ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル	KNA-300EX*1
iPod 再生	iPod 接続ケーブル (0.8 m)	KCA-iP103
AV ケーブル	AV 入力 / 出力用ケーブル	KNA-17AV
フロントカメラ (→ P.170)	マルチビューカメラ	CMOS-320
リアビューカメラ (→ P.170)	ケンウッド専用マルチビューリアカメラ	CMOS-C320
	ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ	CMOS-C230W/ CMOS-C230
	スタンダードリアビューカメラ	CMOS-230W/ CMOS-230
	HD リアビューカメラ	CMOS-C740HD
変換リアカメラ接続ケーブル	ケンウッド専用端子 / 汎用 RCA 変換リアカメラ接続ケーブル	CA-C100*2
本機対応市販品 ETC 車載器接続ケーブル (→ P.165)	株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 (市販品) 用 ETC/ ステアリングリモコン接続ケーブル	KNA-300EX*1
ETC2.0 車載器 (→ P.165)	ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器	ETC-N7000 (接続ケーブル同梱)
	ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器	ETC-N3000 (接続ケーブル同梱)
ドライブレコーダー (→ P.174)	ナビ連動型ドライブレコーダー (フロント用)	DRV-N530*1
	ナビ連動型ドライブレコーダー (リア用)	DRV-R530
リアモニター (→ P.189)	9.0V 型ワイドスクリーンモニター	LZ-900

\*1 :

- KNA-300EX の車両の対応については、当社ホームページ [https://www.kenwood.com/jp/products/car\\_audio/option/etccable/](https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/) をご覧ください。
- KNA-300EX は一本で ETC 車載器とステアリングリモコンを接続することができます。
- ドライブレコーダー DRV-N530 に付属している接続ケーブルの KNA-300EX 同等品で、ステアリングリモコンも同時に接続することができます。

\*2 : スタンダードリアビューカメラ CMOS-230W/ CMOS-230 を接続する場合に必要です。

# ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う

本機は ETC 車載器 (別売品) または ETC2.0 車載器 (別売品) を接続することができます。

本機に対応している ETC 車載器 (別売品) または ETC2.0 車載器 (別売品) は、167 ページをご覧ください。ETC2.0 車載器を接続した場合は、接続設定を行ってください。(→ P.167)



- ETC 車載器と ETC2.0 車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ドライブレコーダーと ETC 車載器は同時に接続できません。(ETC2.0 車載器は除く)
- ETC 車載器を接続して初めて電源を ON にしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC 車載器が正しく接続されているかは、「接続情報」画面 (→ P.16) で確認してください。

## ETC 情報について

ETC (Electronic Toll Collection System) は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。



- ETC 機能についての音声案内 (料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード) は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から 1 ヶ月以内になったときに出力されます。
- 本機の電源をオフしたときに ETC カードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

## ETC2.0 情報について

ETC2.0 車載器 (別売品) を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。



- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。また決済サービスにも対応していません。

## ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省 国土技術政策総合研究所

[http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot\\_dsrc/index.html](http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html)

道路管理者からのお知らせとお願い (プローブ情報の利用及び取り扱いについて)

[http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot\\_dsrc/oshirase.html](http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html)

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

## ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC / 一般」と表示されたレーンをご使用下さい。

- 運転中に ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約 1 秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

## アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報 (走行位置の履歴などの情報) を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。

走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。

アップリンクしないように設定することができます。(→ P.123) アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書をご覧ください。

## VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。  
(→ P.119)
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されません。  
対応している情報の種類は、次のとおりです。  
優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
 一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。  
(→ P.65)
- 渋滞のある箇所近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(→ P.65)

## ETC に関する設定をする

### ETC の案内出力を設定する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 [案内] の [ETC 音声の出力] にタッチする



[ON] :  
ETC の音声案内をします。

[OFF] :  
ETC の音声案内をしません。

### ETC の料金表示を設定する

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 [案内] の [ETC 料金の表示] にタッチする



[ON] :  
ETC 料金を表示します。

[OFF] :  
ETC 料金を表示しません。

## ETC2.0 車載器の接続設定をする

接続している ETC2.0 車載器を設定します。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「その他」の [ETC2.0 接続] にタッチする



- 4 接続する ETC2.0 車載器のタイプにタッチする



[なし] :

ETC2.0 車載器を接続しません。

[タイプ B] :

- ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 (別売品)
- ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器 ETC-N3000 (別売品)
- パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 : CY-ET2000D(市販品)、パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 : CY-DSR140D は [タイプ A] に設定してください。株式会社デンソー製 ETC2.0 車載器 DIU-B040(市販品)は [タイプ B] に設定してください。

- 5 本機の電源をオフにしてオンにする

ETC2.0 車載器が本機に設定されます。

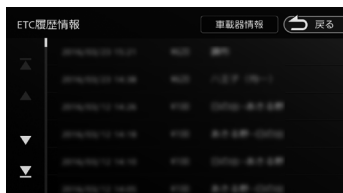
## ETC2.0 に関する設定をする

ETC2.0 に関する設定は 122 ページの「VICS 情報の表示設定をする」をご覧ください。

## ETC 履歴 / 車載器情報を見る

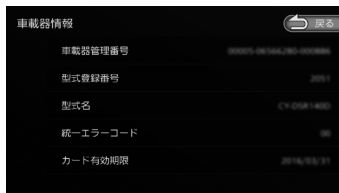
本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ETC] にタッチする



[車載器情報] :

車載器の情報を表示します。



- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カードの挿入時のみ表示されます。
- ETC 履歴表示中は ETC カードを抜かないでください。

## 信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内

本機に別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を受信することができます。

本機は、受信した情報によって、以下の3つの信号情報案内に対応しています。

- 信号通過支援案内
- 赤信号減速支援案内
- 発進遅れ防止支援案内



- ・ 本機の信号情報案内は、あくまで補助的な機能です。
  - あらゆる状況において作動するものではありません。
  - 実際の信号機の点灯状況と異なる場合は、信号機の表示にしたがってください。
- ・ 車両を運転する際は、信号情報案内を過信せず、常に道路標識、前方の信号表示、周囲の道路状況に注意し、交通ルールに基づいて安全な運転を心がけてください。

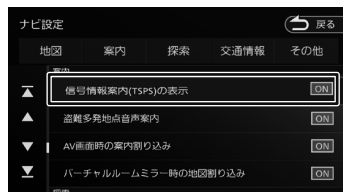
### 信号情報案内利用上のご注意

- ・ 光ビーコンは主に一般道に設置されていますが、すべての光ビーコンで信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を提供しているわけではありません。詳しくは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
  - 情報を提供している道路であっても、工事や情報配信元の事情により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。
  - 押しボタン式信号、感应式信号など、情報提供区間であっても、情報が提供されない交差点があります。
- ・ 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報は、光ビーコンを通過した時点でのものです。このため、その後の状況の変化により、信号情報案内と実際の信号機の点灯内容が異なる場合があります。
  - 案内する交差点の手前に押しボタン式信号、感应式信号がある場合、表示するタイミングがずれる事があります。
  - 渋滞など、道路の通行状況が変化した場合、表示するタイミングがずれる事があります。

- ・ 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報には有効期限があります。このため情報を受信してから一定時間が経過すると、有効期限を過ぎてしまい、次に情報を受信するまで信号情報案内ができなくなります。
- ・ 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の概念や整備計画については、VICS センターにお問い合わせください。
- ・ 本機から光ビーコンへ、走行軌跡の情報がアップリンクされます。この情報は、交通状況を把握するためのもので、個人の情報を特定するものではありません。信号情報案内の表示を Off に設定するとアップリンクされなくなります。
- ・ 以下の場合には光ビーコンからの信号の受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

### 信号情報案内の設定をする

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする
- 3 「案内」の [信号情報案内 (TSPS) の表示] にタッチする



- [ON] :  
信号情報案内を行います。
- [OFF] :  
信号情報案内を行いません。



## 地図に表示される信号情報案内

本機のHOME画面と現在地図画面で、前方の交差点を直進方向に進行すると想定して、信号情報案内を行います。



- ルート案内中で、右左折を案内する交差点については案内を行いません。
- 矢印信号については、信号機の点灯状況と異なる案内をする、または案内が動作しない場合があります。
- 信号情報案内が可能になったときに、対象となる交差点までの距離が近い場合は、案内を行わない場合があります。

交差点を通過すると、信号情報案内を終了します。ひきつづき信号情報案内が可能な交差点がある場合は、案内を続けます。

### ■ 支援状態の表示

信号情報活用運転支援システムの情報を光ビーコンから受信すると、画面に「支援エリア」と表示されます。



信号情報案内可能な交差点に近づくとき、表示が「支援中」に切り替わります。



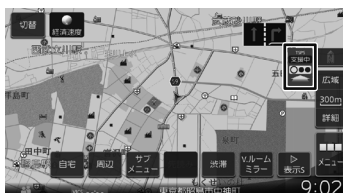
信号情報案内する情報が無くなった場合は、「支援中」または「支援エリア」の表示が消えます。

### ■ 信号通過支援 / 赤信号減速支援

現在の速度のまま交差点に近づいたときの前方の交差点の信号状態を予測して表示します。

#### 青信号になるとき：

信号通過支援案内を表示します。



#### 赤信号になるとき：

赤信号減速支援案内を表示し、「この先、赤信号です」と音声案内します。交差点に接近する、または減速すると、表示が消えます。



- 表示を開始するのは、交差点のおよそ200m手前ですが、その間に信号があるときは表示されないことがあります。
- 高速走行時、低速走行時は案内を行わない場合があります。

### ■ 発進遅れ防止支援

交差点を赤信号で停車したとき、おおよその信号待ち時間を表示します。



信号待ち時間が5秒以下になると、表示が切り替わり「まもなく青信号です」と音声案内します。交差点が青信号になると、表示が消えます。



- 交差点より一定距離以上離れている場合は、発進遅れ防止支援の案内を行いません。
- 一度交差点の前で停車しないと、発進遅れ防止支援の案内を行いません。

# フロント/リアビューカメラを使う

## カメラを設定する

本機は、フロントビューカメラまたはリアビューカメラを接続することができます。フロントビューカメラには CMOS-320(別売品)、リアビューカメラには、CMOS-C740HD(別売品)、CMOS-230(別売品)、CMOS-230W(別売品)、CMOS-C320(別売品)、CMOS-C230(別売品)、CMOS-C230W(別売品)が接続できます。



- フロントビューカメラを接続する場合は、別売の AV 入力/出力用ケーブル KNA-17AV が必要です。
- フロントまたはリアビューカメラは、それぞれ 1 台ずつ本機に接続できます。
- フロントカメラを接続すると、本機の AV-IN は使用できません。

## フロントビューカメラ接続設定

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 [AV] の [AV-IN 接続機器] にタッチする
- 4 [汎用フロントカメラ] または [専用フロントカメラ] にタッチする



### [汎用フロントカメラ] :

市販のフロントカメラを接続しているときに選択します。

### [専用フロントカメラ] :

CMOS-320(別売品)を接続しているときに選択します。

## リアビューカメラ接続設定

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「カメラ」の [リアカメラ接続] にタッチする



- 4 接続しているカメラにタッチする



### [汎用カメラ] :

CMOS-230(別売品)、CMOS-230W(別売品)、CMOS-C230(別売品)、CMOS-C230W(別売品)または市販のカメラを接続しているときに選択します。

### [専用カメラ(コントロール機能付)] :

CMOS-C320(別売品)を接続しているときに選択します。

### [HDカメラ]

CMOS-C740HD(別売品)を接続しているときに選択します。

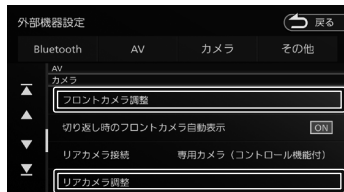
## CMOS-320/CMOS-C320 のカメラ設定をする

CMOS-320/CMOS-C320（別売品）を接続したときは、本機の画面上で CMOS-320/CMOS-C320（別売品）のカメラ設定ができます。



- CMOS-320/CMOS-C320（別売品）のカメラ設定を行うには、本機に CMOS-320/CMOS-C320（別売品）を接続し、カメラの接続設定を「専用カメラ」に設定する必要があります。（→ P.170）

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチして **MENU** 画面を表示する
- 2 **[情報・設定]** にタッチして **[外部機器]** にタッチする
- 3 **[カメラ]** の **[フロントカメラ調整]** (CMOS-320) または **[リアカメラ調整]** (CMOS-C320) にタッチする



CMOS-320/CMOS-C320（別売品）の設定画面が表示されます。

設定方法については、CMOS-320/CMOS-C320（別売品）の取扱説明書をご覧ください。

## フロントビューカメラの映像を表示する

本機に接続したフロントビューカメラの映像を表示します。



- HOME 画面または現在地図画面に表示される **[カメラ]** は車両の速度が約 15km/h 以下になると、押せるようになります。フロントビューカメラの映像は、車両の速度が約 20km/h 以上になると自動で解除されます。速度については実際の速度表示と異なります。あくまで目安です。
- リアビューカメラ接続時は、リアビューカメラ表示後、シフトレバーを“R”以外にすると、フロントビューカメラが表示可能な状態であれば、自動的にフロントビューカメラの映像を表示します。自動で表示しないようにすることもできます。（→ P.148）

- 1 **[HOME]** または **[MAP/AV]** を押して **[カメラ]** にタッチする



フロントビューカメラの映像が表示されます。

## フロントビューカメラ操作ボタンを使う

フロントビューカメラ映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



**[ビュー] :**  
フロントビューカメラの視点を切り替えます。  
(CMOS-320 接続時のみ)

**[ガイド線] :**  
フロントビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチするとガイド線が消えます。  
(CMOS-320 接続時のみ)

**【上位置】 / 【下位置】 :**

警告文の表示位置を変更します。

**【戻る】 :**

フロントビューカメラの映像を表示する前の画面に戻ります。

**【非表示】 :**

フロントビューカメラ操作ボタンを消します。

**【映像調整】 :**

フロントビューカメラ映像の画質を調整します。(→ P.81)

**リアビューカメラの映像を表示する**

本機に接続したリアビューカメラの映像を表示します。カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。

- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところで停車してから操作してください。

**1 シフトレバーを“R”(リバース)にする**



リアビューカメラの映像が表示されます。



- シフトレバーを“R”(リバース)にしてもリアビューカメラの映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。

**リアビューカメラ操作ボタンを使う**

リアビューカメラ映像にタッチすると、リアビューカメラ操作ボタンが表示されます。



**【ビュー】 :**

リアビューカメラの視点を切り替えます。(CMOS-C320 接続時のみ)

**【ガイド線】 :**

リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

**【上位置】 / 【下位置】 :**

警告文の表示位置を変更します。

**【非表示】 :**

リアビューカメラ操作ボタンを消します。

**【映像調整】 :**

リアビューカメラ映像の画質を調整します。(→ P.81)

**【リアレコ】**

ドライブレコーダー(リア用) DRV-R530(別売品)を接続し、外部機器設定の【その他】—【サブリアカメラ】を「ON」に設定しているとタッチできるようになります。(→ P.148) タッチするとサブリアカメラの映像に切り替わります。(→ P.176)



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。
- 警告文は位置を切り替えることはできません、消すことはできません。

## リアビューカメラのガイド線を調整する

リアビューカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。ガイド線の調整方法は、接続しているカメラによって異なります。

### CMOS-C320（別売品）を接続している場合

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「カメラ」の [リアカメラ調整] にタッチする



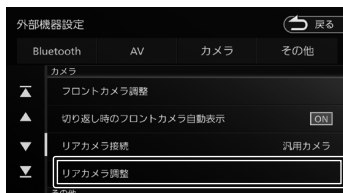
CMOS-C320（別売品）の設定画面が表示されます。

設定方法については、CMOS-C320（別売品）の取扱説明書をご覧ください。

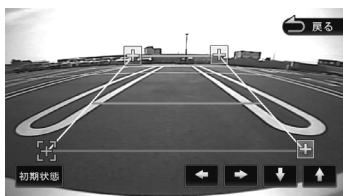
### 汎用カメラを接続している場合

汎用カメラとは、別売品の CMOS-C740HD、CMOS-230、CMOS-230W、CMOS-C230、CMOS-C230W または市販品のリアカメラです。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「カメラ」の [リアカメラ調整] にタッチする

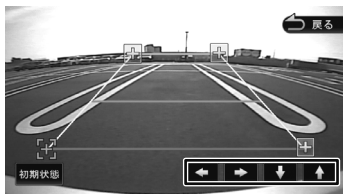


- 4 調整するカーソル (+) にタッチする



市販品を接続している場合にカメラの映像が表示されないときは、パーキングブレーキを引いて、シフトレバーを「R」（リバース）に入れてください。

- 5 ◀️/▶️/⬇️/⬆️ にタッチして、ガイド線の位置を調整します。



【初期状態】：

ガイド線の位置を初期状態に戻します。

# ドライブレコーダー を使う

本機にドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）、ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530（別売品）を接続すると手動録画や静止画記録のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。録画の画質の種類や録画時間／録画ファイル数など詳細は接続しているドライブレコーダー（別売品）の取扱説明書をご覧ください。



- ドライブレコーダーとETC車載器は同時に接続することができません。（ETC2.0車載器を除く）
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をONにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ドライブレコーダーが正しく接続されているかは、「接続情報」画面（→ P.16）で確認してください。
- 本機の電源をオンにしたときや設定メニューを表示したあと、ドライブレコーダー（リア用）の録画開始はドライブレコーダー（フロント用）より約1秒遅れて開始されます。

## ドライブレコーダー（リア用）の 接続設定

ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530（別売品）を接続したときは設定が必要です。ドライブレコーダー（フロント用）の接続設定はありません。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチしてMENU画面を表示する
- 2 **[ドライブレコーダー]** にタッチする



## 3 画面にタッチする

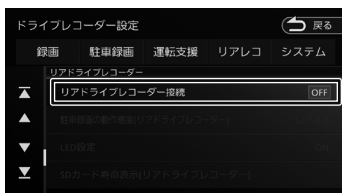


操作ボタンが表示されます。

## 4 [設定] にタッチする



## 5 「リアレコ」の「リアドライブレコーダー接続」にタッチして[ON]に設定する



## ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

- 1 **[HOME]** を押して **[メニュー]** にタッチしてMENU画面を表示する
- 2 **[ドライブレコーダー]** にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

# ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

## 1 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

## 画面の見かたと操作



- ① 録画モードと録画残時間  
(イベント記録 / 手動録画のみ表示)
- ② HDRが「ON」のときに表示 / 録画画質
- ③ 音声録音あり **音声** / なし **音消**
- ④ 自動静止画撮影 ON **ON** / OFF **OFF**
- ⑤ 保存ファイル数 (撮影可能ファイル数)

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[リア切替] / [フロント切替]	ドライブレコーダー (リア用) DRV-R530 (別売品) の映像に切り替えます。 / ドライブレコーダー (フロント用) DRV-N530 (別売品) の映像に切り替えます。 ドライブレコーダー (リア用) DRV-R530 (別売品) 接続時のみ表示されます。
[地図表示]	地図表示モード (現在地図画面) に切り替えます。
[設定]	ドライブレコーダー設定を表示します。(→ P.181)
[リスト]	録画ファイルリストを表示します。(→ P.177)
[録画]	手動録画を開始します。 手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。

ボタン	説明
[静止画]	静止画を撮影します。 押し続けると自動静止画連続撮影機能がオンになります。もう一度押し続けるとオフになります。
[映像調整]	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。(→ P.81)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[戻る]	1つ前の画面に戻ります。

## 地図表示モードに切り替える

### 1 [地図表示] にタッチする



地図表示モードに切り替わります。



### ■ ドライブレコーダーの映像に戻す

#### 1 ドライブレコーダー映像表示部分にタッチする



ドライブレコーダーの映像に切り替わります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

## サブリアカメラ映像を表示する

リアビューカメラの補助としてドライブレコーダー（リア用）の映像を表示する（サブリアカメラ）ことができます。

本機を起動中はこの機能は動作しません。表示するには事前に設定が必要です。

外部機器設定の [その他] - [サブリアカメラ] を「ON」に設定（→ P.148）してください。

### 1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

別売のリアビューカメラを接続しているときはリアビューカメラの映像を表示します。

リアビューカメラを接続していないときは、ドライブレコーダー（リア用）の映像を表示します。手順 2 と 3 の操作は不要です。手順 4 に進んでください。

### 2 画面にタッチして操作ボタンを表示する

### 3 [リアレコ] にタッチする



サブリアカメラの映像に切り替わります。



- サブリアカメラの映像にガイド線機能はありません。

### 4 画面にタッチして操作ボタンを表示する



**[上位置] / [下位置] :**

警告文の表示位置を変更します。

**[非表示] :**

操作ボタンを消します。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

**[映像調整] :**

サブリアカメラの画質を調整します。録画される映像には影響しません。（→ P.81）

**[リアカメラ] :**

リアビューカメラの映像を表示します。

**[ズーム] :**

映像中央が 1.6 倍に拡大した映像が表示されます。



- ズーム表示に切り替えると以下のようになります。
  - ドライブレコーダー（リア用）の常時録画は一旦停止し、すぐに再開します。ドライブレコーダー（フロント用）の常時録画は停止しませんが、切り替えたときに録画ファイルを分割します。
  - ドライブレコーダー（リア用）の録画映像は 1.6 倍に拡大して録画されます。
  - ドライブレコーダーが手動録画、イベント記録中は、ズーム表示できません。
  - イベント記録または手動録画をした場合は、[戻る] が表示されません。イベント記録または手動録画が終了すると表示されます。
- 録画ファイルの再生中にサブリアカメラ映像を表示させた場合は、再生を停止します。



## 録画ファイルを再生する

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチしてMENU画面を表示する
- 2 【ドライブレコーダー】にタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。

### 3 画面にタッチする

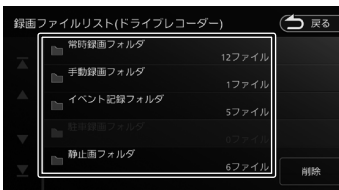


操作ボタンが表示されます。

### 4 【リスト】にタッチする



### 5 再生したい録画フォルダを選択する



【削除】については、179 ページの「フォルダごと削除する」をご覧ください。

- ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530（別売品）を接続しているときは、この画面で以下のボタンが表示されます。

#### 【同期切替】

ドライブレコーダー（リア用）とドライブレコーダー（フロント用）で同期している録画ファイルをリストから選択できます。

#### 【リア切替】

ドライブレコーダー（リア用）で録画したファイルをリストから選択できます。

#### 【フロント切替】

ドライブレコーダー（フロント用）で録画したファイルをリストから選択できます。

## 6 再生したいファイルを選択する



録画ファイルの再生が始まります。

地図表示モードで再生すると、再生中の録画ファイルの位置を地図で表示します。小画面にドライブレコーダーの映像が表示されます。映像表示モードは映像のみを表示してファイルに保護をかけたり、ズーム再生や映像調整などができます。

同期再生中はフロントとリアの映像を切り替えることができます。

再生音はフロントのみとなります。



- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、駐車録画時に本機からの位置情報を取得できていないため、録画された場所の地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーの【REC】ボタンによる手動録画もできません。
- ナビゲーションの【HOME】または【MAP/AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、リア/フロント切替、音量調整以外の操作はできません。
- ドライブレコーダー（フロント用）とドライブレコーダー（リア用）の同期録画開始は多少ずれる場合があります。

## 再生画面の見かたと操作

### 動画ファイル



- ① 再生状態表示
- ② 再生時間
- ③ HDRが「ON」のときに表示 / 録画画質
- ④ 録画モード
- ⑤ 保護されたファイルのときに「」を表示
- ⑥ ファイル名

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[フロント切替] / [リア切替]	フロント映像とリア映像を切り替えます。同期再生中は、同じ時刻に録画されたフロントまたはリアの映像に切り替わります。同期再生中以外は、同じ時刻に録画されたファイルを最初から再生します。
[地図表示]	録画された場所の地図を表示します。小画面に映像が表示されます。
🔊 / 🔊	再生音量を調整します。
▶ / ⏸	再生または一時停止します。
⏮ / ⏭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり、早送り / 早戻しします。</li> <li>・一時停止中にタッチするとコマ送り / コマ戻しします。</li> <li>・一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。</li> </ul>
⏮ / ⏭	再生中のファイルの先頭に戻ります。もう一度押すと前のファイルを再生します。 / 次のファイルを再生します。同期ファイル再生中は先頭に戻る以外は動作しません。
[削除]	再生しているファイルを削除します。
[保護] / [保護解除]	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを表示したときは、ファイル名の先頭に「」マークが表示されます。(→ P.179) ・常時録画ファイルは保護できないため、常時録画の再生時はこのボタンは表示されません。

[ズーム]	再生している映像を拡大表示します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.81)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[戻る]	1つ前の画面に戻ります。

### 静止画ファイル



- ① 再生状態表示
- ② 録画画質
- ③ 録画モード
- ④ 保護されたファイルのときに「」を表示
- ⑤ ファイル名

### ● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[フロント切替] / [リア切替]	同じ時刻に記録されたフロントまたはリアの静止画に切り替わります。
[地図表示]	録画された場所の地図を表示します。小画面に静止画が表示されます。
⏮ / ⏭	前のファイルに戻ります。 / 次のファイルを表示します。同期ファイルの静止画の表示画面では、次のファイルを表示するのみの操作になります。[⏮]は表示されません。
[削除]	表示しているファイルを削除します。
[保護] / [保護解除]	表示しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを表示したときは、ファイル名の先頭に「」マークが表示されます。(→ P.179)
[ズーム]	表示している静止画を拡大表示します。
[映像調整]	静止画の画質を調整します。(→ P.81)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[戻る]	1つ前の画面に戻ります。

## ファイルを保護する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。



- 常時録画ファイルは保護できません。
- 同期再生中は [保護] / [保護解除] できません。ボタンも表示されません。

### 1 保護したいファイルを再生して画面にタッチする

### 2 [保護] にタッチする



### 3 [はい] にタッチする



ファイル名の先頭に "🔒" マークが表示されます。

## ■ ファイル保護を解除する

### 1 保護されたファイルを再生して画面にタッチする

### 2 [保護解除] にタッチする



### 3 [はい] にタッチする

ファイル名の先頭の "🔒" マークが消えます。

## ファイルを削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。



- 同期ファイル再生中は [削除] できません。ボタンも表示されません。
- 保護されたファイルを削除するときは、先に保護を解除してから削除を行ってください。
- 走行中は、削除操作ができません。

## ■ ファイルを削除する

### 1 削除したいファイルを再生して画面にタッチする

### 2 [削除] にタッチする



### 3 [はい] にタッチする



再生中のファイルが削除されます。

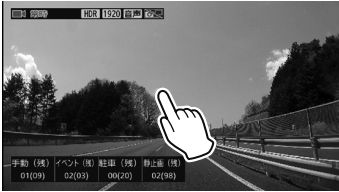
## ■ フォルダごとに削除する

### 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する

### 2 [ドライブレコーダー] にタッチする



### 3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

### 4 [リスト] にタッチする



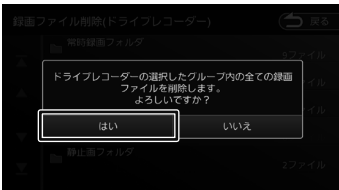
### 5 [削除] にタッチする



### 6 削除したいフォルダを選択する



### 7 [はい] にタッチする



選択したフォルダ内のファイル全てを削除します。

## ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定を行います。

- 1 【HOME】を押して【メニュー】にタッチしてMENU画面を表示する
- 2 【ドライブレコーダー】にタッチする



- 3 画面にタッチする



操作ボタンが表示されます。

- 4 【設定】にタッチする



- 5 各項目を設定する



- 設定中は、常時録画が停止します。また、イベント記録、手動録画、静止画記録もできません。ドライブレコーダーの【REC】ボタンによる手動録画もできません。
- ナビの【HOME】または【MAP/AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、設定操作ができません。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・  
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オフショーン

付録

● 録画

項目	設定	説明
録画画質	1280×720/ 1280×720(HDR)/ 1920×1080/ 1920×1080(HDR)*/ 2304×1296	録画する解像度を設定します。(HDR)に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。2304×1296にはHDR設定はありません。録画モード別に画質の設定はできません。
記録方式	映像+音声*/ 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	ドライブレコーダーから出力する音声ガイダンスや報知音などの音量を設定します。0(消音)/1(小)/2(標準)/3(大)
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	イベント記録を開始する、車両の衝撃検出感度を設定します。1(大きな衝撃で検知します)~3(標準)~5(小さな衝撃で検知します)
常時録画の1ファイル毎の録画時間	1分間/2分間/3分間*	常時録画(連続録画)の録画時間を設定します。録画時間毎にファイルを区切って録画します。
手動録画の録画時間	15秒間*/30秒間/ 1分間	手動録画を開始してからの録画時間を設定します。RECボタンを押す12秒前から録画されます。
イベント記録の録画時間	15秒間*/30秒間/ 1分間	車両の衝撃検知後の録画時間を設定します。衝撃検知した12秒前から録画されます。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
自動静止画連続撮影の撮影枚数	10ファイル/ 30ファイル*/ 50ファイル	自動静止画連続撮影機能で撮影する枚数を設定します。
自動静止画連続撮影の撮影間隔	1分/5分*/15分/ 30分	自動静止画連続撮影機能で撮影する間隔を設定します。

● 駐車録画

項目	設定	説明
駐車録画	ON*/OFF	駐車時(車両のエンジンキーOFF時)に、車両の衝撃を検知して、録画を開始するかどうかを設定します。
駐車録画の動作感度(ドライブレコーダー)	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。1(大きな衝撃で検知します)~3(標準)~5(小さな衝撃で検知します)
駐車録画開始時間設定(降車時)	OFF/30秒間*/ 1分間/3分間	エンジンをオフしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間設定(乗車時)	OFF/30秒間*/ 1分間/3分間	エンジンをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画の録画時間	10秒間*/20秒間/ 30秒間	衝撃検知後の駐車録画の録画時間を設定します。
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
駐車録画発生のお知らせ	ON*/OFF	駐車時(車両のエンジンキーOFF時)に、駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに音声と画面に表示してお知らせします。「OFF」に設定するとお知らせしません。

## ● 運転支援

項目	設定	説明
前方衝突警告	ON/OFF*	自車と前方車両との距離を検出して、安全な距離が保たれていない場合に、前方車両との接触事故を防ぐため報知音と現在地図画面に表示して通知します。約 30km/h 以上で動作します。
車線逸脱警告	ON/OFF*	走行している車線を検出して、現在の車線からはみだしを報知音と現在地図画面に表示して通知します。約 60km/h 以上で動作します。
発進遅れ警告	ON/OFF*	自車が前方車両の後ろに停止した後、前方車両が発進したときに、自車の発進の遅れを報知音と現在地図画面に表示して通知します。自車が後退しているときなどにも通知する場合があります。
運転支援機能の検出範囲設定		運転支援機能を使用する場合は、車両に合わせてドライブレコーダーから見える地平線やボンネットの先端位置を設定します。(→ P.184)
取付高さ設定	1.2m*/1.35m /2m	運転支援機能を使用する場合は、ドライブレコーダーを取り付けた路面からの高さを設定します。(→ P.184)

## ● リアレコ（ドライブレコーダーリア用）

項目	設定	説明
リアドライブレコーダー接続	ON/OFF*	ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530（別売品）を接続時は「ON」に設定します。「ON」に設定すると、リアドライブレコーダーの項目が設定できるようになります。
駐車録画の動作感度（リアドライブレコーダー）	レベル 1/2/3*/4/5	ドライブレコーダー（リア用）駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。 1（大きな衝撃で検知します）～ 3（標準）～ 5（小さな衝撃で検知します）
LED 設定	ON*/OFF/AUTO	ドライブレコーダー（リア用）のインジケータを点灯する（ON）かしない（OFF）または、車両のライトスイッチと連動（AUTO）にするかを設定します。
SD カード寿命表示（リアドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530 に付属の SD カードまたは別売のケンウッド製 SD カードを使用していると SD カードの寿命（目安）を表示します。
バージョン情報（リアドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530 のファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新（リアドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530 のファームウェアを更新します。 (→ P.186)
SD カード初期化（リアドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530 の全てのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。(→ P.185)
チャイルドロック	ON/OFF*	「ON」に設定するとドライブレコーダー（リア用）DRV-R530 の「POWER」ボタン以外のボタンが効かなくなります。

## ● システム

項目	設定	説明
SD カード寿命表示（ドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 に付属の SD カードまたは別売のケンウッド製 SD カードを使用していると SD カードの寿命（目安）を表示します。
バージョン情報（ドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 のファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新（ドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 のファームウェアを更新します。 (→ P.186)
SD カード初期化（ドライブレコーダー）		ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 の全てのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。(→ P.185)
設定の初期化		ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 とドライブレコーダー（リア用）DRV-R530 の設定を初期化します。

\*: お買い上げ時の設定です。

## 運転支援機能の設定をする

運転支援機能を使用する場合は、ドライブレコーダー（フロント用）を取付車両に合わせて、路面からの取付高さ、地平線の位置、ボンネットの先端の位置を設定する必要があります。

運転支援機能についての詳細は、接続しているドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）の取扱説明書をご覧ください。

- 1 見通しの良い、平らな安全な場所に車を停車させてください。
- 2 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 3 [ドライブレコーダー] にタッチする



- 4 画面にタッチする  
操作ボタンが表示されます。
- 5 [設定] にタッチする



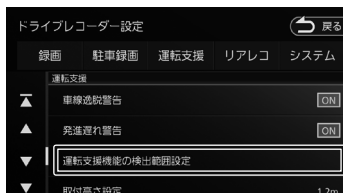
- 6 「運転支援」の「取付高さ設定」にタッチする



- 7 路面から最も近いドライブレコーダーの高さを選択する



- 8 [運転支援機能の検出範囲設定] にタッチする



- 9 ドライブレコーダーの取り付け角度を調整して固定する

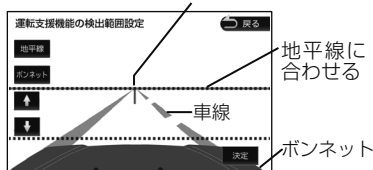
取り付け角度の調整

上下方向は、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率を同じにします。

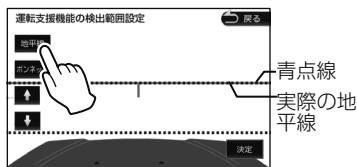
左右方向は、中央の縦線（赤線）を走行車線の中心に合わせます。

調整イメージ図

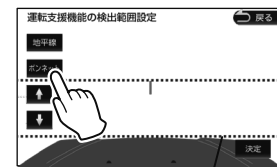
走行車線の中心に合わせる（赤線）



- 10 [地平線] にタッチして、青点線を [↑]/[↓] で実際の地平線に合わせて微調整する



- 11 [ボンネット] にタッチして、白点線を [↑]/[↓] でボンネットの先端に合わせて [決定] にタッチする



ボンネット（白点線）

ボンネットの先端が映像に表示されない場合は、白点線を画面の一番下まで下げてください。



## SD カードをフォーマットする

SD カードに関するエラーが発生する場合は、フォーマットを行ってください。



- ドライブレコーダー以外ではSDカードのフォーマットを行わないでください。
- SDカードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチしてMENU 画面を表示する
- 2 [ドライブレコーダー] にタッチする



- 3 画面にタッチする



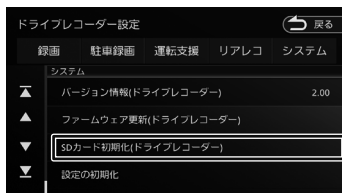
操作ボタンが表示されます。

- 4 [設定] にタッチする

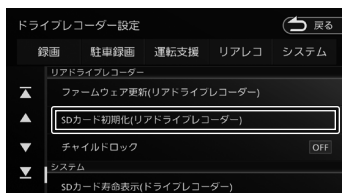


## 5

- 5 ■ ドライブレコーダー (フロント用)  
「システム」の [SD カード初期化 (ドライブレコーダー)] にタッチする



- 5 ■ ドライブレコーダー (リア用)  
「リアレコ」の [SD カード初期化 (リアドライブレコーダー)] にタッチする



- 6 [はい] にタッチする



SD カードを初期化します。

## システムを更新する

ドライブレコーダーのシステムファームウェアを更新します。  
 アップデートに関する情報は、当社ホームページ  
<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>  
 にアクセスして型名を選んでください。



- ・ドライブレコーダーのバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合、SDカードを挿入してもアップデートは行われません。

- SDカードをドライブレコーダーから取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> にアクセスして型名を選んで、アップデートファイルをSDカードにコピーする
- SDカードをパソコンから取り出し、ドライブレコーダーに挿入する
- [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- [ドライブレコーダー] にタッチする



- 画面にタッチする



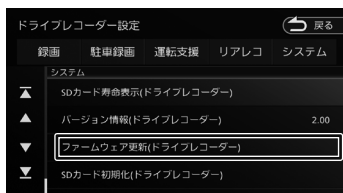
操作ボタンが表示されます。

- [設定] にタッチする

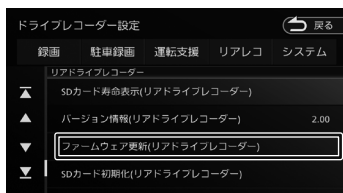


- 

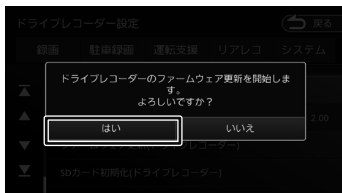
- **ドライブレコーダー（フロント用）**  
 「システム」の「ファームウェア更新（ドライブレコーダー）」にタッチする



- **ドライブレコーダー（リア用）**  
 「リアレコ」の「ファームウェア更新（リアドライブレコーダー）」にタッチする



- [はい] にタッチする



ファームウェアをアップデートします。

# バーチャルルーム ミラー機能を使う

リアウィンドウが小さい車や、後部座席に荷物を積んでいるなど、ルームミラーでの後方確認ができない場合などに、HOME 画面と現在地図画面から後方の映像を表示することができます。

表示するには、事前に設定が必要です。外部機器設定の [ その他 ] - [ バーチャルルームミラー ] を [ ON ] に設定 (→ P.148) してください。

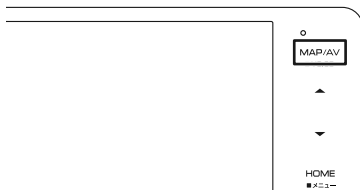
## 現在地図画面から表示する

### 1 【MAP/AV】を押す

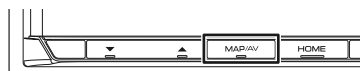
MDV-M906HDL



MDV-M906HDW



MDV-M906HD



### 2 【V. ルームミラー】にタッチする



バーチャルルームミラーの映像が表示されます。

### 3 画面にタッチして操作ボタンを表示する



接続機器

リアドライブレコーダー / リアカメラ

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の [非表示] でも消すことができます。

【戻る】：

現在地図画面に戻ります。

【非表示】：

操作ボタンを消します。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

【映像調整】：

バーチャルルームミラー映像の画質を調整します。(→ P.81)

【拡大】/【縮小】：

表示する映像を等倍 (x1)、拡大 (x1.2/x1.4/x1.6) することができます。拡大した後縮小にタッチすると等倍 (x1) までタッチするたびに切り替わります。

【切替】：

別売のドライブレコーダー (リア用) と別売のリアカメラの両方を接続しているときに表示されます。バーチャルルームミラーの映像をそれぞれ切り替えることができます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

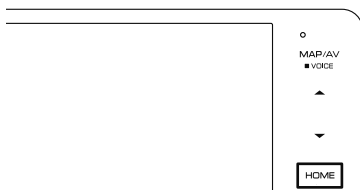
## HOME 画面から表示する

### 1 [HOME] を押す

MDV-M906HDL



MDV-M906HDW



MDV-M906HD



### 2 [V. ルームミラー] にタッチする



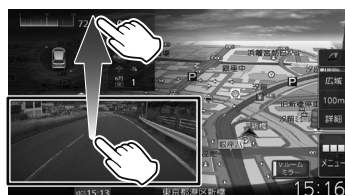
バーチャルルームミラーの映像が表示されます。



表示エリアの大きさは INFO エリアのサイズに変更することができます。(→ P.34)

### ■ バーチャルルームミラー画面を全体に表示させる

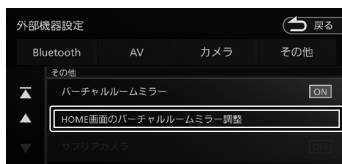
#### 1 画面の上方向いっぱいまでドラッグする



### ■ HOME 画面のバーチャルルームミラーエリアに表示する映像を調整する

[バーチャルルームミラー] 設定 (→ P.148) が [OFF] のときは設定できません。

- 1 [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「その他」の [HOME 画面のバーチャルルームミラー調整] にタッチする



#### 4 表示位置または表示の大きさを調整する



#### [拡大]/[縮小] :

表示する映像を等倍 (x1)、拡大 (x1.2/x1.4/x1.6) することができます。拡大した後には縮小にタッチすると等倍 (x1) までタッチするたびに切り替わります。

#### [↑]/[↓] :

HOME 画面に表示させる位置に枠をあわせると枠内の映像が表示されるようになります。

#### [切替] :

別売のリアカメラと別売のドライブレコーダー (リア用) DRV-R530 の両方接続して、リアカメラの接続設定が [なし] 以外に、[リアドライブレコーダー接続] が [ON] に設定されていると表示されます。タッチしたのと同時に表示倍率と枠の位置をそれぞれ記憶します。

# リアモニターを使う

本機にリアモニター LZ-900 (別売品) (アナログ VIDEO OUT) または HDMI 出力対応機器を接続すると、本機の映像をリアモニターに表示することができます。



- リアモニターは走行中でも映像が表示されます。リアモニターは運転者から見えないうちに設置してください。

## リアモニターに表示できる映像について

### ソース

DISC : DVD-Video/DVD-VR

USB : ビデオファイル

SD : ビデオファイル

AV マルチブラウザ : ビデオファイル

AV-IN の映像

地デジ



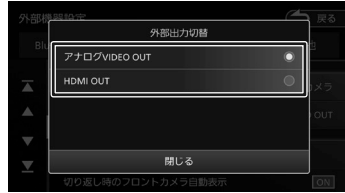
- AV-IN の映像は、[外部出力切替] の設定が [アナログ VIDEO OUT] のときのみ表示できます。
- 本機で再生できるビデオファイルについては 202 ページをご覧ください。

## 外部出力の切り替え設定をする

- [HOME] を押して [メニュー] にタッチして MENU 画面を表示する
- [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- [AV] の [外部出力切替] にタッチする



## 4 切り替えたい外部出力にタッチする



### [アナログ VIDEO OUT] :

アナログ VIDEO OUT で映像を見るときに選択します。

### [HDMI OUT] :

HDMI 出力で映像を見るときに選択します。

## ■ HDMI 機器と本機の接続について

HDMI 機器を接続したときに、外部機器設定画面で「HDMI 検出中」と表示されたときは、以下の原因が考えられます。

- 接続機器の電源が入っていない
- 接続機器の設定が HDMI 入力可能な設定になっていない
- 接続機器が HDCP (HDCP とは不正コピーを防止する暗号化技術の 1 つです) に対応していない可能性がある

## ■ HDMI の出力について

HDMI 入力端子があるリアモニター (市販品) を接続している場合に、DVD ビデオまたは DVD-VR を再生中に、本機を以下の画面に切り替えると、リアモニターへの映像出力を停止します。

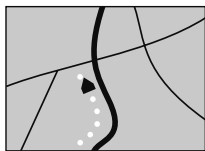
- リアカメラ映像画面
- サブリアカメラ映像画面 (ドライブレコーダーをサブリアカメラとして設定しているとき)
- フロントカメラ映像画面、フロントカメラ調整画面、リアカメラ調整画面、パーチャルルームミラー画面、ドライブレコーダー画面に切り替えたときは、確認メッセージが表示され、[はい] にタッチすると切り替えたい画面に切り替わり、リアモニターへの映像出力を停止します。[いいえ] にタッチすると切り替えたい画面に切り替わりません。
- 上記の出力が停止する画面以外を表示すると、映像が出力されるようになります。

# 自車位置の測位精度について

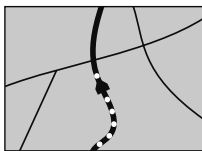
## マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

## 準天頂衛星「みちびき」について

本機は準天頂衛星「みちびき」の受信に対応しています。

従来のGPS衛星からの信号に加え、「みちびき」からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

## GLONASS について

本機は測位システムGLONASSの受信に対応しています。

GPS衛星のみの受信に比べ、より測位しやすくなります。

## 自律航法とは

車速パルスと内蔵の6軸センサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向を6軸センサーで検出して、GPSで測位できない状況でも現在地を割り出します。

## 6軸センサーについて

本機には6軸センサー（3軸ジャイロセンサー+3軸加速度センサー）を内蔵しています。

上下/左右/回転方向のセンサーが独立しているため、互いの影響を受けずに精度の高い角速度/加速度の測定が可能です。

## 高測3Dジャイロについて

内蔵の6軸センサーによって、自車の傾斜や高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。高さ情報があるのは、高速道路/国道/県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

## 誤差について

本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

### ■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。
  - トンネルの中やビル内の駐車場
  - 2層構造の高速道路の下
  - 高層ビルの群衆地帯
  - 密集した樹木の間
- 2) GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
- 3) 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位はできません。

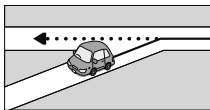
### GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

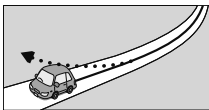
## その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合



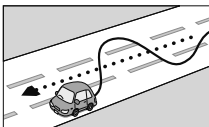
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



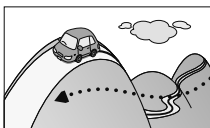
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



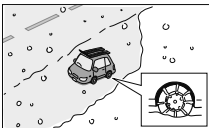
蛇行運転をした場合



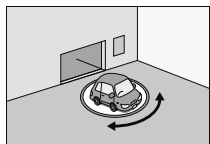
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



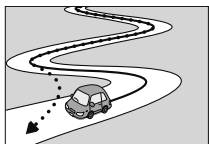
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



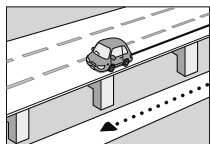
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



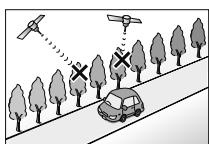
ヘアピンカーブが続いた場合



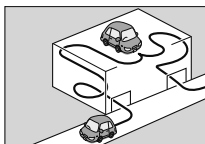
高速道路と側道などが隣接している場合



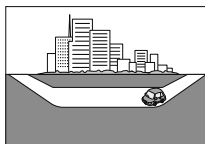
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



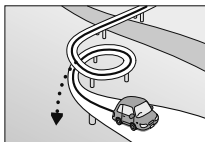
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



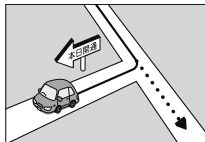
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



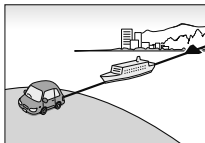
ループ橋などを走行した場合



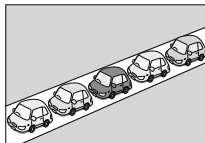
地図データにはない、新設道路を走行した場合



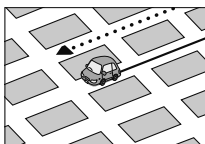
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



暮盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをつけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

## 低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

## 地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

# 地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。


記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		マリーナ		テーマパーク		灯台
	都道府県庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	市特別区庁舎		城跡		展望タワー		スマート IC
	町村指定都市区庁舎		神社		温泉		その他の目的物
	官庁公共施設		寺院		山頂		NTT
	警察		教会		自衛隊		サーキット
	消防		海水浴場		墓地		テニスコート
	学校		ゴルフ場		ボウリング場		ディスカウントストア
	郵便局		スキー		サッカー		ビルアパート名称
	病院		キャンプ		競馬場ウインズ		道の駅
	デパート/スーパー		遊園地		大学		ヘリポート
	カー用品店		動物園		短大		乗馬
	IC		公園		高専		体育館
	SA		ホテル		高校		牧場
	PA		スタジアム		中学校		自動車学校
	パーキング		スポーツ施設		小学校		トンネル
	工場		植物園		その他学校		船着場（観光船等）
	飛行場		美術館		保健所		野球場
	フェリー		博物館		税務署		展望台
	港		水族館		発電所		
	料金所		図書館		裁判所		

















- 表示される記号またはマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。



- サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) などハイウェイモードのときに表示されるマークです。

記号	名称
	IC
	スマート IC
	SA
	PA
	JCT
	IC/JCT (併設)
	IC/SA (併設)
	IC/PA (併設)
	SA/JCT (併設)
	PA/JCT (併設)
	料金所

- サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) の設備は、以下のマークになります。

記号	名称
	スマート IC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	障害者用トイレ
	ATM
	トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・  
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オプション

付録

# 地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第 44 条に基づく成果使用承認）[2018 年 3 月発行データ使用]
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分 1 国土基本図を使用した。（承認番号 平 26 情使、第 74 号 -46 号）
- このデータは、国土地理院の技術資料 C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成 26 年 12 月 10 日撮影）」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。（承認番号 平 27 情使、第 199 号 -46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 27 情使、第 308 号 -46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の応急復旧対策基図を使用した。（承認番号 平 28 情使、第 1121 号 -46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。（承認番号 平 28 情使、第 1122 号 -46 号）
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。  
URL : [http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2018\\_2.pdf](http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2018_2.pdf)

## 交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2018 年 3 月現在のもので、本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

## 駐車場データについて

- 駐車場データは、2018 年 10 月 1 日まで対応しています。但し、2018 年 5 月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。

## タウンページデータ / ハローページデータについて

- タウンページデータは、NTT タウンページ株式会社が提供する 2018 年 3 月現在のデータを収録しています。
- 訪問宅（個人宅）電話番号データ（ハローページデータ）は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax@」2018 年 3 月現在のデータを収録しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

## 住所データについて

- 住所データについては 2018 年 4 月時点の住所マスターデータを使用しています。
- 市区町村合併については、2018 年 10 月 1 日施行分まで対応しています。但し、2018 年 4 月時点で取得できた情報までに限ります。

## 郵便番号データについて

- 郵便番号データは、2018 年 4 月時点のデータを使用しています。
- 大口事務所・私書箱については、2018 年 4 月時点のデータを使用しています。

## 料金データについて

- 高速道路（有料道路を含む）料金データは、2018 年 3 月調査で 2018 年 10 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

## 放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは 2019 年 1 月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数（チャンネル）変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

## 施設情報および個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。

# ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

## ■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017(一般財団法人)日本デジタル道路地図協会  
©2018 INCREMENT P CORPORATION

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および / または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

## 【使用許諾契約書】

### 第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

### 第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

### 第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

### 第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

### 第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

### 第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

### 第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

### 第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

### 第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

### 第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他の一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

### 第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

### 第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

## ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づきソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についての質問は答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は「情報・設定」－「システム」－特別内の「オープンソースライセンス」です。

## VICS について

### VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関する場合は JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関する場合は VICS センターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）

<問い合わせ先>

VICS センター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号（全国） 03-3562-1719

- VICS の最新情報について

VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

### VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設定等により道路交通状況が変化する場合、VICS リンクの追加や変更を行う、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

# VICIS 情報有料放送サービス契約約款

## 第1章 総則

### (約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICIS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICIS 情報有料放送サービスを提供します。

### (約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICIS 情報有料放送サービス契約約款によります。

### (用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICIS サービス  
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICIS サービス契約  
当センターからVICIS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者  
当センターとVICIS サービス契約を締結した者
- (4) VICIS デスクランブラー  
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

## 第2章 サービスの種類等

### (VICIS サービスの種類)

第4条 VICIS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス  
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス  
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重量型サービス  
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重量表示する形態のサービス

### (VICIS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICIS サービスを提供します。

## 第3章 契約

### (契約の単位)

第6条 当センターは、VICIS デスクランブラー1台毎に1のVICIS サービス契約を締結します。

### (サービスの提供区域)

第7条 VICIS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICIS サービスを利用することができない場合があります。

### (契約の成立等)

第8条 VICIS サービスは、VICIS 対応FM受信機(VICIS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができますものとします。

### (VICIS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICIS サービスの種類に対応したVICIS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICIS サービスの種類の変更を行うことができます。

### (契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

### (加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICIS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICIS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICIS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

### (当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICIS サービス契約を解除することができます。

また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICIS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICIS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICIS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## 第4章 料金

### (料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICIS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## 第5章 保守

### (当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICIS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

### (利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICIS サービスの利用を中止することができます。

2. 当センターは、前項の規定によりVICIS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。  
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。  
2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300円 (税抜き)  
ただし、車載機購入価格に含まれております。

# メディアおよびファイルについて

## ご使用上の注意事項

- USB機器やSDカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

## 本機で再生できるディスクメディア

### ● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	—
	DVDオーディオ	×	—
	DVD-R	○	VRモード対応 (DVD-R/RWのみ) CPRM対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
DVD-R DL (2層)	○		
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応 MQA-CD再生対応
	CD-ROM	○	
	CD-R	○	
	CD-RW	○	パケットライト非対応
	DTS-CD	×	—
	ビデオCD、 スーパー ビデオCD	×	—
	フォトCD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
その他	CCC	×	—
	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオ CD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます

△：一部のみ再生できます

×：再生できません

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター (VICSセンター) の技術が用いられています。

## 再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/  
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

## 使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

## ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

## DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。

DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

## ● DVD ディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどの DVD プレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大 8 つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32 国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されているれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

DVD は、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



禁止マーク

## 本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

\*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

\*2：この他のファイルシステム（NTFS 等）には対応していません。

- SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

## SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32、または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。



- 全てのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 本機で再生できるUSB機器

規格	USB 1.1/USB 2.0*1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A以下 (USBケーブル接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

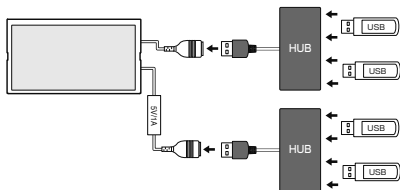
- \*1：USB3.0には対応していません。  
 \*2：使用するUSBデバイスがUSBマストレージクラスに対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。  
 \*3：この他のファイルシステムには対応していません。

## USB機器使用上のご注意

- 接続したUSBデバイスは運転の支障とならないように設置してください。全てのUSBデバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- セキュリティ機能付きのUSBデバイスは使用できません。
- USB規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USBデバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- USBデバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

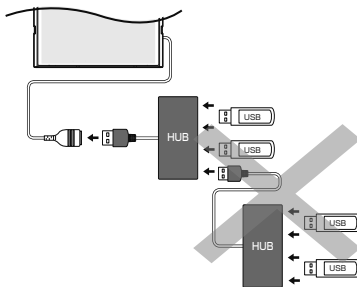
## USBハブの使用について

- 本機では、1本のUSBケーブルに対し1台のUSBハブを接続して、最大4つ（パーティション含む）のUSBデバイスを接続できます。

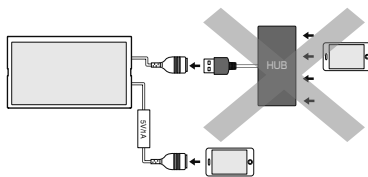


ただし、すべての接続機器の動作を保証するものではありません。

- USBハブはUSBケーブル1本につき2台以上接続しないでください。



- 消費電流の大きい機器をUSBハブに接続すると動作しない場合があります。この場合はUSBケーブルに直接接続してください。
- USBハブを使って接続するときは、USBハブを本機のUSBケーブルに接続してから、USB機器をUSBハブに接続してください。
- iPhone/iPodはUSBハブを介した接続ができません。USBケーブルに直接接続してください。



## ハイレゾ音源について

- 本機は、以下のハイレゾ音源ファイルの再生に対応しています。
  - ・ コーデック：FLAC/WAV
    - サンプル周波数：96kHz、量子化ビット数：24bit
    - サンプル周波数：192kHz、量子化ビット数：24bit
- ハイレゾ再生をお楽しみ頂くには、接続される機器（スピーカー等）もハイレゾ再生可能な製品が必要となります。

## 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

メディア		CD	DVD	USB	SD
コーデック					
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
	DSD	×	×	○	○
	MQA	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

### 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権所有者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

### MQA について

MQA はスタジオでの音をほぼそのままの音質で聴くことを可能にするテクノロジーです。

オリジナル音源を余さずとらえます。サイズが小さいのでダウンロードやストリーミングに最適です。

本機は、MQA ファイルをスタジオクオリティで再生出来ます。

画面上の MQA ロゴの隣に青色のインジケーターが点灯すると、プロデューサーまたはアーティストが承認した MQA スタジオファイルが再生されていることとなります。

## オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	Vorbis
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7, 8, 9)	MPEG2/4 AAC LC, HE-AAC (V1.V2)	vorbis
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.ogg
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit
ビットレート	8～320kbps, VBR	8～320kbps	8～320kbps, VBR	-
サンプリング周波数	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～48kHz
タグ	ID3 タグ ver1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (ID3v2の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/Professional/Lossless/Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

	FLAC	WAV	DSD	MQA
対応形式	flac	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)	DSF DSDIFF	MQA/MQA Studio
拡張子	.flac, .fla	.wav	.dsf, .dff	.flac, .fla, .wav
量子化ビット数	16bit/24bit	16bit/24bit	1bit	16bit/24bit
ビットレート	-	-	-	-
サンプリング周波数	16k～192kHz*1	16k～192kHz*1	2.8MHz, 5.6MHz, 11.2MHz	44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384kHz*2
タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ	ID3v2.3	Vorbis Comment タグ (.flac, .fla) RIFF LIST タグ (.wav)
その他	圧縮レベル:0～8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	PCM 変換再生	マルチチャンネルは非対応

\*1 : CD メディアは 48kHz まで対応。

\*2 : 352.8kHz は 176.4kHz 相当、384kHz は 192kHz 相当で再生します。

※ タグの文字数は全角 128 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ 本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オフライン

付録

## ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイル コンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプル プロファイル			ベースラインプロファイル、 メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声 コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC		WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピクチャ サイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレーム レート	30fps			30fps				30fps	
最大ビット レート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをすることがあります。

## (1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名 全角 80 文字 ( 拡張子は除く )

フォルダ名 全角 80 文字

※ ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。

ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、\*、?、"、<、>、|

ファイルには正しく拡張子を付けてください。

ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

## (2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999

ディスク内の最大ファイル数：5000

- ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。
- フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。

USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：9999

1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

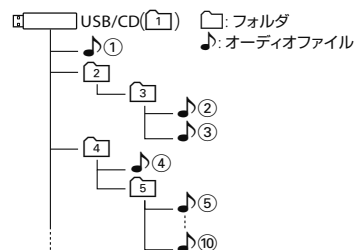
- フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。ただし、制限内でもフォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

### (3) 再生する順番について

ファイル名の昇順

ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。

下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



### (4) ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・  
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オプション

付録

## Bluetooth について

### Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)  
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)  
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP\* (高度オーディオ配信プロファイル)  
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。  
\* SCMS-T 対応  
(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)
- AVRCP (オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)  
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)  
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。
- PAN (パーソナルエリアネットワークプロファイル)  
小規模ネットワークを実現するためのプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.4.1 準拠



- .....
- ・動作を確認した携帯電話機については URL をご覧ください。  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
  - ・Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- .....

### 対応コーデック

LDAC™/SBC/AAC

## iPod について

### 本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

- iPod touch (6th generation)
- iPhone X
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- 音楽再生のみに対応します。
- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

### iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブル KCA-iP103 が必要です。

# 故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源ハーネスなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(→ P.81)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト(→ P.81)、画面の明るさ(→ P.37)、視野角(→ P.16)を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(→ P.81)
フロントまたはリアビューカメラに切り替わらない。	フロントまたはリアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	フロントまたはリアビューカメラの設定が“なし”になっている。	CMOS-320/CMOS-C320を接続しているときはフロントまたはリアビューカメラの設定を“専用カメラ”に、その他のカメラを接続しているときは“汎用カメラ”にしてください。(→ P.170)
	フロントビューカメラの設定が間違っている。	取付説明書を参照して、CMOS-320の識別設定が“フロントカメラ”になっているか確認してください。
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.131)
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出力されない。	フロントスピーカーが接続されていない。	案内音声はフロントスピーカーからのみ出力されます。スピーカーの接続を確認してください。

症状	考えられる原因	対処方法
ハンズフリーの音声が出力されない。	フロントスピーカーが接続されていない。	ハンズフリーの音声はフロントスピーカーからのみ出力されます。スピーカーの接続を確認してください。

## ● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(→ P.79)
経由地を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(→ P.73)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(→ P.17) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
マイルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞しているても早い。	マイルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されているVICS情報が少なく、別のルートが探索できない。	—



症状	考えられる原因	対処方法
VICS の地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、10m～1km（一般道は10m～500m、一般道の駐車場情報は10m～200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。 オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 (→ P.122)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が「OFF」に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を「ON」に設定してください。(→ P.123)
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が「昼色に固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。 (→ P.128)
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が「OFF」に設定されている。	ルート案内の音声出力を「ON」に設定してください。(→ P.126)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	<b>[MAP/AV]</b> を現在地図画面に切り替えてください。(→ P.44)
	画面がオフになっている。	<b>[MAP/AV]</b> を押すか、画面にタッチしてください。(→ P.41)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自転車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合があります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索するため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。 (→ P.126)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
センサー学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。	車種により「アナログ」または「デジタル」に設定する場合があります。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自転車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・  
Bluetooth

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オフライン


付録

## ● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。
リアモニターの映像が出ない。	接続機器の電源が入っていない。	接続機器の電源を入れてください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの接続状態を確認してください。
	映像出力可能なソースに設定されていない。	映像出力可能なソースを確認してください。(→ P.189)
	本機の「外部出力切替」設定と接続機器の入力設定が合っていない(本機の設定がHDMI出力の場合、接続機器側の設定をHDMI入力有効な設定にする必要があります)。	HDMI機器を接続している場合は、本機の設定を「HDMI OUT」にしてください。また、接続機器側の設定はHDMI入力有効な設定にする必要があります。
	接続機器がHDCP(HDCPとは不正コピーを防止する暗号化技術の一つです)に対応していない。	HDMI機器を接続している場合は、HDCPにも対応している必要があります。

## ● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が40°を超えている。	40°以内になるように取り付けなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上に入れて入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	【▲】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	【▲】を押してディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	【▲】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。(→ P.103)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。

症状	考えられる原因	対処方法
DVDの禁止マーク“  ”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

## ● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルが再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.202)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(→ P.203)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

## ● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしておいてください。(→ P.110)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更(リバック)が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。(→ P.110)
	「ホーム」または「おでかけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。(→ P.110)
映像が乱れる。映像が止まる。音声途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください。(→ P.109)
	ワンセグ/12セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

## ● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	iPod接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

症状	考えられる原因	対処方法
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。</li> <li>● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。</li> </ul>
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能 (イコライザー機能) がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USB ハブを介して接続している。	充電するときは USB ハブを使用せずに直接接続してください。
	「5V/1A」タグなし USB ケーブルに接続している。	また、「5V/1A」タグあり USB ケーブルに直接接続したときのみ充電できますので「5V/1A」タグあり USB ケーブルに接続してください。

### ● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続している。	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続して USB 機器を接続すると、本機で再生することができません。USB ハブを 1 台にして接続しなおしてください。
	複数の USB 機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	USB デバイス切替で再生したいデバイスに切り替えてください。(→ P.86)
USB 機器や SD カード内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.202)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、  ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字 (拡張子は除く) 全角 80 文字以内に變更してください。
	再生モードが録音した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。(→ P.88)

## ● 内蔵メモリ /SD カードへの録音と再生

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ (kenwood.direct.rec フォルダのデータ) またはコンテンツデータベース ( _ContentsDB フォルダのデータ) を編集または変更した。	録音データ (kenwood.direct.rec フォルダのデータ) またはコンテンツデータベース ( _ContentsDB フォルダのデータ) を編集または変更すると本機で再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。 (→ P.88)
音楽 CD を内蔵メモリ /SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。

## ● Bluetooth オーディオ /ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていません。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。記載されていない場合は "0000" を試してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げています。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中です。または、他のプロファイルで通信中です。たとえば、電話帳や KENWOOD Drive Info のデータ受信中などは音が途切れる場合があります。	ご利用の Bluetooth 機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっています。	通話中に調整してください。
スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにしてオンにすると本機と接続できない。	スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにした場合、再度オンにしても本機は認識できない場合があります。	スマートフォンの Bluetooth 接続機器から本機を選び直してください。

## メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

### ● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オフライン

付録

メッセージ	対処
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスが検出できません。車速検出コード（桃）の接続先及び接続状態を確認してください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用していたスマートフォンのアプリケーションを停止させ、再起動させてください。</li> <li>● スマートフォンの Bluetooth を一旦オフして、オンしてください。</li> </ul>

## ● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。</li> <li>● 探索条件を「一般」以外にしてください。</li> </ul>

## ● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

## ● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。</li> <li>● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。</li> <li>● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。</li> </ul>

メッセージ	対処
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

## ● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0 接続エラー	取付説明書を参照して、ETC2.0 車載器の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

## ● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、CMOS-320/CMOS-C320 との接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および CMOS-320/CMOS-C320 のカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

## ● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、DRV-N530 の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リアドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、DRV-R530 の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。リアドライブレコーダーを接続しない場合は、リアドライブレコーダー接続を「OFF」に設定してください (→ P.183)。
ドライブレコーダーが接続されていないため、この設定は選択できません。	取付説明書を参照して、DRV-N530/DRV-R530 の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。問題が解決されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	

## ● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(→ P.202)
走行中は音声のみお楽しみください	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません	音声は再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オフライン

付録

## ● AV (DISC)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または2を含むもの)と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 /ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(→ P.103) または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。(→ P.96)
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不要な楽曲を削除してから録音してください。(→ P.96) 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。(→ P.90)</li> <li>● SD カードに録音する場合は、不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。</li> </ul>

## ● AV (内蔵メモリ)

メッセージ	対処
録音データを移動できませんでした。 SD カードを確認してください。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードの空き容量不足のため、録音データの移動ができませんでした。 SD カードを確認してください。	不要な楽曲またはアルバムを削除してから、SD カードへの移動を行ってください。(→ P.96)
移動可能なアルバム数の上限を超えています。	移動後の SD カードの録音アルバム数が 999 以下になるように、不要なアルバムを削除してから移動してください。(→ P.96)

## ● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件 (1 件最大 5 番号まで) までです。不要な電話帳の登録を削除してください。(→ P.159)

## ● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。</li> <li>● スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。</li> <li>● Bluetooth 接続でご利用の場合は、デバイス切替ボタンから、ご利用の機器に [BT Audio/ アプリケーション連携] を設定してください。</li> </ul>
連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。(アプリケーションの仕様) 再生ボタンを押すか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。



# 主な仕様

## ● ナビゲーション部

受信方式	GPS, GLONASS, QZSS( 準天頂衛星 ), SBAS
VICS	FM 多重 (内蔵、VICS WIDE 対応)、ITS スポット対応 (別売)、高度化光ビーコン対応 (別売)、光ビーコン対応 (別売)

## ● モニター部

画面サイズ	MDV-M906HDL : 9V 型 HD パネル MDV-M906HDW/ MDV-M906HD : 6.8V 型 HD パネル
表示方式	透過型広視野角液晶
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	2,764,800個 1280H×RGB×720V
画素配列	RGB ストライプ配列
タッチパネル	静電容量方式タッチパネル
バックライト使用光源	MDV-M906HDL : LED 光源 (カスタム) MDV-M906HDW/ MDV-M906HD : LED 光源

## ● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーインピーダンス	4 ~ 8 Ω
HDMI 出力	端子 : TYPE-A × 1 解像度 映像 : 1920x1080P_60Hz/ 1920x1080P_50Hz 1920x1080I_60Hz/ 1920x1080I_50Hz 1280x720P_60Hz/ 1280x720P_50Hz 720x576P_50Hz/ 720x480P_60Hz 音声 : Fs48kHz, 16bit

プリアウト出力* 端子	Front RCA × 1
	Rear RCA × 1
	Sub Woofer RCA × 1 音声最大出力レベル 2.2Vrms
AV 入力*	端子 : RCA × 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω 音声最大入力レベル : 2.0Vrms
	DRIVEレコーダー 入力*
ドライブレコーダー 入力*	FRONT 端子 : RCA × 1 REAR 端子 : RCA × 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω
	ビデオ出力*
ビデオ出力*	端子 : RCA × 1 映像出力レベル : 1Vp-p/75 Ω
	リアビューカメラ 専用映像入力
リアビューカメラ 専用映像入力	端子 : 専用 8Pin コネクタ × 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω

\*別売の AV 入力 / 出力用ケーブル KNA-17AV が必要です。

## ● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch

## ● チューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz ~ 99.0MHz (0.1MHz)
受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz ~ 1629kHz (9kHz)

## ● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V≒1A × 1 急速充電対応 (DC5V≒1A タグ付) DC5V≒1A × 1

## ● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン  
連携

オフライン

付録

## ● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL CD-DA, CD-R/RW SACD (CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング周波数	44.1/48/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)

## ● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R,DVD-RW は VR モード も対応	
CD-DA	8cmCD 非対応 MQA-CD 再生対応*	
CD/DVD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis, MQA	
USB/SD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV,FLAC, Vorbis, MQA, DSD
	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

\* 352.8kHz の音源は 176.4kHz 相当で再生します。

## ● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP, PAN
対応コーデック	LDAC/SBC/AAC
SCMS-T	対応

## ● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ~ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ~ + 60℃
本体	外形寸法 (W × H × D)
	<b>MDV-M906HDL :</b> 234mm × 134mm × 190mm
	<b>MDV-M906HDW :</b> 206mm × 104mm × 175mm
	<b>MDV-M906HD :</b> 180mm × 100mm × 185mm
	埋込寸法 (W × H × D)
	178mm × 100mm × 160mm
GPS アンテナ	質量 (重さ)
	<b>MDV-M906HDL :</b> 2.8kg
	<b>MDV-M906HDW/ MDV-M906HD :</b> 2.4kg
	外形寸法 (W × H × D)
	36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル長 3.5m
質量 (重さ) 79g	

## ● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	117.5mm × 86mm
質量 (重さ) (ケーブル含む)	約 40 g (1 本あたり)

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

## 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ  
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター  
フリーダイヤル 0120-2727-87  
携帯電話、PHS からは 0570-010-114 (ナビダイヤル)  
IP 電話などからは 045-450-8950  
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

## 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.207) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

### ● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

### ● 車両からの取り外し / 取り付けについて

修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちください。

なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

### ● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

# 索引

## B

Bluetooth オーディオ機器の再生 ..... 161

## D

DVD 再生 ..... 105

## E

ECO 情報 ..... 124

ETC2.0 車載器 ..... 165

## G

GPS ..... 17

## I

iPod を再生する ..... 83

## N

NaviCon(スマートフォンアプリ) ..... 163

## P

PIN コード ..... 154

## Q

QR コード ..... 149

## U

USB 機器 /SD カードのファイル再生 ..... 84

## V

VICS 情報 ..... 118

## あ

アスペクト (画面表示サイズ) ..... 82

## え

エラーメッセージ ..... 213

## お

オートアンテナ ..... 10, 143

オートペアリング ..... 151

オートリルート ..... 76

音楽 CD 再生 ..... 103

音楽 CD の録音 ..... 90

音声案内の音量 ..... 126

## か

画質の調整 ..... 81

## け

経由地 ..... 72

経由地の削除 ..... 73

経由地の順番変更 ..... 73

現在位置の修正 ..... 128

現在地図画面 ..... 44

検索履歴の削除 ..... 59

## こ

交差点案内図の表示 ..... 68

高速道分岐イラストの表示 ..... 68

高速道路でのルート案内 ..... 67

交通情報 (TUNER) ..... 114

コンパスボタン ..... 44, 46

## さ

再生できるディスク ..... 199

サウンド設定 ..... 131

## し

自転車マーク (地図) ..... 44

システム設定 ..... 142

自宅に戻る ..... 53

自宅の登録 ..... 26, 53

シミュレーション ..... 75

視野角 ..... 16

車速パルス ..... 17

ジャンル検索 ..... 56, 57

住所検索 ..... 58

## す

ステアリングリモコン ..... 143

スピーカー構成 ..... 132

スマートフォン連携 ..... 163

## せ

セキュリティインジケータ ..... 143

センサー学習 ..... 17

## そ

走行軌跡の表示 ..... 44, 125

操作音の音量 ..... 143

ソース切替画面 ..... 80

ソースレベル ..... 141

<b>ち</b>	
地図記号	192
地図更新サービスプログラム	149
地図の縮尺	45
地点登録	77
チャンネルスキャン (地デジ)	110

<b>て</b>	
ディスク挿入口	29
ディスクの出し入れ	102
ディスクメニュー	107
デモ走行	75
電源オン/オフ	30
電話帳	158
電話の着信	156
電話番号検索	60
電話をかける	156, 157, 158, 159, 160

<b>と</b>	
到着予想時刻 / 距離	66
登録機器の削除 (Bluetooth)	153
登録地点検索	58
登録地点の編集	78, 79
時計	44
ドライブレコーダー	174

<b>な</b>	
ナビ設定	125

<b>の</b>	
ノースアップ	46

<b>は</b>	
パーキング検出コード	17
バージョン情報	149
バーチャルルームミラー	187
ハイウェイモード画面	67
ハンズフリー通話	155

<b>ふ</b>	
フェリーを利用した探索	127
フライビューマップ表示	125

<b>ほ</b>	
方面看板	44, 126
ボタンの操作音	143

<b>ま</b>	
マップクリップ	49

<b>め</b>	
メッセージ	213

<b>も</b>	
目的地	64
目的地の削除	73
目的地付近の地図表示	76
文字の入力	42

<b>ゆ</b>	
ユーザーイコライザー	135

<b>ら</b>	
ランドマーク情報の表示	49

<b>り</b>	
リアビューカメラ	170
リアモニター	189
リスニングポジション	133
リバース検出コード	17
履歴検索	59

<b>る</b>	
ルート案内の開始	64
ルート案内の終了	76
ルート全体	75
ルート探索方法の設定	64
ルートの再探索	72

<b>れ</b>	
レーン情報	44

<b>ろ</b>	
録音	90
録音設定	90
録音停止	91
録音データの再生	92
録音データの削除	96

LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories

**DVD** is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Alphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

**MapFan** はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS および VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」 および 「Android ロゴ™」、「Google Play™」は Google LLC. の商標または登録商標です。

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、 および HDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。

「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。

Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.

■ ■ ■ ■ ■  
Ubiquitous

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

 **FontAvenue**

Copyright© 2018 Techpoint, Inc. All rights reserved.

## HD-TVI™

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。°

## Ruby Talk®



「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

本商品は、パイオニア株式会社が運営・管理するスマートループ渋滞情報™を使用しています。スマートループ渋滞情報™はパイオニア株式会社の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の compact Wnn を使用しています。

compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2016 All Rights Reserved.

“Hi-Res Audio” ロゴと “Hi-Res Audio Wireless” ロゴは日本オーディオ協会のライセンスを受けて使用しています。



MQA and the Sound Wave Device are registered trademarks of MQA Limited. © 2016.



はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オフライン

付録

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson  
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO ( i ) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR ( ii ) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR ( i ) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR ( ii ) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO ( i ) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR ( ii ) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)



JSON-C

Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オフライン

付録